

令和7年度

教 育 計 画



枚方市立第四中学校

〒573-0084 枚方市香里ヶ丘5丁目3番2号

TEL 050-7102-9195

FAX 072-854-0865



目 次

1. 学校経営

はじめに	1頁
学校経営方針	2頁
・校訓・学校教育目標・めざす学校像・めざす生徒像・目指す教師像	
・本年度の重点目標・会議の位置づけ	
(1)校務分掌	7頁
(2)教職員構成(学年・教科・部活動)	8頁
(3)学年・学級編成	10頁
(4)学校医・学校薬剤師	10頁

2. 教育課程

(1)各教科等の時間配当 (2)週時程表	11頁
(3)教科横断計画表・各教科等の目標	12頁
(4)「情報教育」の年間計画	25頁
(5)「総合的な学習の時間」の全体計画	28頁
(6)「道徳教育」の全体計画と年間計画・全体計画別葉	30頁
(7)「特別活動の時間」の全体計画と年間計画	37頁
(8)人権教育の全体計画と年間計画	39頁
(9)食育推進全体計画と年間計画	42頁
(10)中学校区のキャリア教育全体計画	43頁
(11)学校保健・安全計画	44頁
(12)学年の目標	46頁
(13)分掌の目標と年間計画	49頁
(14)学力向上・四中メソッド	66頁
(15)不登校児童・生徒への対応方針	69頁
(16)体力向上推進計画	70頁
(17)枚方市小中一貫事業(四中学園モデル図)	71頁
(18)令和6年度チャレンジテストの分析	73頁
(19)学校教育自己診断の分析	74頁
(20)学校評価報告書	76頁

3. 施設配置・防災計画等

(1)教室配置図及び避難経路	79頁
(2)校地・校舎配置図	80頁
(3)校区地図	81頁
(4)いじめ未然防止計画	82頁
(5)防災計画・防災管理組織・自衛消防組織	83頁
(6)水泳指導時の緊急対応等	86頁
(7)生徒の安全確保及び安全管理	88頁
(8)沿革の概要	89頁

はじめに

『努力・素直・創造』

「夢を語れる生徒を育成する！」

変化の激しい(情報化、グローバル化、AI)、先行き不透明

(VUCA、Soceity5.0)な時代を生きる子どもたちにとって、

真に必要な力は何か。その力を身に着けるために必要な学びとは何か。また、それを実現するために、学校に求められているものはいったい何か。新学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程」「資質能力の三つの柱」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学びの授業改善」を適切に実施し、令和の日本型学校教育「個別最適な学びと協働的な学び」を実現すべく、「何を」「いつまでに」「どのように」取り組まなければならないのか。そこで、「自走する教職員集団」をめざして学校組織の改革、人権教育と支援教育を基盤としたキャリア教育を学校全体での推進、学級・学年・異学年集団における人間関係づくりを土台にした総合・道徳・特活を幹に9教科の枝葉が連動した総合的・系統的に「学び」の実現を図っていく。

昨年度末、教職員集団で数日にわたり、学校教育目標を達成すべく、四中生に必要な力を話し合ったものが右にある「6つ」である。「夢を語れる生徒を育成する！」をスローガンに、自己調整力(情報活用能力、言語能力、課題発見課題解決力)を高めるべく、全ての教育活動において、生徒は非認知能力(＝「自分と向き合う力」「自分を高める力」「まわりとつながる力」)を自覚して鍛えるとともに、教師はその見えな力(非認知能力)を意識して全ての指導にあたる。「夢」は頑張る原動力である。「ワクワク感」は目標達成に立ち上がる様々な困難を乗り越えるための元気の源である。学校は、社会に出るための準備段階にある子どもたちにとって、『自己決定』や『自己実現』の経験ができる貴重な場所(友達とは違う人間関係の中でミッションを実行する訓練の場)であり、我々大人(教師・保護者・地域)はその機会を保障しなければならない。「子ども家庭庁」の創設や「子ども基本法」の制定の意味はそこにあるものとする。

子どもたちは夢に向かって、学校という場で、失敗を繰り返しながら「自己決定」や「自己実現」を体感し、互いに絆を深め、成長する。子どもたちの「自立(社会的自立＝絆づくり)」に向けて、我々教職員一同は、保護者地域とともに、子どもたちの「居場所づくり(環境づくり)」に全力で取り組む所存である。



枚方市立第四中学校

校長 鴨田 慎司

令和7年度 学校経営方針

1. 校訓・スローガン

校訓 『努力・素直・創造』

「夢を語る生徒を育成する！」

2. 学校教育目標

「学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

- 互いに学びあい、共に成長していく力(学力&非認知能力)
- 互いに認めあい、共に生きていく力(人間関係力) ⇒班活動・グループ活動
- 互いに思いを伝えあい、共に未来を想像していく力(探究力)

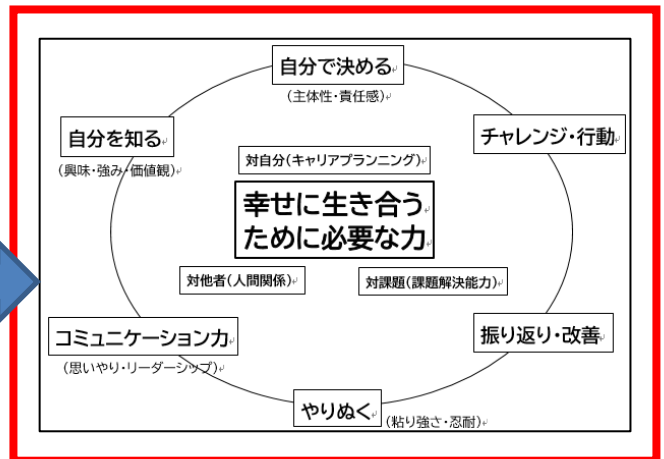
3. めざす学校像

「学力&非認知能力」の育成 ⇒課題解決に主体的に取り組む学校(言語能力(自己調整力)の自覚化、意識的に育成、ガマンも能力)

「人間関係力」の育成 ⇒人(人権)を大切にできる学校(安全安心な環境「あいさつ、きく姿勢、時間厳守、ゴミ拾い」)

「探究力」の育成 ⇒誇れる地域のオンリーワンの学校(地域や企業課題など探究的な学び、自ら問いを立てる学び)

R7



4. めざす生徒像

「自分で考え、判断し、行動できる生徒」

5. めざす教師像

- ・人生を楽しむことのできる教師(人として魅力ある教師)
- ・仕事を楽しむことのできる教師(プロとして自覚ある教師)
- ・プライベートを充実できる教師(労務管理「タイムマネジメント」のできる教師)
- ・生徒の成長を喜びにできる教師(生徒の失敗を引き出す安心感を与えることのできる教師)
- ・他人の失敗を許すことのできる教師(人間関係づくりが上手な教師)
- ・生徒を信じることのできる教師(謙虚で余裕のある教師)
- ・誰にでも自分から挨拶のできる教師(元気を与えられる教師)
- ・人との約束を守ることのできる教師(人として信頼される教師)
- ・時間を守ることのできる教師(自分に厳しい教師)
- ・TPOを弁えた身だしなみのある教師(組織人としての教師)

小中9年間で「夢を語れる」生徒の育成

学校 教育 目標

学びあい、つながりあい、**幸せな人生に向けて**

自分で決める
(主体性・責任感)

自分を知る
(興味・強み・価値観)

対自分
(キャリアプランニング)

チャレンジ・行動

対他者
(人間関係)

コミュニケーション
(思いやり・リダイング)

振り返り・改善

対課題
(課題解決能力)

**幸せに生きあう
ために必要な力**

自分で考え判断し、行動することが出来る生徒

やりぬく
(粘り強さ・忍耐)

社会

予測困難な時代を生き抜くために

(VUCA・Society5.0)

学校

『自己決定・自己実現』できる場所
生徒にゆだねる

・挑戦ができる
・失敗ができる
・本物とあえる

地域
企業
公官庁

安全安心な環境（あいさつ・きく姿勢・時間厳守・ゴミ拾い）

自立

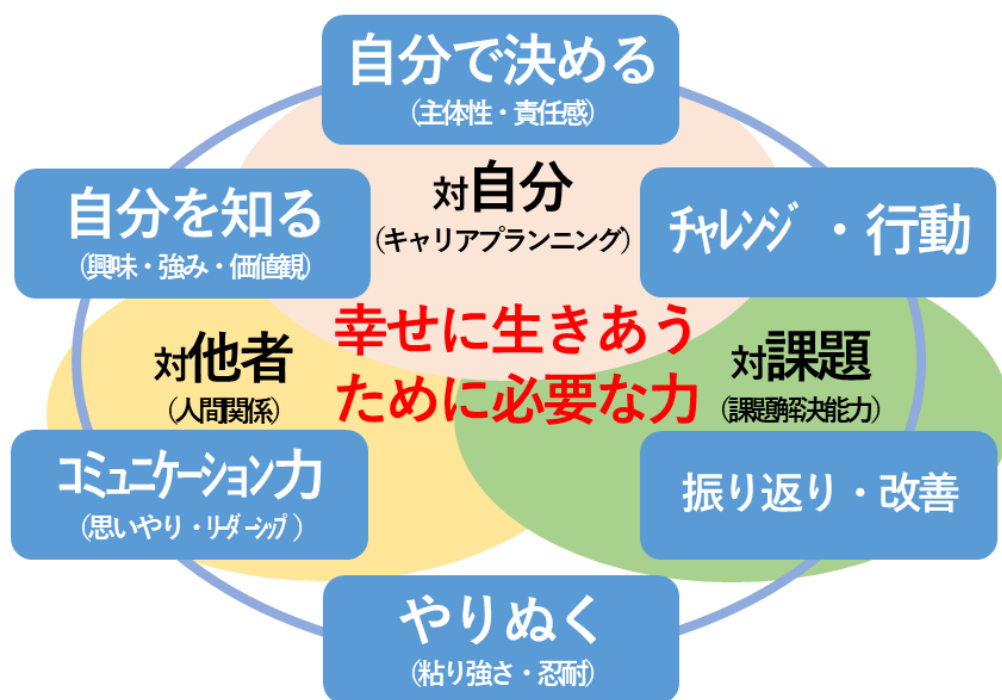
すべての人が幸せに生きあうために（人権教育・人権学習）

DI&E（ダイバーシティ・インクルージョン&イクオリティ・エンゲージメント）

キャリア教育

子どもも大人もワクワクする学校

6. 本年度の重点目標



① 学習指導の充実

- ◎ 一人一台のタブレットを筆記具と同様のツールとして有効に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。
- ◎ 企画委員会、教科部会、各分掌部会等を時間割の中に設定し、教職員が互いに研鑽し、学び合える組織体制を構築する。
- ◎ 学習規律の確立をめざし、全学年全教科において定着させる。
- ◎ 教科部会を充実させ、学力向上委員会との連携を密にする。
教科部会では、授業力向上のため単元計画の検討、授業づくりや進度の検討を行う
また、研究・公開授業の指導案の作成、テスト問題(活用問題)なども個人レベルではなく、教科として検討する。
- ◎「Hirakata 授業スタンダード」・「四中メソッド」に基づいた授業づくり、授業改善に向けた取組、評価方法等の研究を、学力向上委員会を中心として組織的に推進する。
- ◎ 公開授業週間の設定、公開研究授業の実施によって教員同士で気軽に授業を参観し、学び合い、高め合える環境をつくる。
- ◎ 特に言語活動を重視し、読み取る力・書く力・話す力・考える力の向上をめざす。
- ◎ 人とつながる力を育めるように、すべての教科においてペア学習やグループ学習を積極的に活用する。
- ◎ 家庭学習の定着に向け、課題の研究・タブレットの活用に取り組み、とりわけ生徒自身が授業に積極的に参加する姿勢を育てるために予習の徹底を図る。
- ◎ 基礎的・基本的な学力に課題を持つ生徒への支援を図る取組を進める。
- ◎ 授業アンケート・研究授業等に取り組み、授業力の向上を図る。
- ◎ 英語の少人数授業を実施し、きめ細かい指導を行う。
- ◎ 全国学力・学習状況調査等の結果を分析・活用し、授業の検証・改善を図る。
- ◎ NET を積極的に活用し、英語教育のさらなる活性化を図る。
- ◎ 図書・ICT 部(司書教諭を含む)を中心とした読書活動の工夫や学校図書館の有効利用を図り、読書指導の充実をめぐる。
- ◎ ユニバーサルデザインによる教室や授業デザインなど環境整備を推進する。

② 生徒指導の充実

- ◎ 生徒指導主事を中心とした指導体制により、以下の方針に基づいて学校が一体となり適切な指導を行う。
 - 生徒指導は全教員で協力して行う。
 - ・問題行動に直面した教師が看過せず第一段階の指導を行う
 - ・当該学年が、担任・生徒指導担当を中心として指導にあたる
 - ・生徒指導上の情報は出来る限り全員で共有する
 - 即日・即対応を原則とする。
 - 保護者との連携を大切にする
 - 全体集会・学年集会・学級指導を重視し、生徒集団の質を高め、自治・自浄能力を育てる。
 - ・様々な生徒指導上の問題について生徒集団に問題提起し、主体的に考えさせる
 - ・学級代表者会議を活用し、生徒主体の取り組みを創り出していく

- 問題行動の予防・早期発見に努める
 - ・班ノートや終礼等の日常活動を大切にし、教師間の情報交流を密にする
 - ・教育相談、アンケート調査等の充実を図る
 - ・スクールカウンセラーとの連携を密にする

●関係外部諸機関との連携を大切にす

- ◎関係機関等と連携し、不登校の問題に組織的に取り組む
- ◎各教科や道徳、総合的な学習の時間等の年間指導計画に情報モラル教育を位置づけ、学校教育全体で情報モラル教育を推進できるように努める
- ◎安全管理体制の充実を図り、学校の安全管理・生徒の安全確保に努める。
 - 防災計画を必要に応じて見直し、日頃から教職員の連絡・配備体制について周知するとともに、災害に備えた危機管理体制の確立を図る
- ◎日々の清掃活動を大切にし、環境教育を推進し、「S-EMS」に取り組む

③ 人権キャリア教育の充実

【人権】

- ◎人権教育の校内体制を整備し、担当教員を中心として組織的な取組を推進する。
- ◎同和教育をはじめとした反差別の立場に立った人権教育を推進する
- ◎同和教育、共生教育(在日外国人、障がいのある人、多様な性、人種、民族)、平和学習、国際理解教育等に、生徒が自分自身の問題として考え行動できることをめざして取り組む。
- ◎上記の様々な課題を自分事として考えることで、自分の身の回りの「いじめ」等の人権問題に目を向け、解決に向けて行動できる生徒、及び生徒集団の育成をめざす
- ◎生徒一人ひとりが活躍できる場を積極的に作り、いろんな場面で自分の力を発揮させるように努め、自己肯定感を高める
 - *研修等を通じて、教職員の人権意識の向上に努める

【進路】

- ◎進路指導主事を中心とした校内進路指導体制を確立する。
- ◎生徒一人ひとりの考え方、生き方を大切に、人権に十分配慮した適切な指導を行い、すべての生徒の進路保障をめざす。

【キャリア】

- ◎キャリア教育の校内体制を整備し、担当教員を中心として組織的な取り組みを推進する。
- ◎キャリア教育を推進する中で、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を育む。
- ◎地域の人材等の活用による職場体験学習など、進路にかかわる啓発的な体験活動を積極的に取り入れ、指導の充実を図る。
- ◎生徒一人一人の勤労観・職業観を育み、主体的に進路を選択できるようキャリア教育の充実に努める。また、学校教育活動全体を通じて系統的・継続的な指導を推進する。

④ 支援教育の充実

- ◎支援教育の校内体制を整備し、支援教育コーディネーターを中心として組織的な取り組みにより、「ともに学びともに育つ教育」を推進する。
- ◎ ノーマライゼーション・インクルーシヴ教育の理念を踏まえ、支援教育の推進に努める。通常の学級において、積極的にユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組むなど、障がいのある生徒への理解を深め、全校的な支援体制を確立する。
- ◎個別の指導計画、教育支援計画をもとに指導方法の研究を深め、生徒本人や保護者の意向を尊重し、十分な配慮のもとに取り組む

⑤ 道徳教育の充実

- ◎ 教科としての道徳の重点目標・全体計画・年間指導計画等の作成や指導方法の工夫改善に取り組む。
- ◎ 道徳教育推進教師を中心に、各教科・特別活動・総合的な学習との関連を踏まえて取り組む。
- ◎ よりよい評価の在り方について継続的に研究する。

⑥ 開かれた学校運営の推進

- ◎通信、ホームページ(ブログ)等を活用し、学校からの情報(学校の取組・生徒の様子など)を保護者や地域に積極的に発信する。
- ◎家庭・地域との連携を図り、相互理解を深める。
- ◎学校教育自己診断・協議会形式での学校評議員等の外部評価を活用し、学校運営の改善を図る。
- ◎保護者・地域の協力のもと、あいさつ運動・緑化活動等を積極的に推進する。

⑧ 小中一貫事業の継続

- ◎第四中学校区(四中、五常小、開成小、山之上小)として、小中連携を推進する。
- ◎義務教育9年間を見据えた指導により、「学習規律の定着」、「学びの連続性の確立」、「きまりを守る等の規範意識の醸成」、「生きる力の育成」を図り、「夢を語れる」生徒の育成を推進する。
- ◎中学校区として取り組んできた、事務部門における小中事務連携をさらに推進する。

7. 会議の位置づけ

□ 職員会議…定例月1回

1. 職員会議の位置づけ

- ・「枚方市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」に基づき運営する。
- ・校長の職務の円滑な執行を図るため、校長が招集し、主宰する。
- ・校務に関する事項について教職員間における意思疎通、共通理解の促進、意見交換等を行う。

2. 職員会議の留意事項

- ・教職員は、職員会議で意見を表明し、議案を提出することができる。
- ・職員会議に、欠席、遅刻する場合は、管理職の承認を得るとともに議長に連絡する。
- ・議案の提案者は企画委員会で管理職の承認を得て、職員会議までに議案を提示する。会議中の提案は原則として採り上げない。
- ・職員会議の円滑な運営を図るため、議案の提案者は事前に提案方法や時間等について議長と十分協議する。また、議長は校長に運営方法について事前に了解を得る。
- ・職員会議の欠席者は、会議録で内容を把握し、確認しておく。また、書記は議事録を作成する。

□ 企画委員会(提言機関)…定例週1回

- ・本委員会の構成メンバーは、校長、教頭、首席、指導部チーフ(必要に応じて研究部チーフ)、学年主任、支援 co、養護教諭、事務長、からなる。
- ・本委員会は、教職員等のアイデアを学校運営に反映し、ボトムアップの学校改革を行うために組織する。
- ・本委員会は、週1回時間割内に開催し、職員会議で提案する議案内容について共通理解を図る場である。

□ 運営委員会(学校運営の状況確認機関)…概ね月1～2回

- ・本委員会の構成メンバーは、校長、教頭、首席、学年主任、支援 co、事務長からなる。
- ・本委員会では、学校運営の状況を共有し、必要に応じて各分掌担当者に伝達する。
- ・本委員会は月1回放課後に開催し、学校運営の状況について情報共有を図る場である。

□ 学力向上委員会(研究機関)…週1回(教科担当者連絡会を兼ねる)

- ・本研究会の構成メンバーは、学力向上部、各教科代表とする。
- ・本研究会は週1回時間割内に開催し、学力向上に向けた様々な取り組みについて研究・提言するとともに、『四中メソッド』の授業や評価規準や評価の方法等、評価システムの検証について研究し、提言する。

□ 指導部会(教務部、生徒指導部、生徒会部、キャリア教育部)…週1回

- ・本部会は時間割内に組み込み、毎週開催する。
- ・本部会は各部の担当者が招集し、主宰する。
- ・各部において、学校運営方針に則った企画、立案、提案、運営を行う。

□ 研究部会(図書 ICT 部、人権支援道徳教育部、環境安全部、学習指導部)

- ・本部会は各部の担当者が招集し、主宰する。
- ・各部において、学校運営方針に則った研究を行い、企画、立案、提案、運営を行う。
- ・図書 ICT 部と人権支援道徳教育部の部会は時間割内に各学年及び各推進リーダーをメンバーとして毎週開催する。環境安全部と学習指導部の部会は部内全てをメンバーとして月1回放課後に開催する。

□ 支援教育委員会(集約・決定機関)…二月1回程度

- ・本委員会の構成メンバーは、校長、教頭、首席(生徒指導主事)、養護教諭、SC、各学年支援学級担任1名、各学年教員1名からなる。
- ・本委員会は二月に1回程度放課後に開催し、支援に関する状況について情報共有を図る場である。

□ 校外学習等選定委員会(集約・決定機関)…随時

- ・本委員会のメンバーは、校長・教頭・首席(生徒指導主事)・キャリア教育部・事務長とする。
- ・修学旅行、校外学習の目的、行き先、内容について、検討・決定を行う。

□ その他、時間割に組み込み、週1回定例的に実施する会議

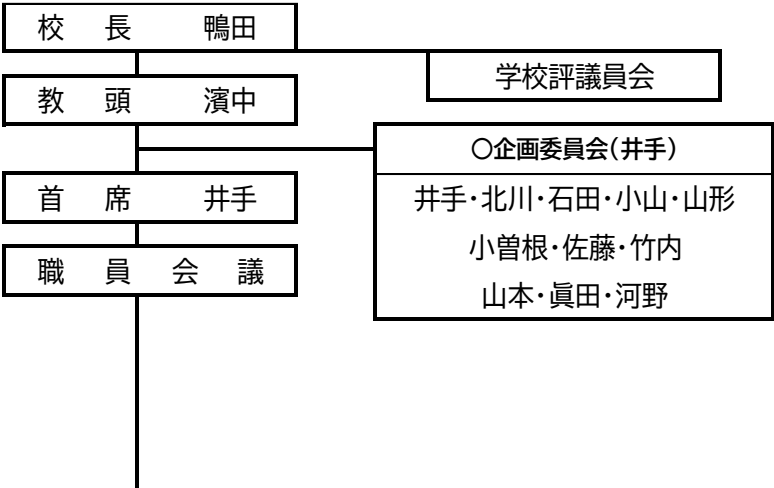
- ・教科部会・支援担当部会・不登校防止対策委員会・いじめ防止対策委員会・虐待防止対策委員会

□ 学校評議員会(諮問機関)…随時

- ・開かれた学校づくりに資するために、学校評議員会を設置する。
- ・各方面の有識者に意見を求め、学校運営について諮問する。

(1)校務分掌

教 務 主 任	北川
首席・生徒指導主事	井手
指導教諭	石田
進路指導主事	松野
保健主事	奥村
1学年主任	山本
2学年主任	眞田
3学年主任	河野
司書教諭	岡村



分 掌		部長	仕事内容	主担	1年	2年	3年
指導部	教 務	北川	教 務	北川	飯野・岡村	脇谷・楠木	前川・河野
	学力向上	石田	学力向上	石田	船越・大島・小寺	中尾・宇井・三好	平尾・塚原・小山
	キャリア教育	小山	キャリア教育 特活・総合・校外学習	小山	中井・吉川・山口	喜左上・小曽根・眞田	中村洸・中村康
	生徒会	山形	生徒会運営 生徒会行事	山形	平山・阪上・森	坂本・三好	秋山・太田 荒川・大川原
	生徒指導	井手	生徒指導 不登校問題	井手	山本・木下	奥村・永山	瀬川・花村
研究部	図書・ICT	井川	図書教育・ICT教育	井川	中井・木下・岡村	脇谷・三好	太田・花村・平尾
	人権・支援・道徳	宇井	人権教育・支援教育	宇井	吉川・山口・阪上・平山	喜左上・小曽根・坂本	中村康・荒川・大川原・塚原
	環境・安全教育	北畑	環境美化・働き方改革	北畑	飯野・船越・小寺	中尾・奥村	秋山・中村洸
	学習進路	松野	教科部会・校内研究・初任期育成	松野	大島・森	楠木・永山	前川・瀬川
総務部	総務	竹内	総務・財務・学事・人事	竹内	竹内・丸住・坂本・森山・坂田・学年会計		
支援教育コーディネーター		小曽根	支援教育校内委員会	校長・教頭・首席・支援コーディネーター、各学年1名、各学年支援学級担任1名			
○各教科代表		音楽	： 宇井	P T A	会 計 ： 教頭		
国語		： 大島	美術		書 記 ： 北川		
社会		： 石田	保体		1年	： 眞田 環境整備：北畑 会員研修：石田	
数学		： 脇谷	技家		2年	： 河野 生活指導：井手 保健衛生：佐藤	
理科		： 塚原	英語	： 北川	3年	： 山本 広報：山形 緑化：教頭 フェスタ：教頭	
○虐待対応委員会(井手) 校長・教頭・生徒指導主事・支援co・養護教諭・SC・各学年生徒指導1名			○校務・情報管理・情報セキュリティ(井川) 校務管理者：北川・脇谷・松野・井手 C4th：北川 ICT環境整備：井川 情報教育 1年：中井 2年：脇谷 3年：太田			○ハラスメント防止委員会(佐藤) 校長・教頭・佐藤・北川	
○いじめ防止・不登校委員会(井手) 校長・教頭・首席・支援co・養護教諭 SC・各学年生徒指導1名			○校外学習等選定委員会(校長) 校長・教頭・事務・首席・生徒指導主事・キャリア教育部			○道徳教育推進委員会(平山)	
						○衛生委員会(教頭) 校長・教頭・井手・佐藤・奥村	
○食育推進(食物アレルギー対応)委員会(佐藤) 校長・教頭・佐藤・井手・小山・奥村						○学校安全担当者(教頭) 校長・教頭・井手・竹内・森山	
○学力向上委員会(小中一貫学力向上推進コーディネーター：石田) 大島・脇谷・塚原・宇井・船越・奥村・小山・北川・小曽根・竹内							
○初任期教職員指導コーディネーター(小寺) 初任期教職員研修				○学校保健委員会(佐藤)校長・教頭・養護教諭・校医・保護者 *年1回開催*			
○図書委員会(花村)校長・教頭・司書教諭(岡村)・事務				○地域教育協議会 事務局：校長 教頭 井手 情報交流：各学年			

(2)教職員構成

① 学年配置等

校長	鴨田	教頭	濱中	生徒指導 主事	井手
----	----	----	----	------------	----

第1学年担当		第2学年担当		第3学年担当	
(学年主任) 山本		(学年主任) 眞田		(学年主任) 河野	
1組	山本	1組	宇井	1組	花村
2組	吉川	2組	奥村	2組	太田
3組	船越	3組	眞田	3組	中村洸
4組	平山	4組	喜左上	4組	河野
5組	木下	5組	永山	5組	北畑
6組	中井	6組	坂本	6組	瀬川
副担任	山口			副担任	塚原
副担任	北川	副担任	脇谷	副担任	秋山
副担任	森	副担任	楠木	副担任	平尾
副担任	小寺	副担任	三好	副担任	松野
副担任	大島	副担任	石田	副担任	前川
副担任	岡村	副担任	井川	副担任	小山
養護教諭	佐藤	副担任	中尾	養護教諭	永塚

支援学級 担任	飯野	支援学級 担任	山形	支援学級 担任	中村康
支援学級 担任	阪上	通級指導 教室担当	小曾根	支援学級 担任	荒川・大川原
学力主担	石田	副主査	竹内	主事 臨時主事	丸住・坂本
支援学級非 常勤講師	橋本	不登校 支援員	伊東	音楽科 非常勤講師	細谷
理科 非常勤講師	伊藤	NET	Adrian Jankowsuki	SC	篠置
司書教諭	岡村	校務員	森山・坂田	施設 管理人	上野
施設 管理人	川端	施設 管理人	谷川	施設 管理人	中川
看護師	柳田	看護師	辻本	看護師	近藤
看護師	寺本	看護師	加賀・西澤	支援教育 支援員	川添

② 教科担当等

教科	名 前	教科	名 前	教科	名 前	教科	名 前
国語	○大島	理科	○塚原	保体	太田	英語	井手
	喜左上		中井		原	NET	Adrian Jankowsuki
	河野		岡村		山口	支援	飯野
	北畑		井川	技術	三好		阪上
	松野		永山	家庭	○小山		小曽根
社会	○石田	音楽	伊東	英語	○北川		山形
	木下		○宇井		平山		中村
	森		細谷		★坂本		荒川
	眞田	美術	○船越		中尾		大川原
	○脇谷		前川		楠木		川添
数学	平尾	保体	○小寺		★中村		橋本
	山本		吉川		★花村	★…少人数担当	
	瀬川		奥村		秋山		

③ 部活動顧問

部 名	顧 問 名			
陸 上	奥村	小曽根	塚原	山口
野 球	瀬川	太田	森	
サッカー	井手	山本	脇谷	
バドミントン	喜左上	木下	阪上	
バレー(女)	山形	平尾		
バスケ(男)	坂本	平山		
バスケ(女)	眞田	荒川	松野	
テニス(男)	中井	永山		
テニス(女)	小寺	船越	北畑	

部 名	顧 問 名			
剣 道	石田	小山	永塚	
卓 球	井川	吉川	楠木	大川原
水 泳	秋山	中村	洸	
茶 華 道	佐藤	北川		
演劇	中村康	花村		
マンガイラスト	河野	前川	岡村	
マルチメディア	中尾	三好		
吹奏楽	宇井	飯野	大島	

<外部指導員>

茶華道	田崎 英美	谷 なつみ	バドミントン	古園 宏洋	女子バスケットボール	長屋 太一
陸上	河合 裕文		吹奏楽	坂之上 篤	吹奏楽	川邊とおる
卓球	神田 和輝		男子バスケットボール	武田 直之	女子バレーボール	井上 涼雅
男子ソフトテニス部	松澤 眞治		男子バスケットボール	岩本 直己		

(3)学年・学級編制(5月1日現在)

学級	第一学年			第二学年			第三学年		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1	19	20	39	20	19	39	19	21	40
2	18	20	38	20	19	39	19	20	39
3	18	20	38	20	19	39	20	20	40
4	18	20	38	20	18	38	20	20	40
5	18	20	38	20	19	39	19	21	40
6	18	20	38	21	18	39	19	21	40
支援	11	4	15	10	0	10	5	4	9
計	109	120	229	121	112	233	116	123	239
						総合計	346	355	701

(4)学校医・学校薬剤師

科目	氏名
薬剤師	太田 文二
内科医	友田 伊一朗
内科医	藤本 良知
歯科医	曾川 浩二
歯科医	紅露 吉浩
歯科医	北川 祐介
眼科医	岡田 康平
耳鼻科医	伊東 明彦

2. 教育課程

(1) 各教科等の時間配当

学年	授業日数	国	社	数	理	音	美	保体	技・家	英	道	特	総	総授業時数
1	204	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
		4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2	203	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
		4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3	200	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
		3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

(2) 週時程表

日課表(通常版)				日課表(そうじ×版)			
予鈴	8:35			予鈴	8:35		
出欠など	8:40	～	8:50	出欠など	8:40	～	8:50
1限	8:50	～	9:40	1限	8:50	～	9:40
2限	9:50	～	10:40	2限	9:50	～	10:40
3限	10:50	～	11:40	3限	10:50	～	11:40
4限	11:50	～	12:40	4限	11:50	～	12:40
昼食	12:40	～	13:25	昼食	12:40	～	13:25
5限	13:25	～	14:15	5限	13:25	～	14:15
6限	14:25	～	15:15	6限	14:25	～	15:15
清掃	15:15	～	15:30	終礼	15:20	～	15:30
終礼	15:30	～	15:40	クラブ		～	16:45
クラブ		～	16:45	※原則、17:00完全下校			
※原則、17:00完全下校							

* 定期テスト 1 週間前からは、部活動を中止します。

(3)教科横断計画表・各教科等の目標と課題・方策

1年生 年間計画(教科横断大計画表)														
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	保健	技術	家庭	英語	特活	道徳	総合
4月	・朝のリリース③ ・竜⑤	世界の姿⑤ 歴史への扉③	正の数・負の数⑩	自然の中にあふれる生命⑨ いろいろな生物とその共通点⑩ ・植物の分類とその特徴 ・動物の分類とその特徴	歌唱 主人は冷たい土の中に 校歌 器楽 リコーダー 鑑賞 「春」音楽のポイントに注目して聴こう	広がる模様の世界 (色学習)⑦	休つきり運動⑩		技術分野のガイダンス②	食事の役割と中学生の栄養の特徴③ 中学生に必要な栄養素を満たす食事④	Get Ready! 小学校で学んだ表現 アルファベットの文字と音、つづり字と発音 英語の語順	学級開き・学年づくり 自己紹介 共生社会学習 プロジェクトアドベンチャーにむけて	困難を乗り越える力 公德心、公共の精神 公正、公平、社会正義 ④	自分を考える(興味) 人間関係作り
5月	・ペンギンの防寒着① ・クジラの飲み水③ ・文法「文節・単語」⑤	日本の姿⑥ 世界の古代文明と宗教の起こり③	正の数・負の数⑫		歌唱 朝の風に 2部合唱 器楽 リコーダー 創作 「リズム曲を作ろう」	文字っておもしろい (カッパ種のデザイン)⑧	機械運動⑩ (マット)				Program1 ・be動詞 ・where Step1 発表の仕方 Program2 一般動詞 ・when 命令文 Program3 ・can ・what Step2 マッピングの使い方 Our Project1 【自己紹介】 あなたの知らない私	プロジェクトアドベンチャーにむけて 生徒総会にむけて	向上心、個性の伸長 文化の尊重、国際理解 よりよい学校生活、集団生活の充実⑤	
6月	・空中ブランコ乗りのキキ⑤ ・字のない蔵書⑤ ・文法(文の成分)⑥	世界各地の人々の生活と環境⑩ 世界の古代文明と宗教の起こり③	正の数・負の数⑭ 文字の式⑭		歌唱 朝の風に 2部合唱 器楽 リコーダー 創作 「リズム曲を作ろう」	文字っておもしろい (カッパ種のデザイン)⑧	バスケットボール⑩					人権学習	礼儀の心 自然を愛する 自然に感動する心 節度、節制 お互いを認め合う 支え合う家族 よりよく生きる喜び⑥	避難訓練 体育祭 文化祭
7月	1000円の価値 ・書写② ・部首と成り立ち③	世界の諸地域-1アジア州⑤ 日本列島の誕生と大陸との交流④		光・音・力による現象② ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象			水泳⑤ (クロール)		材料と加工の技術の原理・法則と仕組み⑩ 私たちとT.P.Q① 衣服計画と必要な衣服の選択③ 作って楽しい布製品④	どうして衣服を着るのだろうか① 私たちとT.P.Q① 衣服計画と必要な衣服の選択③ 作って楽しい布製品④	Our Project1 【自己紹介】 あなたの知らない私 ハンバーガーショップへ行こう	平和学習 1学期の振り返り		
8月 9月	・月を想う心① ・竹取物語⑥ ・故事成語⑤	世界の諸地域-2ヨーロッパ⑤ 古代国家の歩みと東アジア世界④	方程式⑯ 変化と対応②	現象	歌唱 「浜辺の歌」 器楽 リコーダー 鑑賞 「魔王」	暮らしの中の木の造形(寄せ木アート)⑨ 鑑賞との出会い②	水泳⑤(平泳ぎ) 剣道③				Program5 ・三人称単数 持ち物をたずねよう			人間関係作り 体育祭 文化祭②
10月	・防災に関するデータ③ ・文法(名詞)② ・「みんなであるから大丈夫」の怖さ③	古代国家の歩みと東アジア世界⑤ 世界の諸地域-3アフリカ州④		身のまわりの性質⑤ ・いろいろ ・物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質の性質			剣道⑤ バレーボール⑤			衣服の手入れ③ よりよい衣生活を自指して② 生活を豊かにする工夫①	Program6 ・him/her ・why / because Step3 スピーチの構成		勤労 つながる生命 災害時、わたしたちにできること ⑥	
11月	・それだけでいい⑤ ・文法(副詞・連体詞・接続詞・感動詞)⑤ ・意味と意図⑥	武士の政権の成立⑥ 世界の諸地域-4北アメリカ州④	変化と対応② ④ 平面図形⑩	がたとそ の変化	歌唱 混声3部合唱 器楽 リコーダー 鑑賞 日本の民謡	なぜか気になる情景 (アートグラフィス)⑨ 持久走③	バレーボール⑤ 持久走③				Program7 ・There is ~ ・How 疑問詞を使った疑問文 学校案内をしよう Step4 聞き上手になろう		郷土芸能を伝える 勤労 ② 自分を考える③	避難訓練
12月	意味と意図④ ・書写② ・少年の目の思い出⑩	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-5南アメリカ州④	平面図形⑪ 空間図形④	活きている地球② ・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地 ・語る大地			持久走⑦		材料と加工の技術による問題解決②	日本の食文化と和食の調理③	Our Project2 【他己紹介】 Program8 現在進行形 Power-Up ショッピングをしよう	性教育 2学期の振り返り	⑦	
1月	・文法(形容詞・形容動詞)④ ・トロッコ④	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-6オセアニア州③			歌唱 混声3部合唱⑥ リコーダー 創作・理論 音の長さの聴き取り 鑑賞 雅楽 平調越天楽 管絃	印象に残るシンボルマーク⑥ (私のマーク)⑥	ハードル走⑥			住まいの役割① 生活行為と住空間②	Program9 一般動詞の過去形 Step5 発表用メモを活用しよう	学年行事にむけて		自分を考える③ 避難訓練①
2月	・トロッコ⑥ 電車は走る③	ユーラシアの動きと武士の政治の展開⑤ 世界の諸地域-まとめ④	空間図形③ データの活用④				ハードル走② サッカー③			日本の住まいと住まい方② 安全で安心な住まい②	インタビューを聞こう Program10 ・be動詞過去形 過去進行形 Step6 絵や写真を英語で表現しよう	学年行事 進路学習	③	
3月	・グループ新聞⑥ 敬語② ・文法のまとめ③	ヨーロッパ人との出会いと全国統一⑥ 地域調査の手法③	データの活用⑩		発想課題④		サッカー⑦		社会の発展と材料と加工の技術③	健康で快適な住まい② よりよい住生活を自指して①	Our Project3 私が選んだ1枚 Power-Up 絵葉書を書こう	3学期の振り返り 2年生にむけて	誠実な生き方 友情、信頼 ②	小中連携 学年行事

	国語	社会	数学	理科A	理科B	音楽	美術	体育	保健	技術	家庭	英語	特活	道徳	総合
4月	・名づけられた薬① ・セミロングホーム⑤ ・ブルーングディスカッション② 書写	・ユーラシアの政治的展開① ・ヨーロッパ人との出会い③ 写真	式の計算④	化学変化と原子・分子③ ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	生物の体のつくりとはたらき③ ・生物のからだをつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ	歌謡曲をくたさい校歌 （歌声3部合唱） 器楽 リコーダー・ラップトップ・コンチェルト 鑑賞 「交響曲第5番ハ短調」	その一枚が人を動かす（バスター作成）の 健康な生活と病気予防・傷害の防止⑤ 体育理論—運動やスポーツの意義や効果に学び安全なやり方⑤	休つきり運動⑤		情報の技術の原理・法則と仕組み⑤ 文字入力ソフト⑤ 安全に利用するための情報モラルとセキュリティ②	食事の役割から学生の実践的特徴③ 食品に含まれる栄養素④ 何をどれで食べればよいのか④ バランスのよい献立づくり④	Lesson1 Meet New Friends will/be going to の復習 Goal Activity 1年で経験した学校行事などを紹介する	字級開き 字綴づくり 自己紹介 人間関係づくり	自分の弱さの克服 公徳心、公共の精神 自分を信じて	人間関係づくり 共生社会学習
5月	宇宙に行けたための素材① ・人間は他の星に住むことができるか⑥	・日本の地域的特色と地域区分⑤ ・地域調査の方法⑥	連立方程式⑥					走幅跳⑤		情報のデジタル化① ネットワークの仕組み⑤ 文字入力ソフト⑤ 安全に利用するための情報モラルとセキュリティ②	Take Action Listen!空港のアナウンス Take Action Read 1博物館のイベント Lesson 2 Fun with Books プラツン先生のお気に入りの本 ・接続詞 when if ・ビータープラットのお話を読んで ・接続詞 that	本当の友達 文化の尊重 国際理解④ 校外学習にむけて			
6月	・短歌の世界② ・短歌十首③	・ユーラシアの動土と武士の戦後の展開④ ・ヨーロッパ人との出会い③	連立方程式⑤			歌唱 イタリア歌曲「サンタルータ」 器楽 リコーダー・威風堂々 創作 リズムアンサンブル		ソフポートボール⑤		調理のための食品の選択と購入⑤ 日常食の調理と地域の食文化⑤	Lesson 3 My Dream 職場体験 【不定詞 + 動詞の原形】 厨房に入るときルール ・must…/must not…	支え合う生命 人の思いやりへの感謝 国際社会の一員 規則の役割 自然の偉大さ 地域の偉い大切さ 真実を追い求める⑦	校外学習にむけて 職場体験井向けて避難訓練 文化祭 体育祭		
7月	・壁に残された伝説① 文法：動詞⑤	・ヨーロッパ人との出会い③ ・日本の諸地域（九州地方）⑥	一次関数⑩				暮らしに飽きてる（アート鑑賞）①	水泳⑤ （背泳ぎ）		プログラミンズ製作②	Lesson3 ・将来したいことや、夢についてスピーチする ・ピーターラビット物語を読み、感想を伝える 交流車とめ	非行防止教室 1学期の振り返り			
8月	味は味覚だけでは決まらない③ マンガ情報報の扱い方① 100年後の水を守る④ 飲み水は不足しているか④ 水問題に関する資料④ 投稿文② プレゼンテーション③	・日本の諸地域（中部地方）⑥ ・日本の諸地域（近畿地方）⑤	一次関数⑫			歌謡 夏の思い出展の月 歌声3部合唱 器楽 リコーダー・威風堂々 電機 「カベラ」歌舞伎 使用		水泳⑤ （背泳ぎ） バレーボール⑤		日常食の調理③ 生活を豊かにするために⑤ デジタル作品の制作と製作⑤	Lesson4 Safe Clean Water ・There is [are] … ・動名詞 have to Goal Activity 電通問題について、問題点と解決策をまとめる 「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現を用いて意見をかわす	2学期のはじめに 人間関係づくり	いじめへの公正な態度 ①		体育祭 文化祭
10月	平家物語③ 文法助詞③ 手紙・メール②	・日本の諸地域（中部地方）⑥ ・日本の諸地域（関東地方）⑤	一次関数⑫ 図形の性質と証明⑥	地球の大気と天気の変化④ ・地球をとり巻く大気のようす ・大気中の水の変化 ・天気の動きと大気の動き ・大気の動きと日本の四季	電流とその利用④ ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	歌唱 歌声3部合唱 器楽 リコーダー「威風堂々」	人が生きる社会と未来（リサイクル作品）の	バレーボール⑤ 跳び箱⑥		わたしたちの生活と生物育成② 作物の栽培② 私たちが消費生活⑥	Lesson 5 Visiting Australia SVOC / SVOC など ・海外から日本に来た旅行者に紹介したい場所を伝えかき方を教えますよ ・How to 動詞の原形 電車の乗換え案内	社会のためにできること 節度・節制の大切さ 災害時、わたしたちにできること④ 生徒会役員選挙にむけて	職業体験にむけて 避難訓練 社会の課題を解決する（プレゼン発表に向けて）		
11月	枕草子・徒然草③ 漢詩② 文法：助動詞③ 書写⑤	・日本の諸地域（東北地方）⑥ ・日本の諸地域（北海道地方）⑥	図形の性質と証明⑥			歌唱 歌声3部合唱 器楽 リコーダー「ふるさと」 ギター 鑑賞 世界の民族音楽		跳び箱⑥ バスケットボール⑤		動物の育成④ 水産生物の栽培④ ・生物育成に関する技術の開発とわたしたち② 私たちが消費生活⑥	Lesson 6 シンガポールの姉妹校 日本の魅力を伝える ・形容詞の比較級・最上級 ・同等比較(as…as) ・副詞の比較級・最上級 文法のまとめ Gift from China	社会への貢献 心を形に ② 性教育	初めに返る わかり合うこと 個性を尊重する社会 輝く生命 私たちがつくる校園 哀の友情 家族のきずな⑦	職場体験学習 避難訓練 社会の課題を解決する（プレゼン発表に向けて）	
12月	迷れメロス⑥ 書写③	・地域の在り方④ ・江戸幕府の成立と対外政策⑤	図形の性質と証明⑥			歌唱 歌声3部合唱 器楽 リコーダー「ふるさと」 ギター 鑑賞 世界の民族音楽		バスケットボール⑤		デジタル作品の設計と製作③ 私たちが消費生活⑥	Lesson 7 Gift from China ・現在完了形 地域の食べ物や飲み物	2学期の振り返り			
1月	大河劇③ 小さな手袋④ ・書写②	・産業の発展と都市の動き⑥ ・欧米における近代化の進展⑤	場合の数と確率⑤			歌唱 歌声3部合唱 器楽 リコーダー「ふるさと」 ギター 鑑賞 世界の民族音楽		持久走⑦		プログラムによる計測・制御③ 情報に関する技術の開発・活用③ 責任ある消費者になるために⑤	Language Focus ・tell A that … ・インタビューを聞いて、要点を捉える 困っていることを伝える。 責任ある消費者になるために⑤ Take Action! 個人目標に持つていくものを話し合う 意見言う 賛成する 反対する 文法のまとめ	学年行事 3学期の振り返り 3年生にむけて			避難訓練
2月	動物園でできること④ 文法：敬語⑤	・欧米の進出と開港⑤ ・明治維新⑤	場合の数と確率⑤ 箱ひげ図とデータの読み取り⑤					持久走⑧ ダンス⑧			Lesson 8 Rakugo Overseas ・現在完了形	学年行事 3学期の振り返り 3年生にむけて			進路学習
3月	文法：まとめ ・創作文② ・書写④	・明治維新⑤ ・日清・日露戦争と近代産業⑤	1年間の復習⑤				動きを生かして印象的に（動画づくり）⑧			わたしたちの生活とエネルギー交換③		Lesson 8 Rakugo Overseas ・現在完了形	学年行事 3学期の振り返り 3年生にむけて	懸命に生きる②	

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

コミュニケーション力 ・ やりぬく ・ チャレンジ、行動

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

コミュニケーション力…言葉のきまりを理解し、正しく使えるようにする。

対話を通し、自分の意見・気持ち・感情を的確に表現できる。

対話を通し、相手の考え・感情を十分に理解することで、お互いの関係が発展性を持つ。

やりぬく…課題(問題)に最後まで取り組む。

チャレンジ、行動…関心を高め、積極的に取り組む。

日常生活と結び付けながら、自ら授業に真剣に散り組む。

【取り組み内容】時系列で列挙

<通年> 漢字テスト・協働作業(グループ活動)・作文・書写・ICTの活用

4月… シラバス作成

5月… 単元テストの検討・振り返り

6月… 単元テストの検討・振り返り

7月… 日本文化についての調べ学習(3年)

百人一首レポート(2年)

ポップ作成(1年)

8月… 日本文化についての調べ学習(3年)

百人一首レポート(2年)

実力テスト検討・振り返り

9月… 文化祭展示(1年)・実力テスト検討

10月… 単元テストの検討

11月… 実力テスト振り返り・期末テスト検討・研究授業指導案検討

12月… 日本文化のレポート(2年)

1月… 実力テスト検討・振り返り・卒業テスト検討・振り返り

百人一首大会に向けた取り組み

百人一首大会<2年生>

2月… 卒業生へのメッセージ作り<1年>・学年末テスト検討・振り返り

やりぬく

コミュニケーション

3月… 次年度の年間目標・年間計画(暫定)の設定

やりぬく

R7年度【 社 会 科 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

・自分で決める ➡ チャレンジ・行動 ・振り返り・改善

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分で決める》 ・ 《チャレンジ・行動》

- ・こちらから出した課題を自分たちで選択し、自分たちの力で進めていく
- ・発表のために根拠となる資料を自分で考え、取捨選択する
- ・探究的な課題を自ら立て、自らの力で追究する

《振り返り・改善》

- ・わからないところがあれば「わからない」と発信できる
- ・学習したことから自分なりの問いを立てる
- ・発表をきいて、自分なりの疑問や意見を相手に伝える
 - ➡ それに対して根拠を持って答える わかかなければ問い返す
- ※ より良くするための意見であること、考えや疑問を伝えることは悪いことではないことをお互いが理解する（心理的な安全性の確保）

【目標】

- 1年:調査や諸資料から、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける
- 2年:社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる
- 2年:社会にみられる課題に気づき、それについて考えたことを説明したり、議論したりする力を養う
- 3年:社会的事象について、よりよい(幸せに生きあう)社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養う

【取り組み内容】

通年	・協働学習(グループ活動) ・ICT 機器の活用 ・家庭学習の充実(問題集等の活用) ・予習プリント(反転学習) ・単元テスト、単元レポートの実施 ・パフォーマンス課題の実施 ・振り返りによる学習内容の言語化	コミュニケーションカ		
		チャレンジ・行動	やりぬく	
		振り返り・改善		
4月	・ガイダンス(全学年)			
6月	・期末テストの問題検討、振り返り			
8月	・夏休みの宿題	自分で決める		チャレンジ・行動
10月	・文化祭展示(夏休みの宿題を展示)			
11月	・期末テストの問題検討、振り返り			
12月	・租税教室(3年生) ・研究授業(3年生)の指導案検討、実施、協議 ・冬休みの宿題	自分で決める		チャレンジ・行動
1月	・卒業テストの問題検討、振り返り			
2月	・学年末テストの問題検討、振り返り ・研究授業(1、2年生)の指導案検討、実施、協議 ・WorldShift(3年生)	自分で決める		チャレンジ・行動
3月	・次年度の年間目標・年間計画(暫定)の設定			

R7年度【 数学科 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

○コミュニケーション力 ○振り返り・改善 ○やりぬく

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《コミュニケーション力》

- ・説明する・質問する。
- ・わかる、できる生徒が「わかる？できる？」と周りの生徒に声をかける。
- ・わからない、できない生徒が「わからない、できない」と周りの生徒に言う。

《振り返り・改善》

- ・自分で何がわかったか、わからないかを書く。
- ・自分で何ができるようになったのか、できていないかを書く。
- ・もっと知りたいこと、調べたいこと、疑問に思ったことを書く。
- ・家庭学習や次時への学習へつなげる。

《やりぬく》

- ・すべての生徒が問題や課題をやり切る。
- ・提出物を当たり前に出す。
- ・50分間授業に参加する。

【取り組み内容】 時系列で列挙

通年：・単元テストの作成、実施、評価 ・レポート課題の作成、実施、評価

・教科部会の実施

4月：・年間指導計画の検討、教科教育目標の策定

5月：・全国学力・学習状況調査の問題分析

6月：・期末テストの問題検討

8月：・全国学力・学習状況調査の結果分析

9月：・校内研究授業の指導案検討

11月：・期末テストの問題検討

12月：・校内研究授業の実施

1月：・校内研究授業の指導案検討、大阪府チャレンジテストの問題分析、卒業テストの問題検討

2月：・校内研究授業の実施、学年末テストの問題検討

3月：・大阪府チャレンジテストの結果分析(予定)

チャレンジ・行動

振り返り・改善

やりぬく

自分を知る

コミュニケーション力

振り返り・改善

やりぬく

R7年度【 理科 】教育計画面

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

・チャレンジ、行動 ・振り返り、改善 ・コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《チャレンジ・行動》

・自分で「この現象がなぜ起きたのか?」と疑問に思い、分析し、考察できる

《振り返り・改善》

・実験、観察の結果を振り返り考察し、授業での知識を活用して言語化することができる。

《コミュニケーション力》

・自分で考えたことをまとめ、言語化して交流できる。

・班で役割分担し、協力して実験をおこなうことができる。

【取り組み内容】時系列で列挙

・6月 高等学校の先生の出前授業の実施(ダニエル電池と炎色反応、3年生)

・7月「調べ学習コンクール」に出典するための調べ学習の実施(1年生・3年生)、図書館利用

・10月 作成した作品の見る機会の設定 文化祭に出展(1～3年)

・通年

適切な実験等の体験 1～3年

ワークシートやノート、課題を設定して、生徒活動、交流を中心にした授業の展開を実施

1～3年生

授業展開の教材や実験・観察アイデアの交流 理科部会

外部の講師や先生の出前授業の計画(実施まで至らなかったものも…) 理科部会

単元ごとにレポートの実施、ワークシート等を活用した「見える評価」化

・年間計画

	1年		2年		3年	
4月	自然の中にあふれる生命(9h)	活きている地球 (24h)	生物の体のつくりとはたらき(39h)	化学変化と原子・分子(34h)	生命の連続性 (23h)	化学変化とイオン(29h)
5月	いろいろな生物とその共通点(19h)	・身近な大地	・生物のからだをつくるもの	・物質の成り立ち	・生物のふえ方と成長	・水溶液とイオン
6月	・植物の分類とその特徴	・ゆれる大地	・植物の体のつくりとはたらき	・物質の表し方	・遺伝の規則性と遺伝子	・電池とイオン
7月	・動物の分類とその特徴	・火をふく大地	・動物の体のつくりとはたらき	・さまざまな化学変化	・生物の種類の多様性と進化	・酸・アルカリと塩
8月		・語る大地	・動物の行動のしくみ	・化学変化と物質の質量	宇宙を観る(22h)	運動とエネルギー(36h)
9月		光・音・力による現象 (28h)		地球の大気と天気の変化(30h)	・地球から宇宙へ	・力の合成と分解 ・物体の運動
10月		・光による現象		・地球をとり巻く大気の様子	・太陽と恒星の動き	・仕事とエネルギー
11月		・音による現象		・待機中の水の変化	・月と金星の動きと見え方	・多様なエネルギーとその移り変わり
12月		・力による現象	電流とその利用 (37h)	・天気の変化と大気の動き		・エネルギー資源とその利用
1月	身のまわりの物質 (25h)		・電流の性質	・大気の動きと日本の四季	自然と人間 (30h)	
	・いろいろな物質とその性質		・電流の正体		・自然界のつり合い ・人間と環境	
2月	・いろいろな気体とその性質		・電流と磁界		・自然が人間の生活におよぼす影響	
3月	・水溶液の性質				・科学技術と人間	
	・物質のすがたとその変化				・科学技術の利用と環境保全	
計	105h		140h		140h	

R7年度【 美術科 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

- ・自分を知る 自分で決める チャレンジ・行動 振り返り・改善
- やりぬく コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

- ・表現したものを客観的にみることで、自分らしさに気付く。

《自分で決める》

- ・制作過程を計画的に意識し、イメージを自己決定出来る。

《チャレンジ・行動》

- ・イメージを具現化する中で、自分らしさを追求する。

《振り返り・改善》

- ・(振り返りシートの中で)成果や目標の設定が出来る。

《やりぬく》

- ・形に出来る。

《コミュニケーション力》

- ・制作途中や鑑賞の中で、作者の心情を理解出来る。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年 :

<全ての授業で>

4月 : ・(1年)デザイン(2年)デザイン(3年)絵画

自分で決める

5月 : ・ ↓

6月 : ・(1年)デザイン(2年)鑑賞 (3年)絵画

チャレンジ・行動

7月 : ・ ↓

8月 : ・(1年)工芸 (2年)工芸 (3年)工芸

自分を知る

9月 : ・ ↓

10月 : ・(1年)鑑賞 (2年)表現 (3年)自由表現

11月 : ・(1年)絵画 ↓

振り返り・改善

12月 : ・ ↓

1月 : ・(1年)デザイン(2年)絵画 (3年)デザイン

コミュニケーション力

2月 : ・ ↓

3月 : ・(1年)鑑賞 (2年)表現 (3年)絵画

やりぬく

R7年度【保健体育科】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

【チャレンジ・行動】【やりぬく】【コミュニケーション力】

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《チャレンジ・行動》

- ・失敗を恐れず様々なスポーツに前向きに取り組める
- ・現状に満足せず今よりも高いレベルの運動に取り組もうとする
- ・チャレンジしている仲間を応援する姿勢がある

《やりぬく》

- ・記録の向上や技術の習得に喜びを感じれる
- ・記録の向上や技術の習得に向けて努力をし続ける
- ・集団としての規律やスポーツのルールを理解できる

《コミュニケーション力》

- ・自分の意見を相手に伝えたり他者の意見を受け入れながらスポーツに取り組める
- ・他者にアドバイスを求めたり、困っている仲間にアドバイスしたりできる
- ・お互いに支え合い、応援し合う姿勢がある

【取り組み内容】時系列で列挙

学校行事	入学式	修学旅行	期末テスト	期末懇談	夏休み	文化祭	体育祭	期末テスト	期末懇談	冬休み	学年末テスト	卒業式	体育	保健	体育理論	計
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	86	16	3	105
	1学期 15週					2学期 18週					3学期 3年:10週 12年:12週					
1年	体づくり⑩	マット⑩	バスケ⑩			水泳⑩	剣道⑧	バレー⑩	持久走⑩		ハードル走⑧	サッカー⑩	86	16	3	105
2年	体づくり⑩	走幅跳⑧	ソフト⑩	水泳⑩		バレー⑩	跳び箱⑧	バスケ⑩		持久走⑩	ダンス⑩		86	16	3	105
3年	体づくり⑩	ハンド⑩	マット⑧	水泳⑩		走高跳⑧	サッカー⑩	ダンス⑩		バレー⑩	球技⑩		86	16	3	105

R7年度 【 技術・家庭科 】 教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

- ・振り返り・改善
- ・コミュニケーション力(思いやり・リーダーシップ)

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《振り返り・改善》

- ・生活と技能についての基礎的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけようとする。
- ・生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、よりよい生活を送るために解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。

《コミュニケーション力》

- ・他者からの意見を受け入れながら、【自分の理想・将来像】を想像し、想いを言語(文章)で表現する。
- ・自分だけでなく、身の周りの人たちの存在を認め、さまざまな生活実態をもつ集団の中で、より学びを深める。
- ・将来や持続可能な社会の構築に向けて、技術・家庭科で学習したことをもとに生活を工夫し創造しようとする。生きる力を養う。

【取り組み内容】 時系列で列挙

- 通年：①ペアやグループ活動による言語活動の充実
②テスト関係(実技、定期、単元)
③探究を通じた成果物の作成
④身近な題材による課題解決

コミュニケーション力

振り返り・改善

第1学期	技術	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	項目	材料と加工の技術					材料と加工の技術				材料と加工の技術		
	学習内容	・ガイダンス					・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作				・材料に適した加工方法 ・丈夫な製品を作るために ・設計、製作		
	家庭科	4月	5月	6月～10月					11月	12月	1月	2月	3月
第1学期	項目	A(1) 自分の成長と 家族・家庭生 活	B(1) 食事の役割と 中学生の栄養	B(2) 中学生に必要な栄養を満たす 食事	B(4) 衣服の選択と手入れ					B(6) 住居の機能と安全な住まい方			
	学習内容	・食事の役割 ・栄養素の種 類と働き ・中学生の栄 養	・食品に含まれる栄養素 ・中学生の1日に必要な食品 の種類と概量 ・1日分の献立の工夫		・衣服の働き ・目的に応じた着用や個性を生かす着用 ・日本の衣文化(ゆかた着装体験) ・衣服の手入れ(洗濯)					・住まいの働き ・気候風土とのかかわり ・家族の安全を考えた住空間 ・持続可能な住生活を目指して			
	技術	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	項目	情報の技術					情報に関する技術				情報に関する技術		
第2学期	学習内容	・情報の技術と原理・法則と仕組み ・情報のデジタル化 ・ネットワークの仕組み ・情報モラルとセキュリティ					・コンピュータと情報処理 ・ネットワークと情報セキュリティ ・プログラミングによる問題解決				・デジタル作品の製作 ・表計算ソフトの利用		
	家庭科	4月～5月			6月～10月					11月～1月		2月	3月
	項目	B(3) 調理のための食品の選択と購入			B(4) 日常食の調理と地域の食文化					C(1) 私たちの消費生活		C(2) 責任ある消費者になるために	
	学習内容	・食品の選択と購入 ・生鮮食品 ・加工食品 ・食品の保存と食中毒予防			・日常食の調理 ・包丁の使い方 ・野菜・芋の調理 ・肉の調理 ・魚の調理 ・日本の食文化					・計画的な金銭の管理 ・購入方法、支払い方法 ・消費者トラブル ・意思決定のプロセス		・消費者としてできること ・持続可能な消費生活を目指して	
第3学期	技術	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	項目	エネルギー変換に関する技術					エネルギー変換に関する技術				電気回路の製作		
	学習内容	・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・機器の安全な利用と保守点検 ・実習					・私たちの生活とエネルギー変換 ・機器の安全な利用と保守点検 ・実習				・実習		
	家庭科	4月～7月				8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第3学期	項目	A(2) 幼児の生活と家族				A(2) A(4)	A(2) 幼児の生活と家族				A(3) 家族・家庭や地域との関わり		
	学習内容	・幼い頃の振り返り ・幼児の体の発達 ・幼児の心の発達 ・保育実習(赤ちゃん先生)				幼児や衣生活、環境の 課題と変換	・幼児の生活 ・幼児にとっての遊びの意義 ・幼児との関わり方の工夫				・家族の協力と家族関係 ・高齢者との関わり ・地域での協働を目指して		

<英語科>

R7年度【英語科】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

チャレンジ・行動→コミュニケーション力→振り返り・改善

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《チャレンジ・行動》

聞くこと

日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、話の概要や短い説明の要点を捉えることができる。

読むこと

日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ったり、短い文章の概要や要点を捉えることができる。

話すこと〔発表〕

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

書くこと

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

《コミュニケーション力》

話すこと〔やり取り〕

日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で会話を継続することができる。

《振り返り・改善》

学習したあとに身についたことを振り返り、その後の学びに活かしていく。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	協働学習(グループ活動)	ICT 機器の活用	家庭学習(デジタル教科書)の実践	やりぬく
	Weblio Study	自分で決める	授業プリント	
	パフォーマンステスト(プレゼンテーション・スピーキングテスト) 暗唱テスト 単元計画表、単元テスト、学習記録表の実施 自主勉ノートによる目標と達成度の振り返り			
4月	ガイダンス(全学年)			
6月	期末テストの問題検討、振り返り		振り返り・改善	
7月	パフォーマンステスト(3年生:アイスクリーム)		コミュニケーション力	
8月	夏休みの宿題			
9月	パフォーマンステスト(1年:偉人、ロボット)			
10月	パフォーマンステスト(2年:行ってみたい国)	自分を知る	チャレンジ・行動	
	北河内英語科プレゼンテーション			
11月	期末テストの問題検討、振り返り			
12月	研究授業(2年生)の指導案検討、実施、協議、冬休みの宿題		振り返り・改善	
1月	卒業テストの問題検討、振り返り			
2月	学年末テストの問題検討、振り返り 研究授業(1年生)の指導案検討、実施、協議、総括			
3月	次年度の年間目標・年間計画の設定			振り返り・改善

HIRAKATA BASIC CAN-DO STATEMENT for JUNIOR HIGH SCHOOL

	第1学年	第2学年	第3学年
聞くこと	① 簡単な商品説明や天気予報を聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ② 関心のある事柄についての簡単な説明（映画の予告編など）を聞いて、その概要を聞き取ることができる。 ③ 短く簡単なアナウンスを聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	① 短く簡単なアナウンスなどを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ② 身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。 ③ 日常的な話題の説明や会話（インタビューなど）を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	① ある程度の長さのアナウンスを聞いて、その中から自分が必要な情報を採し、聞き取ることができる。 ② 身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その概要を聞き取ることができる。 ③ 日常的な話題の音声案内や説明を聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。
	Take Action Listen など	Take Action Listen など	Take Action Listen など
話すこと [Production]	① 好きな人物や学校生活などについて、即興で応答しながら質問したり、答えたりすることができる。 ② 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。	① 好きな本や将来したいことなどについて、即興である程度会話を続けることができる。 ② 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合ったり、意見交換をしたりすることができる。	① 日常的な話題や社会的な話題について、即興で会話を続けたり、感じたことや考えたことを伝え合ったりすることができる。 ② 日常的な話題や社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、簡単な話し合いをすることができる。
	Small Talk Plus [Lesson 5, 6, 8], Take Action! Talk 1, 2, 3, 4 など	Small Talk Plus [Lesson 2, 3, 4, 5, 7], Take Action! Talk 1, 2, 3, 4 など	Small Talk Plus [Lesson 2, 4, 5, 7], Take Action! Talk 1, 2, 3, 4 Goal Activity [Lesson 7] など
話すこと [Interaction]	① あこがれの人物や夏休みの予定について、準備した上で、発表することができる。 ② 人気のあるキャラクターなどについて、詳しい説明を加えて、準備した上で、発表することができる。	① 日常的な話題について、即興で、簡単な説明をしたり、自分の考えなどを述べたりすることができる。 ② 社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理した上で、発表することができる。	① 日常的な話題について、即興で自分の考えなどを整理した上で、まとまりのある内容を発表することができる。 ② 社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、考えたことやその理由を話すことができる。
	Goal Activity [Lesson 2, 4, 5], Project 1, 3 など	Goal Activity [Lesson 1, 5] / Project 1, 2 など	Goal Activity [Lesson 1] / Project 1, 3 など
読むこと	① 案内図やチラシなどを読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれた物語を読んで、そのあらすじ（概要）を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれた雑誌や新聞の記事を読んで、筆者が伝えたいこと（要点）を読み取ることができる。	① 掲示版や商品紹介を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれた記事や物語を読んで、その大まかな内容（概要）を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれたメールやインタビュー記事を読んで、書き手や話し手が最も伝えたいこと（要点）を読み取ることができる。	① 簡単な英語で書かれた商品の説明やイベントの案内を読んで、自分が必要な情報を読み取ることができる。 ② 簡単な英語で書かれたコラムや記事を読んで、その大まかな内容（概要）を読み取ることができる。 ③ 簡単な英語で書かれた情報誌やウェブサイトの記事を読んで、重要な情報（要点）を読み取ることができる。
	Take Action! Read 1, 2, Reading Lesson 1, 2, Goal Activity [Lesson 7, 9] など	Take Action! Read 1, 2, Reading Lesson 1, 2, 3, Goal Activity [Lesson 3, 6, 8] など	Take Action! Read 1, 2, Reading Lesson 1, 2, 3, Goal Activity [Lesson 3, 6, 8] など
書くこと	① プロフィールカードや大切なものを紹介するクイズ、ロボットの特徴を書くことができる。 ② 学校生活や行事などについて、事実や自分の考えなどを整理して、短く簡単なメールや絵日記を書くことができる。	① 日常的な話題について、事実や自分の考えを整理して、（おすすめの本やおみやげなどの）紹介文を書くことができる。 ② 社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理して、解決策を提案する文を書くことができる。	① 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理した上で、詳しい理由や説明を加え、記事などを書くことができる。 ② 社会的な話題について、読んだ英文の内容を踏まえて、考えたこととその理由を書くことができる。
	Goal Activity [Lesson 1, 3, 6, 8], Project 2,	Goal Activity [Lesson 2, 4, 7], Project 3 など	各UnitのActivity2, Daily Scene 2, 6 など
CEFR との関連			A1
英検 との関連	5級	4級	3級

(4)「情報教育」の年間計画 (1年生)

学年別年間指導計画【中学1年】											
○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて通しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間80文字程度)										
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。										
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。										
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考慮して適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中で必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。										
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		【文法】 mentimeterを用いた意見交流(I・II)	【電】 keynoteで作った作品 オクリンクで意見交流(I・II)	【空中ブランコ 乗りのキキ】 オクリンクでの 意見交流(I・II)	【故事成語】 keynoteを用いて個人で 作った作品を班で共有 オクリンクで意見交流(I・II)	【竹取物語】 オクリンクでの 意見交流(I・II)	【少年の日の 思い】 オクリンクでの 意見交流(I・II)	【手紙の書き方】 作品提出(I・II)	【トロッコ】 オクリンクでの 意見交流(I・II)		
社会	【世界の変・日本の姿】 世界の国クイズ、日本の都道府県クイズ をオクリンクで作成(I・I・I-2) 【世界各地の人々の生活と環境】 配信された雨温図などから気候の特 色をまとめて共有(I・I・I-2) 【古代までの日本】 キーパーソンのプレゼンをオクリンク やkeynoteで作成(I・I・I-2) 【古代までの日本・中世の日本】 各時代の文化の特色を資料を用い てオクリンクでまとめる(I・I・I-2) 【世界の諸地域】 各州の探究課題の解決に向けてオクリンクを活用 してグループでまとめる(I・I・I-2・II) 【通年】ミライシードの活用(オクリンクのカード作成、ムーブノートで意見集約)した意見や考えの交流(I・I・I-2・II)										
数学	【通年】 オクリンク等を用いた意見交流 デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用 【確率統計分野】 スプレッドシートを 活用した 統計処理										
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影(I・II・IV) 【調べ学習】 テーマや内容をWeb 等で情報収集 (I・II・IV) 【実験器具】 オクリンクでの 発表(I・II・IV)										
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習(I・I,2) 【越天案】 プレゼンテー ションの実施										
美術	【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流 (I・I, II) 【寄木アート】 作品写真提出 (I-2) 【鑑賞課題・現代アート】 案提出、交流 (I・II) 【発想課題・鯨】 案提出、交流 (I・II) 【発想課題・絵の中 をよく見ると】 案提出、交流										
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流 ミライシードを用いたレポート作成 Webを使った調べ学習 numbersを用いたふり返し numbersを用いたデータ処理 Googleclassroomを利用した資料の提示 ビデオ機能を使った動画撮影、研究										
技術	【材料と加工の技術】 様々な製品の最適化 ミライシードで交流(I・II・IV) 【材料と加工の技術】 材料の特性 Webでの調べ学習 ミライシードで交流(I・II) 【材料と加工の技術】 加工法 製図 製作過程を送信提出 適宜 ミライシードで交流(I・II) 【材料と加工の技術】 製作品の評価・課題・改良 ミライシードで交流(I・II)										
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流(I・II・IV) 【生活を豊かにする製作物】 被服実習～学校で使えるもの編～ ふりかえり提出・交流(I・II) 【栄養バランスの整った食事】 案、ふりかえり提出・交流(I・II) 【防災を意識した住まい方】 案、ふりかえり提出・交流(I・II)										
英語	【通年】 Webを使った調べ学習 【Project1】 Keynoteで「理想のロボット」 プレゼンテーション(I・II) 【Project3】 Keynoteで「大切なもの」 プレゼンテーション(I・II)										
総合的な学習の時間	【文化祭】 スライド作成・発表 (I・II・IV) 【防災教育】 ミニレポート 作成交流(I・II)										
情報モラル	【生徒会活動】通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(IV) 【道徳】 SNS講習会 【外部講師】(IV) 【道徳】 使っても大丈夫？ (IV) 【数学】 データの活用 (IV)										

(2年生)

学年別年間指導計画【中学2年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1)情報を複数集めて通しているものを吟味することができる。 (I-2)相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3)キーボード文字入力(1分間80文字程度)															
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1)問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2)統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3)問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4)改善点を分析し考えることができる。															
○ プログラミング的思考	(III-1)論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2)情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。															
○ 情報モラル	(IV-1)情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2)生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3)情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。															
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
国語	「セミロングホームルーム」 人物相関図をオクリンクで発表 (Ⅰ・Ⅱ)		「投稿文」 投稿文作成のための調べ学習 (Ⅰ・Ⅱ)		「漢詩」 作者についての調べ学習 (Ⅰ・Ⅱ)		「小さな手袋」 人物の心情の発表 (Ⅰ・Ⅱ)		「プレゼンテーション」 日本の文化のよさを伝える (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		「動物園でできること」 展示の内容をオクリンクで発表 (Ⅰ・Ⅱ)		「論説文」 論説文作成のための調べ学習 (Ⅰ・Ⅱ)		「情報誌」 情報収集、作品の発表 (Ⅰ・Ⅱ)	
社会	南蛮文化の紹介を作成して発表する。(Ⅰ-1.2.3・Ⅱ-1.3・Ⅳ-1)		沖縄の基地問題の資料を配布して読み取らせる。(Ⅱ-1.3.4)		琵琶湖の環境保全の取り組みを調べてまとめる。(Ⅰ-1.2.3・Ⅱ-1.4)		北陸の地場産業を調べてレポートを作成する。(Ⅰ-1.2.3・Ⅱ-2・Ⅲ-1)		関東の一極集中に関して、KPT法を活用してjamboardにまとめる。(Ⅰ-2・Ⅱ-2.4・Ⅲ-1)		北海道のエコツアーを企画し、どの案が良かったかを述べる。(Ⅱ-3・Ⅲ-2)		文明開化について調べ、欧米化の影響について述べる。(Ⅱ-1.3・Ⅲ-1・2)		日本の諸地域を深く調べまとめたものを発表する(Ⅱ-1.2.3.4・Ⅲ-1・2・Ⅳ-1.2)	
数学	【通年】 オクリンク等を用いた意見交流・振り返り デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用														【確率統計分野】 データ分析 (箱ひげ図)	
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)				【調べ学習】 テーマや内容をWeb等で情報収集 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)											
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習 (Ⅱ-1,2)						【総合芸術】 意見発表 (Ⅰ-1)									
美術	【ポスター作成】 作成・交流 (Ⅰ・2)		【鑑賞課題・パブリックアート】 案提出、交流 (Ⅰ-Ⅰ、Ⅱ-2、Ⅳ-Ⅰ)			【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)						【動画作成】 案提出、交流 (Ⅰ-Ⅰ、Ⅱ-2、Ⅳ-Ⅰ)				
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流、Webを使った調べ学習、Googleclassroomを用いた資料の提示、Googleフォームを用いたふりかえりの提出、ビデオ機能を使った動画撮影、研究															
技術	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			【情報の技術】 情報通信ネットワークの仕組みと安全に利用するための情報モラル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			【生物育成の技術】 生物育成計画と実践 育成過程の報告(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			【情報の技術】 PC教室におけるプログラミング (Ⅰ・Ⅱ)			【情報の技術】 情報の技術の最適化 ミライシード(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			【生活を豊かにする製作物】 被服実習～生活を豊かにするもの～ ふりかえり提出・交流 (Ⅰ・Ⅱ)			【栄養バランスの整った食事】 案、ふりかえり提出・交流 (Ⅰ・Ⅱ)			【日常食の食事】 ふりかえり提出・交流 (Ⅰ・Ⅱ)			【エシカル消費にむけて】 ふりかえり提出・交流 (Ⅰ・Ⅱ)			
英語	【英語 通年】 ○ミライシードで意見の交流 (Ⅰ・Ⅱ)						【英語】 ○Keynoteなどで「行ってみたい国エッセイ」 プレゼンテーション (Ⅰ・Ⅱ)									
総合的な学習の時間									【防災教育】 ○オクリンクで防災マップの共有 (Ⅰ・Ⅱ)		【職業インタビュー】 職業などについて調べ学習(Ⅰ) オクリンクでふりかえりの共有(Ⅰ・Ⅱ)					
情報モラル	【生徒会活動】 通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(Ⅳ)			【技術】 ・安全に利用するための情報モラル ・情報セキュティー			【道徳】 SNS講習会 【外部講師】 (Ⅳ)			【道徳】 ・ネット将棋 ・使っても大丈夫? (Ⅳ)						

(3年生)

学年別年間指導計画【中学3年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1)情報を複数集めて通しているものを吟味することができる。 (I-2)相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3)キーボード文字入力(1分間80文字程度)										
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1)問題を見出し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2)統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3)問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4)改善点を分析し考えることができる。										
○ プログラミング的思考	(III-1)論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2)情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。										
○ 情報モラル	(IV-1)情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2)生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3)情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。										
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	「岩が」 オクリンクで 意見交流 (Ⅰ・Ⅱ)	「俳句の世界」 句の鑑賞文をオクリン クで発表 (Ⅰ・Ⅱ)	「握手」 人物相関図を作成オク リンクで交流 (Ⅰ・Ⅱ)			「和歌の世界」 歌の鑑賞文をオク リンクで交流 (Ⅰ・Ⅱ)	「初恋」 初恋のイメージをオ クリンクで交流 (Ⅰ・Ⅱ)	「情報社会を生きる」 事例を調べてオクリン クで交流 (Ⅰ・Ⅱ)		卒業作品 テーマ決め (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	
社会	【通年】 オクリンクで意見交流 (Ⅰ・Ⅱ)	【歴史】○二度の世界大戦と日本 ○現代の日本と私たち mentimeter,jamboardで 資料をもとにまとめや議論(Ⅰ・Ⅱ)			【公民】○現代社会と私たち ○個人の尊重と日本国憲法 keynoteで発表、ムーブノートで議論 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		【公民】○現代の民主政時と社会 ○私たちの暮らしと経済 ムーブノートなどで模擬裁判など (Ⅰ・Ⅱ)		【公民】○地球社会と私たち Oworld shift keynoteなどで発表(ソフトは各自選択) (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)		
数学	【通年】 デジタル教科書を用いた動画(アニメーション)の活用										
理科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流 実験等の動画、画像撮影(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)			【調べ学習】 テーマや内容をWeb 等で情報収集 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)							【卒業制作】 ・テーマ決めや情報収集(web) ・Keynote等で発表 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)
音楽	【通年】 ミライシードやkeynoteを用いた意見交流 Webを使った調べ学習(Ⅱ-1,2)			【モルダウ】 プレゼンテーションの実施 (Ⅰ-1、Ⅱ-2)							
美術	【通年】 Webを使った調べ学習、アイデア交流 (Ⅰ-Ⅰ、Ⅱ)		【鑑賞課題・花】 案提出、交流 (Ⅰ・Ⅱ)		【探求課題・自由制作】 提出、交流、制作など (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)				【鑑賞課題・思い出】 案提出、交流 (Ⅰ-Ⅱ)		
保健体育	【通年】 ミライシードを用いた意見交流 ミライシードを用いたレポート作成 Webを使った調べ学習 numbersを用いたふり返り numbersを用いたデータ処理 ビデオ機能を使った動画撮影、研究										
技術	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流		【エネルギー変換の技術】 電気回路の設計と簡単な製作物 工作過程提出・交流(Ⅰ・Ⅱ)			【エネルギー変換の技術】 電気回路の設計と精密な製作物 工作過程提出・交流(Ⅰ・Ⅱ)			【エネルギー変換の技術】 エネルギー変換技術の最適化 ミライシード交流(Ⅰ・Ⅱ)		
家庭科	【通年】 Webを使った調べ学習、オクリンク等を用いた意見交流(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ)		【生活を豊かにする製作物】 被服実習～乳幼児向けのおもちゃ～ ふりかえり提出・交流(Ⅰ・Ⅱ)				【乳幼児向けのおやつ作り】 案、ふりかえり提出・交流(Ⅰ・Ⅱ)				
英語	【通年】 ○ミライシードで意見の交流(Ⅰ・Ⅱ)		【プレゼンテーション】 Keynoteで日本限定アイスク リームの発表(Ⅰ・Ⅱ)								
総合的な学 習の時間	「高校調べ」 Keynoteで発表 (Ⅰ・Ⅱ)	修学旅行事前学習 新聞作り(調べ学習) (Ⅰ・Ⅱ)									
情報モラル	【生徒会活動】通年 ICT委員会(生徒)による情報モラル啓発活動(Ⅳ)				【社会】 情報化	【道徳】 SNS講習会 [外部講師](Ⅳ)	【道徳】 言葉の向こうに(Ⅳ)	【道徳】 情報リテラシー(Ⅳ)			

(5)「総合的な学習の時間」の全体計画

令和7年度 枚方市立第四中学校 総合的な学習の時間 全体計画と年間計画

学校教育目標
学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成

《生徒の実態》
・行事や学習面で前向きな生徒が多い。
・困っている人を助けようとする優しい生徒が多い。
・自分に自信がなく、集団生活で周りを気にする生徒が多い。受け身的な態度をとる。

《保護者の願い》
・学習習慣や基本的な生活態度を身につけてほしい。
・将来に向けて前向きに考え、目標を立てて行動できるようになってほしい。

《地域との関わり》
・地域協働協力しながら、四中花火フェスタや大掃除プロジェクトなどの取り組みを実施。
・職場体験や保育体験などで相互に情報をやりとりしながら取り組んでいる。

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、職業と地域に関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするためには、以下の資質・能力を育成する。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、必要な情報を自ら率先して収集し、情報を多面的にみる・具体化する・構造化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを相手や目的、意図に応じて根拠を明らかにしてまとめ・表現している。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら進んで社会に参画しようとしている

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年		第1学年	第2学年	第3学年
学校テーマ		幸せに生き合う力を育む 重点項目【自分を知る】【チャレンジ・行動】【ふりかえり・改善】【コミュニケーション力】		
学年テーマ		創造と表現学習 自分について考える	創造と表現学習 仕事と社会問題について考える	創造と表現学習 生き方について考える
探究課題		・自分の興味関心、強みに向き合う。 ・見通しを立てて準備し、周りの仲間と共有する。	・自分の興味関心、強み、価値観にあった職場を選択する。 ・職場体験先で学んだ社会の課題を解決する方法を考える。 ・課題の解決方法を周りの仲間などに共有する。	・自分自身と社会を知った上で、自分が幸せに生き合うための生き方を考える。 ・15歳時点での決意した自分の生き方を周りに共有する。
学習活動	1学期	・校内学習（人間関係づくり） ・自分の興味関心	・校外学習（人権学習） ・自分の強み、価値観	・自分の価値観 ・修学旅行（人間関係づくり）
	2学期	・文化祭、体育祭 ・自分の強み	・文化祭、体育祭 ・職場体験 ・社会の課題を解決する	・文化祭、体育祭 ・幸せに生き合うための自己の生き方を決める ・進路学習
	3学期	・小中交流会	・進路学習	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・エンゲージメントカードを通して、自分の価値観を可視化し、自分を理解する。 ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。	・地域にある職場についてわかる。 ・働くための心得や意義がわかる。 ・情報を多面的にみる、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。	・地域に住む幸せな生き方をしている人について知る。 ・自分の価値観を可視化し、自分を理解することで自分なりに幸せに生き合う姿がわかる。 ・情報を構造化する、抽象化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
	思考力、判断力、表現力等	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて、活動の意図や目的を明確にし、課題を見いだすことができる。 ・解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てることができる。	・自分たちの目的や意図に即した情報を収集することができる。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択することができる。	・収集した情報を比較したり関連付けたりして、情報と情報がどのような関係にあるか、見いだすことができる。 ・収集した情報を比較したり関連付けたりして、因果関係を推測したりすることができる。
	まとめ・表現	・相手や目的に応じて、適切に表現したり、まとめたりすることができる。 ・他教科で培った表現力等を活用したり、学習のしかたを振り返り、他の学習や生活に生かしたりすることができる。 ・振り返りの観点で自己で設定して活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。		
	自己理解・他者理解	探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考えを受け入れ、尊重しながら学び合おうとする。	探究活動を通して、自分自身を理解し、異なる他者の考えや意見を受け入れ、尊重しながら学び合おうとする。	探究活動を通して、自分のよさや他者のよさを生かしながら学び合おうとする。
	主体性・協調性	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働し、進んで取り組もうとする。	自分や地域の方々の生活を見直すために、進んで取り組もうとする。	地域のさまざまな学習活動によって、さまざまな関わりができた方々と協働し、進んで取り組もうとする。
	将来展望・社会参画	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、実践に移そうとする。	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを検討し、自分にできることを他者と協働し、実践に移そうとする。	地域との関わりの中で、地域にとって必要なことと自分にできることを他者と協働し、実践に移そうとする。
	学びに向かう力・人間性等			

【学習活動】	【指導方法】	【指導体制】	【学習評価】
・地域の実態、生徒の実態をふまえ、探究課題を設定する。 ・全学年を通して「幸せに生き合う力を育む」を主テーマとした探究的な学習に取り組む。 ・学習成果を表現する場を設定する。 ・年間1テーマでの取り組みを基本とする。	・生徒の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語を用いて整理分析したり、表現したりする活動を重視する。	・全校指導体制を組織する。 ・学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域と教育資源を教材化するとともに、日常的なかかわりを行う。	・ポートフォリオやキャリアパスポートを活用した評価の充実。 ・観点別学習状況を把握するための評価規程を設定する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。

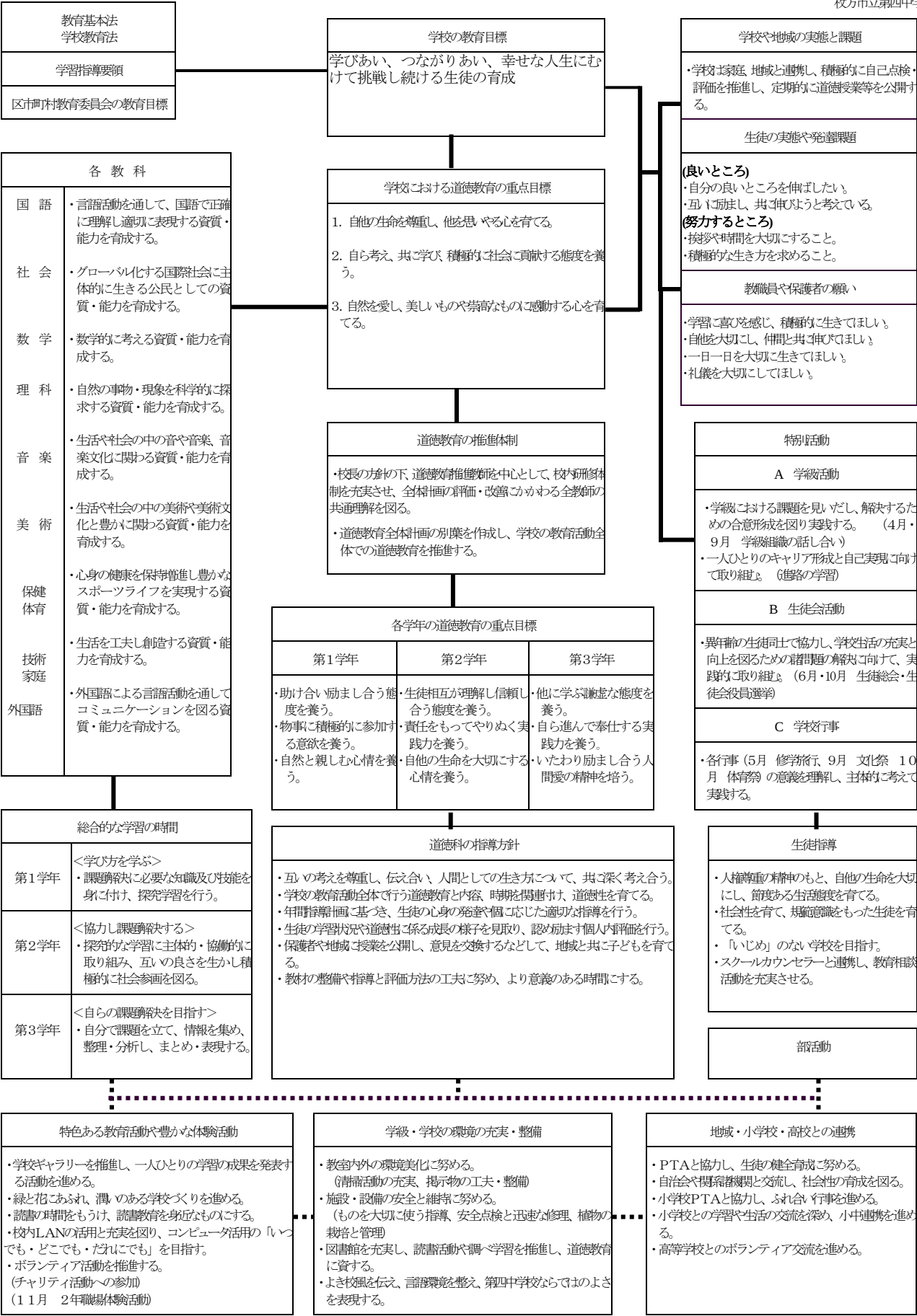
【各教科等で育成する資質・能力】

国語	① 知識・技能 ＜言語についての知識理解する力＞ ② 思考・判断・表現 ＜話す・聞く・書く・読む力＞ ＜自分の思いや考えを適切な方法で相手に伝わるように表現する力＞ ＜相手の思いや考えを適切に読み取る力＞ ③ 関心・意欲・態度 ＜主体的な学習に対する取り組みの姿勢＞	音楽	・1年 <u>文化祭</u> 学年合唱 <u>鑑賞</u> 雅楽 平調越天楽 管絃（日本文化） （自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力） ・2年 <u>文化祭</u> クラス合唱 <u>鑑賞</u> 歌舞伎「勧進帳」オペラ「アイダ」（日本文化） （自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力） ・3年 <u>文化祭</u> クラス合唱・学年合唱 <u>卒業の歌</u> <u>創作「中学校生活の思い出を詰め込んだ曲を作ろう」</u> （自分を知る、自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力）
社会	・枚方について調べる(課題発見) ・農産業や歴史、今後の課題など ・身近な地域について調べてまとめ、発表する ・経済について学ぶ(貨幣、金融など)	保健 体育	・体づくり(人間関係づくり) ・各種目、自分の動きやチームの課題を考え、課題を解決する方法を考える
理科	《チャレンジ・行動》 自分で「この現象はなぜ起きたのか？」と疑問に思い、分析し、考察できる力の育成。 《振り返り・改善》 実験、観察の結果を振り返り考察し、授業での知識を活用して言語化することができる力の育成。 《コミュニケーション力》 自分で考えたことをまとめ、言語化して交流できる力の育成 ハンデ役割分担し、協力して実験を行うことができる。	技術 家庭科	《1年》 ●物づくり ●食習慣や日本の伝統のよさ(自分や周囲のよさを知る) Ex:ゆかた着装体験 《2年》 ●物づくり ●調理や衣料に関わる分野(職場体験) Ex:調理実習、被服実習、住宅設計 《3年》 ●物づくり ●保育に関わる分野(生き方講座) Ex:赤ちゃん先生、保育実習
数学	「社会で求められる人になる」 《コミュニケーション力》 ・声をかける・教えると言う・説明する・質問する。 《振り返り・改善》 ・自分で何ができるようになったのか、できていないかを書く。 ・家庭学習や次時への学習へつなげる。 《やりぬく》 ・すべての生徒が問題や提出物をやり切る。	道徳科	・道徳科の時間を要として、 ・指導の重点項目
英語	●自己紹介、他己紹介(人間関係づくり) ●プレゼンテーション(自分の興味関心、強み、価値観) ●各単元の本文(国際理解、人権学習、国際環境、SDGs、職場体験、文化理解)	特別 活動	・集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題を解決する。 ・合意形成や意思決定できるようにする。 ・役割を分担して、協力して実践する。
美術	○社会との関連性 ○自己表現(造形的なものの見方・考え方) ・言語能力 ・計画性 ・客観性(鑑賞力)		

(6)「道徳教育」の全体計画と年間計画

道徳教育の全体計画案
(R7年度)

枚方市立第四中学校



各学年の道徳教育の重点目標

第1学年

・助け合い、励まし合う態度を養う。
・物事に積極的に参加する意欲を養う。
・自然と親しむ心情を養う。

第2学年

・生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。
・責任をもってやりぬく実践力を養う。
・自他の生命を大切にすることを養う。

第3学年

・他に学ぶ謙虚な態度を養う。
・自ら進んで奉仕する実践力を養う。
・いたわり励まし合う人間愛の精神を培う。

道徳科の指導方針

・互いの考えを尊重し、伝え合い、人間としての生き方について、共に深く考え合う。
・学校の教育活動全体で行う道徳教育と内容、時期を関連づけ、道徳性を育てる。
・年間指導計画に基づき、生徒の心身の発達や個性に応じた適切な指導を行う。
・生徒の学習状況や道徳性で成長の様子を見取り、認め励ます個人の評価を行う。
・保護者や地域と授業を公開し、意見を交換するなどして、地域と共に子どもを育てる。
・教材の整備や指導と評価方法の工夫に努め、より意義のある時間とする。

生徒指導

・人権尊重の精神のもと、自他の生命を大切に、節度ある生活態度を育てる。
・社会性を育て、規範意識をもった生徒を育てる。
・「いじめ」のない学校を目指す。
・スクールカウンセラーと連携し、教育相談活動を充実させる。

部活活動

総合的な学習の時間

第1学年

<学び方を学ぶ>
・課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究学習を行う。

第2学年

<協力し課題解決する>
・探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、互いの良さを生かし積極的に社会参画を図る。

第3学年

<自らの課題解決を目指す>
・自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する。

特色ある教育活動や豊かな体験活動

・学校ギャラリーを推進し、一人ひとりの学習の成果を発表する活動を進める。
・緑と花がふれ、調いのある学校づくりを進める。
・読書の時間をもうけ、読書教育を身近なものにする。
・校内LANの活用と充実を図り、コンピュータ活用の「いつでも・どこでも・だれにでも」を目指す。
・ボランティア活動を推進する。
(チャリティ活動への参加)
(11月 2年職場体験活動)

学級・学校の環境の充実・整備

・教室内外の環境美化に努める。
(清掃活動の充実、掲示物の工夫・整備)
・施設・設備の安全と維持に努める。
(ものを大切に使う指導、安全点検と迅速な修理、植物の栽培と管理)
・図書館を充実し、読書活動を調べ学習を推進し、道徳教育に資する。
・よき校風を伝え、学習環境を整え、第四中学校ならではのよさを表現する。

地域・小・中学校・高校との連携

・PTAと協力し、生徒の健全育成に努める。
・自治会や関係諸機関と交流し、社会性の育成を図る。
・小学校PTAと協力し、ふれ合い行事を進める。
・小学校との学習や生活の交流を深め、小中連携を進める。
・高等学校とのボランティア交流を進める。

道徳年間計画

年間計画					
道徳1年指導計画					
月	回	資料	内容項目	主題	ねらい
4-①	1	サッカーの漫画を描きたい	A-(4)	困難を乗り越える力	目標に向かって、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする実践意欲を育てる。
4-②	2	<u>使っても大丈夫？</u>	C-(10)	自他の権利と法の遵守	法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。
4-③	3	<u>あふれる愛</u>	D-(19)	生まれてきた大切な生命	生命の偶然性や有限性を理解し、この世に生まれてきたすべての生命を尊重しようとする態度を育てる。
4-④	4	<u>違いを乗り越えて</u>	C-(18)	多文化の理解を深める	日本の習慣や文化のよさを理解するとともに、ほかの国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする実践意欲を高める。
5-①	5	<u>さかなのなみだ</u>	C-(11)	公正、公平、社会正義	同調圧力などに屈することなく、自己と向き合い互いに協力して正義や公正を実現するために努力しようとする態度を育てる。
5-②	6	トマトとメロン	A-(3)	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。
5-③	7	むかで競走	C-(15)	よりよい学校生活、集団生活の充実	学級や学校の一員として自らの役割と責任を自覚し、協力し合って学校生活を充実させようとする態度を育てる。
5-④	8	「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7)	礼儀の心	あいさつの意義などを主体的に考え理解し、時・場所・場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。
6-①	9	木の声を聞く	D-(20)	自然を愛する	自然の崇高さを知り、自然に謙虚に向き合いながら自然の愛護に努めようとする態度を育てる。
6-②	10	オーロラー光のカーテンー	D-(21)	自然に感動する心	人間の力を超えた自然の素晴らしさに素直に感動し、自然の中で生かされていることを自覚して、自然に対する畏敬の念を深める。
6-③	11	<u>「肝心」のバスガイド</u>	C-(16)	ふるさとへの思い	先達のおかげで今の暮らしを営めることへの尊敬の念や感謝の気持ちを深め、主体的に郷土に関わろうとする態度を育てる。
6-④	12	<u>花火に込めた平和への願い</u>	C-(18)	世界平和のために	国際的視野に立って、他国を尊重することと世界平和の大切さを理解するとともに、よりよい社会形成や人類の発展に貢献しようとする態度を育む。
7-①	13	疾走、自転車ライダー	A-(2)	節度、節制	身近に起こりうる交通事故をもとに、安全や危機管理の大切さを理解し、安全で調和のある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。
7-②	14	自分だけ「余り」になっちゃう……	B-(9)	お互いを認め合う	いろいろなものの見方や考え方があることに気付き、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぶ態度を育てる。
9-①	15	家族と支え合うなかで	C-(14)	支え合う家族	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員として協力し合って生活しようとする実践意欲を高める。
9-②	16	<u>いつわりのバイオリン</u>	D-(22)	よりよく生きる喜び	人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きる喜びを見出そうとする心情を育む。
9-③	17	奈良筆に生きる	C-(17)	伝統を守る	日本人としての自覚をもって我が国の優れた文化を継承し、その創造に貢献しようとする態度を育てる。
10-①	18	<u>役に立つことができるかな</u>	C-(13)	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する態度を育成する。
10-②	19	<u>ゆうへー生きていくれてありがとうー</u>	D-(19)	つながる生命	多くの人々の支えによって生きていると気付くことで、誰もがかけがえのない存在であると理解し、互いの存在を大切にしようとする実践意欲を育む。
10-③	20	<u>震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー</u>	C-(16)	郷土芸能を伝える	郷土によって育まれてきた伝統と文化のよさを理解し、郷土への誇りや愛着をもち、郷土に対して主体的に関わりようとする心や態度を育む。
11-①	23	<u>私は清掃のプロになる</u>	C-(13)	勤労	働くことの喜びを通じて生きがいや社会とのつながりを実感し、社会に貢献しようとする実践意欲を育てる。
11-②	21	<u>バスと赤ちゃん</u>	B-(6)	社会の中の思いやり	思いやりの心をもって人と接するとともに、多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、人間愛の精神を深める。
11-③	22	緑のじゅうたん	A-(5)	理想に向かって	現実を謙虚に受け止め、努力と工夫を重ね、理想に向かって人生を切り拓きたくましく生きようとする実践意欲を育てる。
11-④	24	<u>公平と不公平</u>	C-(11)	公平とは何か	話し合いをおして公平とは何かを考え、大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築こうとする態度を養う。
12-①	23	<u>挫折から希望へ</u>	D-(22)	弱さを乗り越え生きる	人間には弱さとともにそれを克服する強さや気高さがあることを理解し、よりよい生き方をしようとする実践意欲を育てる。
12-②	26	<u>人のフリみて</u>	B-(6)	言葉のもつ不思議な力	日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気付き、自分の感謝の気持ちを素直に表そうとする態度を育てる。
12-③	27	<u>部活の帰り</u>	B-(8)	友情、信頼	異性についての理解を深め、互いに相手の人格を尊重し、接していく態度を育てる。
1-①	28	<u>あったほうがいい？</u>	C-(12)	よりよい社会のために	社会に尽くす公共の精神について深く考え、よりよい社会の実現に努めようとする態度を育てる。
1-②	29	<u>ばあば</u>	D-(19)	ともに生きる	生命は先祖代々つながっており、関わり合い支え合ってきたことを深く自覚するとともに、お世話になった方を尊重しようとする態度を養う。
1-③	30	<u>富士山から変えていく</u>	C-(12)	つながりが生み出す力	公德心及び社会連帯の自覚を高め、一人ひとりが協力し、よりよい社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。
2-①	31	<u>ふれあい直売所</u>	C-(10)	社会のきまり	きまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を重んじ、よりよい社会をつくろうとする実践意欲を育てる。
2-②	32	<u>近くにいた友</u>	B-(8)	友情、信頼	互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。
2-③	33	<u>家庭でのできごと</u>	A-(1)	誠実な生き方	自分の行動に責任をもち、自らを律し、誠実に生きようとする判断力を育てる。
3-①	34	<u>旗</u>	B-(8)	友情、信頼	友情の尊さを理解するとともに、真の友情を築くために、互いに信頼し、励まし合おうとする実践意欲を高める。
3-②	35	<u>私らしさって</u>	A-(1)	自分の意志で	周囲の目に惑わされず、自分の中にある自主性を大切にし、自分で決め、考え、行おうとする実践意欲を高める。

年間計画					
道徳2年指導計画					
月	回	資料	内容項目	主題	ねらい
4-①	1	自分の弱さと戦え	D-(22)	自分の弱さの克服	自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもち、人間として気高く生きようとする態度を育む。
4-②	2	土曜参観①研究部(道徳教育)作成資料	C-(10) C-(12)	公德心 公共の精神	きまりを遵守し、確実に義務を果たすことで、よりよい社会をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。 よりよい社会の実現は一人ひとりの行動によって成り立つことを知り、積極的にかわろうとする道徳的実践意欲を培う。
4-③	3				
4-④	4	五月の風-カナー	A-(1)	自分を信じて	自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。
5-①	5	五月の風-ミカー	B-(8)	本当の友達	互いに励まし合い、高め合う本当の友達をつくろうとする態度を育てる。
5-②	6	研究部(道徳教育)作成資料	C-(17) C-(18)	文化の尊重 国際理解	国際社会と向き合う我が国の一員としての自覚と責任をもって、国際貢献に努めようとする道徳的態度を養う。 他の国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする意欲を高める。
5-③	7				
5-④	8	最後のパートナー	D-(19)	支え合う生命	命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。
6-①	9	夜のくだもの屋	B-(6)	人の思いやりへの感謝	人間は多くの人々の善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気付き、感謝する態度を育てる。
6-②	10	海と空-檜野の人々	C-(18)	国際社会の一員	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。
6-③	11	よみがえれ、えりもの森	D-(20)	自然環境を守る	人間は自然界のつばがりの中でおおくの恩恵を受けており、その有難さに感謝するとともに、自然を守り行動しようとする態度を育む。
6-④	12	美しい鳥取砂丘	C-(10)	規則の役割	互いに住みよい社会を目指す精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。
7-①	13	樹齢七千年の杉	D-(21)	自然の偉大さ	自然の美しさや神秘さ、偉大さを感じ、人間の力を遥かに超えたものに対する畏敬の念を深め、豊かな心を育てる。
7-②	14	かずきの夏祭り	C-(16)	地域の祭りの大切さ	郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲や態度を育てる。
7-③	15	戦争を取材する	A-(5)	真実を追い求める	真理や真実を求め、理想の実現を目指して、よりよく生きようとする態度を育てる。
9-①	16	ヨシト	C-(11)	いじめへの公正な態度	偏見を正し正義を貫こうと決意する主人公の姿に共感することをとおして、正義を重んじ、偏見や差別をなくしていこうとする態度を育てる。
10-①	17	行動する建築家 坂 茂	C-(12)	社会のためにできること	社会性や意識を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。
10-②	18	避難所にて	A-(2)	節度・節制の大切さ	節度ある生活や節制に心掛けるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする態度を養う。
10-③	19	研究部(道徳教育)作成資料	D-(22) C-(12)	災害時、わたしたちにできること	自分の行動が自分も他人も権利を大切にできているのかを考え、義務を果たして規律ある安定した社会を目指そうとする道徳的実践意欲を育む。 人間のもつ気高さに強い信頼感を寄せ、人間として生きる喜びについて自覚を深める。
10-④	20				
11-①	23	小さな工場の大きな仕事	C-(13)	社会への貢献	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労をととして社会に貢献しようとする態度を養う。
11-②	21	挨拶は言葉のスキンシップ	B-(7)	心を形に	心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気付き、相手を尊重する心をこめて、形に表していこうとする態度を養う
11-③	22	初心	A-(4)	初心に戻る	目標や希望をもって生活することの大切さや意義を理解し、その達成を目指し、困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする態度を育てる。
11-④	24	コトコの涙	B-(9)	わかり合うこと	人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。
12-①	23	リスペクタザーズ	C-(11)	個性を尊重する社会	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める心情を育む。
12-②	26	体験ナースを通して	D-(19)	輝く生命	かけがえのない命を与えられていることに気付いて感謝し、自他の生命を尊重しようとする実践意欲を培う。
12-③	27	ハイタッチがくれたもの	C-(15)	私たちがつくる校風	集団で協力し合う大切さに気付き、狭い仲間意識を超えよりよい校風をつくろうとする意欲を育てる。
1-①	28	ライバル	B-(8)	真の友情	生涯にわたる畏敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し、互いに認め高め合う友情を育もうとする態度を育てる。
1-②	29	きいちゃん	C-(14)	家族のきずな	自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気付き、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。
1-③	30	恋する涙	B-(8)	友情と好意	悩みや葛藤を乗り越えることで真の友情は培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める
2-①	31	足袋の季節	D-(22)	強く気高く生きる	人間にある弱さと醜さを自覚しながらも、強く気高く人間として生きる喜びを見出そうとする態度を深める。
2-②	32	ネット将棋	A-(1)	インターネット上の責任ある行動	国際社会に生きる日本人としての自覚を
2-③	33	さよなら、ホストファミリー	C-(17)	日本人としての誇り	国際社会と向き合う我が国の一員としての自覚と責任をもって、国際貢献に努めようとする道徳的態度を養う。
3-①	34	命を見つめて	D-(19)	懸命に生きる	限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする心情を養う。
3-②	35	「自分」ってなんだろう	A-(3)	自己を見つめる	人それぞれ必ずその人固有のよさがあり、その発見と自己受容・自己理解に努め、自分らしさを発揮できる生き方を求める。

年間計画					
道徳3年指導計画					
月	回	資料	内容項目	主題	ねらい
4-①	1	銀メダルから得たもの	A-(4)	より高い目標をめざして	より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望・勇気の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。
4-②	2	サトシの一票	C-(12)	よりよい社会の実現	主権者として社会に主体的に参画し、社会の発展に寄与使用とする態度を育てる。
4-③	3	昔と今を結ぶ糸	C-(17)	日本の伝統文化	日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させていく態度を培う。
5-①	4	違うんだよ、健司	B-(8)	本当の友情とは	友情の尊さを理解するとともに、友達をよき理解者として心から信頼し、互いに励まし高め合い、協力し合おうとする態度を育てる。
5-②	5	出迎え三步、見送り七歩	B-(7)	おもてなしの心	礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対して敬愛する気持ちを自然と態度で示そうとする実践意欲を育てる。
5-③	6	自分・相手・周りの人	C-(12)	公共の場での心構え	公共の場での心構えを理解し、さらに一人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていかうとする意欲を育てる。
6-①	7	本とペンで世界を変えよう	C-(18)	世界平和を考える	国際的な視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。
6-②	8	研究部(道徳教育)作成資料	C-(17)	文化の尊重 国際理解	国際社会と向き合う我が国の一員としての自覚と責任をもって、国際貢献に努めようとする道徳的態度を養う。
6-③	9		C-(18)		他の国々の人々や文化に対する理解を深め、尊重しようとする意欲を高める。
6-④	10	命のトランジットビザ	C-(18)	人類愛、つながる命	国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情や態度を育てる。
6-⑤	11	「川端」のある暮らし	D-(20)	自然とともに生きる	人間は自然の中で生かされていることを自覚し、自然環境を大切にするとともに、自分のできる範囲で自然愛護に努める態度を育てる。
7-①	12	町内会デビュー	A-(1)	自律的な生き方	自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していかうとする判断力を養う。
7-②	13	iPS細胞で難病を治したい	A-(5)	夢の実現	よりよく生きるために、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。
7-③	14	あるレジ打ちの女性	C-(13)	自分に大切な 勤労の尊さ	主人公の変容を知ることによって、自分の考え次第で仕事を楽しめることを理解し、働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を深める。
9-①	15	世界を動かした美	D-(22)	よりよく生きる	さまざまな環境の中で人間としてよりよく生きようとすることの大切さを学び、自分の生き方についての考えを深める。
9-②	16	「稲むらの火」余話	C-(16)	かけがえのない郷土	郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員としての帰属意識をもち郷土に貢献しようとする意欲を育てる。
9-③	17	独りを懐む	A-(2)	自制する心	望ましい生活習慣を身につけ、充実した人生を送るために、節度を守り節制に心掛け、調和のある生活を自ら実践しようとする態度を養う。
10-①	18	電車の中で	B-(6)	本当の思いやり	家族などの支えや多くの人々の善意により、日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。
10-②	19	命の大切さ	C-(11)	豊かな人権感覚	自分の立場のみ主張するのではなく、他者に目を向け、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。
10-③	20	失った笑顔を取り戻す	C-(13)	仕事の意義	主人公の女性の変容を知ることによって、自分の考え次第で仕事を楽しめることを理解し、働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を深める。
10-④	23	父は能楽師	C-(17)	日本の文化を引き継ぐ	先人の残した有形無形の文化遺産の中に優れたものを見出し、それを生み出してきた精神に学び、継承し発展させようとする心情を養う。
11-①	21	新しい夏のはじまり	A-(3)	前向きな生き方	自己を見つめ、これまでの自分を冷静かつ客観的に振り返るとともに、経験を生かした自分らしい新しい生き方をしようとする態度を育てる
11-②	22	言葉の向こうに	B-(9)	相手の気持ちを考える	それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつてを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる
11-③	24	エリカー奇跡のいのち	D-(19)	生きていることの奇跡	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を養う。
12-①	23	風景開眼	D-(21)	自然への畏敬	自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
12-②	26	私も高校生	A-(1)	自分で決めたこと	主体的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことを誠実に実行し、その結果に責任をもつ態度を育てる。
12-③	27	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	B-(8)	人を好きになる	異性への理解を深め、相手の内面的なよさに目を向け互いを向上させようとする心情を育成する。
12-④	28	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	C-(10)	規律ある社会	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守ることにより、規律ある社会の実現に努めようとする態度を育成する。
1-①	29	塩むすび	B-(6)	感謝の心に応える	家族などの支えや多くの人々の善意により、日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲に応えようとする態度を育てる。
2-①	30	希望	D-(19)	かけがえのない生命	命の重さを、その連続性・有限性なども含めて理解するとともに、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする意欲を高める。
2-②	31	臓器ドナー	D-(19)	自他の生命の尊さ	臓器提供という現代的な課題をとらえて、生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重する態度を育てる。
2-③	32	二通の手紙	C-(10)	法やきまりの意義	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、規律ある社会の実現に努める態度を育てる。
2-④	33	一冊のノート	C-(14)	家族への敬愛	一冊のノートに書かれた祖母の苦悩や不安、家族への思いに気付く姿を通して、祖父母への敬愛を深め、家族の一員として慈しむ心情を養う。
3-①	34	卒業文集最後の二行	C-(11)	いじめを許さない心	いじめの非情さへの理解を深め、差別や偏見を見抜き、人間として許されないことを許さない態度を育てる。
3-②	35	お別れ会	C-(15)	我が校を愛する心	自分の学校に対する愛着を深め、協力して校風を継承し、発展させようとする態度を育てる。

月	内容	特別活動				教科														総合的な 学習の時間	地域・家庭 との連携
		学級活動	生徒会 活動	学校行事	国語 『現代の国語 Ⅰ』 (三省堂)	書写 『現代の書写』 (三省堂)	社会(地理) 『新編 新しい社会 地理』 (東書)	社会(歴史) 『新編 新しい社会 歴史』 (東書)	数学 『数学 Ⅰ』 (啓林館)	理科 『未来へつながるサイエンス Ⅰ』 (啓林館)	音楽 『中学生の音楽 Ⅰ 音楽』 (教英)	美術 『美術 Ⅰ』 (日文)	保健体育 『中学校保健体育』 (大日本)	技術 (東書)	家庭 (東書)	英語 『Sunshine Ⅰ』 (開隆堂)					
4月	「サカサネの国産産品を堪能しよう」 ～4月6日～ ～4月10日～ ～4月14日～ ～4月18日～ ～4月22日～ ～4月26日～ ～4月30日～ ～5月4日～ ～5月8日～ ～5月12日～ ～5月16日～ ～5月20日～ ～5月24日～ ～5月28日～ ～6月1日～ ～6月5日～ ～6月9日～ ～6月13日～ ～6月17日～ ～6月21日～ ～6月25日～ ～6月29日～ ～7月3日～ ～7月7日～ ～7月11日～ ～7月15日～ ～7月19日～ ～7月23日～ ～7月27日～ ～7月31日～ ～8月4日～ ～8月8日～ ～8月12日～ ～8月16日～ ～8月20日～ ～8月24日～ ～8月28日～ ～9月1日～ ～9月5日～ ～9月9日～ ～9月13日～ ～9月17日～ ～9月21日～ ～9月25日～ ～9月29日～ ～10月3日～ ～10月7日～ ～10月11日～ ～10月15日～ ～10月19日～ ～10月23日～ ～10月27日～ ～10月31日～ ～11月4日～ ～11月8日～ ～11月12日～ ～11月16日～ ～11月20日～ ～11月24日～ ～11月28日～ ～12月2日～ ～12月6日～ ～12月10日～ ～12月14日～ ～12月18日～ ～12月22日～ ～12月26日～ ～12月30日～ ～1月3日～ ～1月7日～ ～1月11日～ ～1月15日～ ～1月19日～ ～1月23日～ ～1月27日～ ～1月31日～ ～2月4日～ ～2月8日～ ～2月12日～ ～2月16日～ ～2月20日～ ～2月24日～ ～2月28日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～ ～5月18日～ ～5月22日～ ～5月26日～ ～5月30日～ ～6月3日～ ～6月7日～ ～6月11日～ ～6月15日～ ～6月19日～ ～6月23日～ ～6月27日～ ～6月30日～ ～7月4日～ ～7月8日～ ～7月12日～ ～7月16日～ ～7月20日～ ～7月24日～ ～7月28日～ ～8月1日～ ～8月5日～ ～8月9日～ ～8月13日～ ～8月17日～ ～8月21日～ ～8月25日～ ～8月29日～ ～9月2日～ ～9月6日～ ～9月10日～ ～9月14日～ ～9月18日～ ～9月22日～ ～9月26日～ ～9月30日～ ～10月4日～ ～10月8日～ ～10月12日～ ～10月16日～ ～10月20日～ ～10月24日～ ～10月28日～ ～11月1日～ ～11月5日～ ～11月9日～ ～11月13日～ ～11月17日～ ～11月21日～ ～11月25日～ ～11月29日～ ～12月3日～ ～12月7日～ ～12月11日～ ～12月15日～ ～12月19日～ ～12月23日～ ～12月27日～ ～12月31日～ ～1月4日～ ～1月8日～ ～1月12日～ ～1月16日～ ～1月20日～ ～1月24日～ ～1月28日～ ～2月1日～ ～2月5日～ ～2月9日～ ～2月13日～ ～2月17日～ ～2月21日～ ～2月25日～ ～2月29日～ ～3月3日～ ～3月7日～ ～3月11日～ ～3月15日～ ～3月19日～ ～3月23日～ ～3月27日～ ～3月31日～ ～4月4日～ ～4月8日～ ～4月12日～ ～4月16日～ ～4月20日～ ～4月24日～ ～4月28日～ ～5月2日～ ～5月6日～ ～5月10日～ ～5月14日～																				

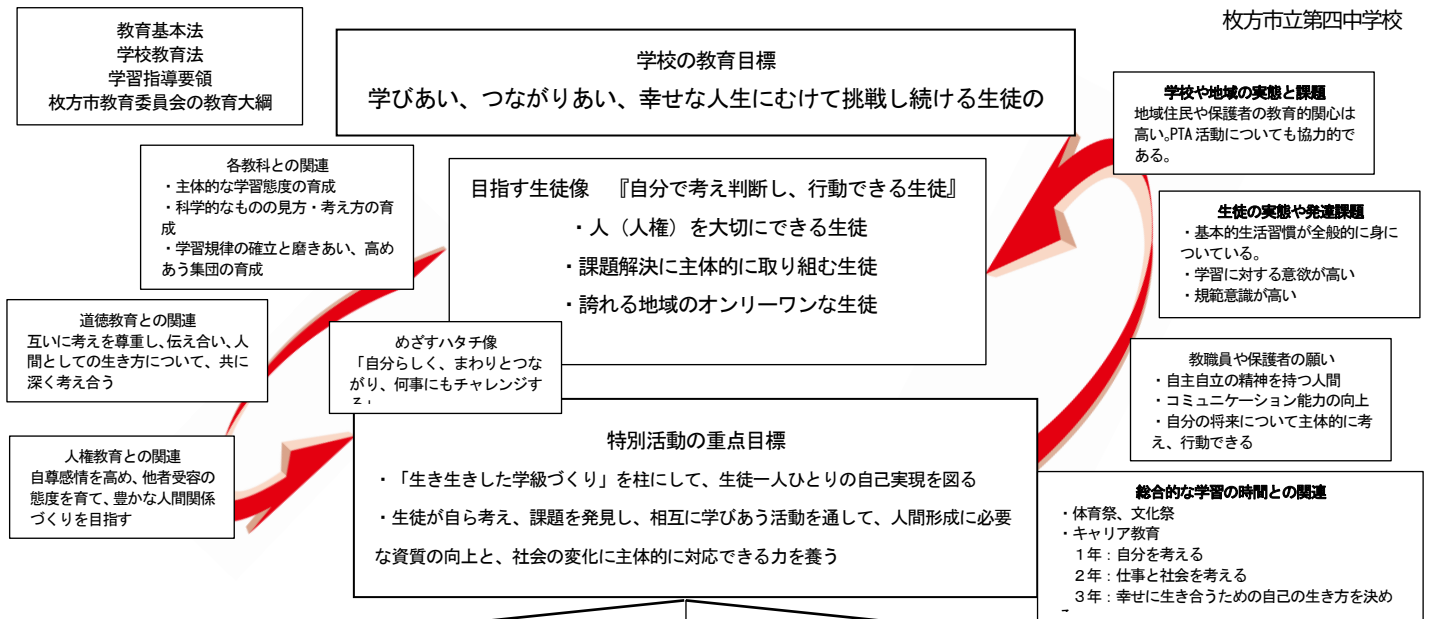
月	内容	特別活動			教科												
		道徳 『中学道徳 あそびを生きる2』			国語	書写	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語	
		学級活動	生徒会活動	学校行事	『現代の国語 2』	『現代の書写』	『新編 新しい社会 地理』	『新編 新しい社会 歴史』	『数学 2』	『物理』	『音楽 2・3上』	『美術 2・3上』	『中学校保健体育』	『情報 総合学習 生活科 家庭科 外国語』	『家庭科 総合学習 生活科 家庭科 外国語』	『Sunshine 2』	
				(三省堂)	(三省堂)	(東書)	(東書)	(啓林館)	(啓林館)	(教文)	(日文)	(大日本)	(東書)	(東書)	(開隆堂)		
4月	おじいさんと私 A-3 向上心、個性の伸長 おばちゃんのかれた「おまじない」 D-15 動物 1 挨拶は言葉のスキンシップ B-7 読解	学期の目標と組織をつくる C-9 5 専門委員会 A-10 チャリティ活動(通年) D-12 D-18 安全指導 A-2	新入生歓迎会 D-15 健康診断 A-2 安全指導 A-2	始業式 A-4 eSDングホームルーム A-2 C-15 グループディスカッション B-5	名づけたら来 A-3 eSDングホームルーム B-6 C-15 グループディスカッション B-5	行書 A-3 C-16 C-17	近世の日本 C-10 C-11 C-12 C-16 C-17 C-18	式の計算 A-5 B-6 C-12	物質の成り立ち A-5	明日を向いて 翼をください My Voice! A-3 B-10 A-4	学びの実感と深まり あなたのを奏を見つけて A-4 C-15 A-5 B-12 現代美術に「ザッザワフッ」 A-4 自由な視点で風景を見つけ	体育理論 A-4 C-15 撲つくり A-2 地上競技 A-4	生活や社会を支える生物 育成の技術 C-12 D-18 D-20	衣類の選択と手入れ A-1 A-3 B-7 C-12	PROGRAM 1 New Start B-8		
5月	4 初心 A-4 希望と勇気、友だちと強い意志 5 五月の風—コーナー A-10 自主、自律、自由と責任 6 五月の風—コーナー B-9 読解、情報	定期考査の受け方 A-4 生活アンケート C-11	専門委員会 生徒集会 A-1 校外学習 B-6 C-18	安全指導 A-2 校外学習 B-6 C-18	宇宮に行くための素材 A-5 人間は他の星に住むことができるのか A-5 D-20 手紙・メール B-6 B-7 C-15				物質の裏し方 A-4 A-5 さまざまな化学変化 A-3 A-2 A-5 C-15 C-13	リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ A-3 A-2 A-5 C-15 My Melody A-3 A-2 C-15	める A-4 C-15	健康な生活と病気の予防 A-2 C-10	生物育成の技術による問題解決 A-2 C-14 D-20			PROGRAM 2 Koohen Project in Africa A-4 C-18	
6月	7 リスベア アーサーズ D-11 公正、公平、社会正義 8 暑くなり出た夏休み A-3 思いやり、感謝 9 戦争を取り替える A-5 真理の探究、創造 10 時を超えて—戦野で生まれたきずな— C-18 国際理解、国際貢献	学校の安全 A-2 教育相談 C-11	専門委員会 A-4 生徒総会 A-1 C-15	定期考査 A-4 生徒総会 A-1 C-15 安全指導・避難訓練 A-2	短歌の世界 C-17 D-21 短歌一首 C-17 D-21 A-2 D-20 C-17 C-20	地域調査の手法 A-5 C-16	日本の地域的特色 A-2 C-16 C-17 C-20		化学変化と物質の質量 A-5 遺立方程式の利用 A-5 B-6 C-12	フーガ短調 A-5 D-21	つくる・使う・材料を味わう 工芸 A-3 B-6	球技(バスボール型) C-15				PROGRAM 3 Taste of Culture C-17 C-18 生活を豊かにするために A-4 A-5	
7月	11 父の決意 D-18 生命の尊さ 12 秋祭りの宴 C-16 親との伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	文化祭取り組み A-10 A-30 B-9	全校美化(各学科担当) A-15 安全指導 A-2 終業式 A-3 夏季休業 A-1	壁に映された伝言 A-5 D-18 D-21					植物の体のつくりとはらしき A-5 D-16 D-20	リコーダー LESSON2, 3 A-3 C-12						Our Project 4 海外でセーターを作るチームのOMを作ろう A-5 Reading 1 The Three Dolls A-1 B-7 D-22	
8月・9月	13 他人の靴を履いてみる A-30 相互理解、寛容 14 ゾラト C-11 公正、公平、社会正義 15 ネット情報 A-10 自主、自律、自由と責任 16 年齢七十年の歩み D-21 感動、見聞のき	生活アンケート C-11	専門委員会 生徒集会 A-1 文芸祭 A-2 C-21	始業式 A-4 安全指導 A-2 文化祭 B-20	織は得意だけでは決まらない A-3 B-7 C-17 プレゼンテーション A-10 C-17 枚原子・佐藤草		日本の諸地域 C-12 C-16 C-17		一次関数と方程式 A-5 B-6 C-12	動物の体のつくりとはらしき A-2 サントラルキア My Voice! C-16 C-17 D-20 D-21	夏の思い出 茨城の月 サントラルキア My Voice! C-16 C-17 D-20 D-21	浮世遊んでおもしろい 日本文化との出会い A-5 C-17 C-18	傷害の防止 C-10 C-12 D-19	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 A-5 D-20		PROGRAM 4 Leave Only Footprints C-11 C-15 C-18 C-20	
10月	17 自分の夢と抱え D-22 よりよく生きる喜び 18 小さな工場の大きな仕事 C-18 動物 19 上越から世界を変える D-20 自然愛護 20 美しい鳥取砂丘 C-18 道徳精神、公明心	生活アンケート C-11 教育相談 C-11	専門委員会 A-1 文芸祭 A-4 C-15	体育祭 A-1 C-15 安全指導 A-2	講義の世界 C-18 D-20 D-21 D-22 マンガ 情報の扱い方				動物の行動のしくみ A-5 A-5 C-16 図形の性質の利用 A-5 B-5 証明 A-5 B-5	「アイダ」から指導してほしい！ A-5 C-15 C-16 D-21	空間を感じる家の装飾 A-5 C-21					住まいの役割と安全な住まい方 A-2 C-14 C-16 エネルギー変換の技術による問題解決 A-4 A-5	PROGRAM 5 Work Experience C-12 C-13 持続可能な住生活 C-12 C-16 C-20
11月	21 行動する建築家坂 茂 C-12 社会参画、公共の精神 22 教室のくらしの歴史 B-6 思いやり、感謝 23 アフリカの子どもたちと共に C-18 国際理解、国際貢献 24 制服は誰のもの C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実		投票選挙 A-1 専門委員会 生徒集会 A-4	職業体験 C-12 C-13 定期考査 A-4 安全指導・避難訓練 A-2 道徳授業地区公開講座 B-9	A-3 C-20 一〇〇年後の水を守る A-2 C-12 D-20 飲み水は不足しているか C-12 C-18 D-20 氷問題に関する資料 A-5 C-18 投稿文 A-10 A-5 C-16	持続可能な地域の在り方 A-5 C-16			三角形 A-5 B-6 C-12 四角形 A-5 B-6	大気中の水の变化 D-20 D-21 天気の変化と大気の動き A-5 D-20 D-21	歌い継ごう 日本の歌 C-17 D-20 D-21 C-22	瞬間の美しさを影に A-5 B-6 C-12				PROGRAM 6 High-Tech Nature A-5 C-12 D-20	
12月	25 命を見つける—一強運種ものの六四十六日— D-18 生命の尊さ 26 行く年、来る年 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		専門委員会 A-1	三面旗 C-14 終業式 A-3 冬季休業 A-1	C-18 D-20 大同群 D-20 D-21 小さな手紙 B-6 D-18 創作文	福音と行書 A-3 B-7 C-14			大気の動きと日本の四季 A-2 A-5 C-13 D-20	歌舞伎「勘十郎」長唄「勘十郎」から「寄せの金方」によるリズムアンサンブル C-15 C-12 D-21	歌舞伎「勘十郎」長唄「勘十郎」から「寄せの金方」によるリズムアンサンブル C-15 C-12 D-21	ひと目で伝わるみんなのデザイン C-12				私たちの消費生活 A-1 A-5 C-17 Reading 2 Friendship beyond Time and Borders C-10	
1月	27 ぶくの置 B-9 相互理解、寛容 28 マークはなんのために？ C-12 社会参画、公共の精神 29 最後のパートナー C-18 生命の尊さ	生活アンケート C-11	専門委員会 生徒集会 A-4	始業式 A-4 チャレンジテスト A-4 安全指導 避難訓練 A-2	動物園でできること C-13 D-18 D-20				骨格の動きと標準 A-2 A-5 B-6	世界の諸民族の音楽 C-18 D-21	ひと目で伝わるみんなのデザイン C-12	地上競技 A-4				PROGRAM 7 Unique Animals A-1 A-5 C-10 C-20	
2月	30 避難所にて A-2 節度、厚礼 31 よみがえれ、えりもの森 D-20 自然愛護 32 足踏の季節 D-22 よりよく生きる喜び 33 恋する星 B-9 読解、情報	教育相談 C-11	専門委員会 生徒会執行部 A-1	定期考査 A-4	忘れメロス A-10 B-6 C-11 C-14 D-22		開国と近代日本の歩み C-10 C-11 C-12 C-17 C-18	諸事の利用 A-5 B-6 C-11 C-14 C-15	電流の正体 A-5 C-13	Session 1 A-3 C-15						持続可能な消費生活 A-1 A-2 C-12 C-20	PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace C-18 C-19
3月	34 恋む C-17 我が国の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 35 きいちゃん C-14 家族愛、家庭生活の充実	通観への心構え C-15	生徒集会(3年生を送る会) A-1 B-6	卒業式 B-6 離任式 B-6 修了式 A-3 春季休業 A-1	情報誌 B-8 C-16				電流と境界 A-4 A-5	音楽の学びを振り返ろう A-3							Our Project 6 My Heroの魅力を伝えよう A-4 D-20 Reading 3 Apollo 13 A-4 C-15

[illegible]

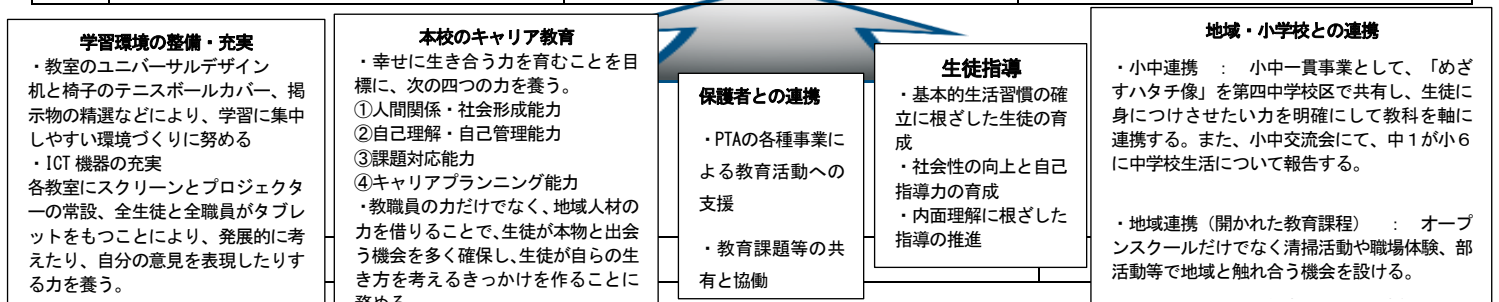
(7)「特別活動の時間」の全体計画と年間計画

令和7年度 特別活動 全体計画

枚方市立第四中学校



	学級活動の目標 多様な他者とより良い人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。	生徒会活動の目標 学校生活の充実と向上を図り、委員会や学年・学級など生徒の諸活動の連絡調整を行うことで自主・自立の精神や社会性を育成する。	学校行事の目標 学校生活に充実感と達成感を感じさせ、集団や社会への所属感を持たせる。また学年の枠を超え、体験的な活動を行うことを通じて、意義や必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できる能力を養う。
指導の方針	学級を単位として ・自発的、自治的な活動の中心とし、生徒主体となるように進める ・合意形成を図っていくための手順や方法を身につけさせる ・時には題材を設定し、問題意識を高めさせ、課題解決に向けて実践させる	・よりよい学校生活づくりを通じて、自発的、自治的な能力を高める。 ・ボランティア活動等の社会参加を通じて社会貢献の精神を育む。 ・全校生徒が生徒会役員であることを自覚し、よりよい校風づくりに尽力できる態度を養う。	多様な他者との協働(つながり)を意識して ・それぞれの学校行事の意義やつながりを明確にする。 ・自己決定や課題解決の場面を通じて主体性を育む。 ・自己の役割や生き方を考えられる機会を充実させる。
活動の内容	(1)学級や学校の生活づくりへの参画 アイウ <u>重点目標 ウ)学校における多様な集団の生活の向上</u> ・学級目標設定 ・学級役員選出 ・学級組織づくり ・自己紹介 ・校外学習、宿泊学習 (2)適応と成長および健康安全 アイウエオ <u>重点目標① ア)思春期の不安や悩みとその解決</u> <u>重点目標② イ)自己及び他者の個性の理解と参加</u> ・支援学級びらき ・平和学習 ・人権学習 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 アイウエオ <u>重点目標① ア)学ぶことと働くことの意義の理解</u> <u>重点目標② ウ)進路適性の吟味と進路情報の活用</u> ・ヒプリオバトル ・体育祭、文化祭 ・職業体験 ・進路学習	(1)生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒会が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2)文化的行事 文化祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (3)健康安全・体育的行事 体育祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (4)学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。 (5)ボランティア活動などの社会参画 地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。	(1)儀式的行事 新しい生活の展開への動機付けや学校生活を振り返る機会とする ・入学式・卒業式(国歌斉唱、国歌斉唱) ・始業式・終業式 (2)文化的行事 文化祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (3)健康安全・体育的行事 体育祭 創作活動を通じて主体性を育み、自己の役割の理解や責任感や連帯感の涵養につなげる。 (4)旅行・集団宿泊的行事 キャリア教育の一環として人と繋がる体験を重視し、個人の役割の自覚と集団生活の規律を学ぶ。 1年：プロジェクトアドベンチャー 2年：コリアタウン(人権学習) 3年：長野県修学旅行 (5)勤労生産・奉仕的行事 学ぶや働くことに関する意義や役割の理解を深め、将来の職業選択や自らの生き方を考える。 ・職場体験活動(2日間)
本校の特色	・全教科における話し合い活動の充実 ・教科横断的な取り組みの実施 ・キャリア教育を軸とした体験活動を実施し、まとめ、プレゼンテーションをおこない、意見交流の場を持たせている	・体育祭・文化祭の活動を通じて、縦と横のつながりを意識した取り組みを実施し、リーダーの育成を図る。 ・バットボトルキャップ募金活動等の社会貢献活動。	・異年齢集団の行事を活用して「自立」「協働」「創造」の力を身につけさせている ・キャリア教育を軸とした体験活動を実施し、学ぶことや働くことに関する意義や役割の理解につなげている。 ・小学校や保育所・幼稚園、地域の事業所との連携で ・職場体験活動などでの自己決定する場面が多い。 ・ふりかえり活動を重視し、自己の成長や課題を実感できる。
評価と改善	・さまざまな活動の過程で生徒の成長を促す手立てを講じる ・集団決定や自己決定した内容の実践と課題を自己評価や相互評価、教師の観察などで評価し、よりよい実践につなげる ・生徒アンケート、学校自己診断等の評価結果を分析し、次なる取り組みにいかす	・生徒アンケートの実施。生徒の実態や様子を把握し、課題の克服、学校行事の改善につなげる。 ・定例委員会等の活動を通じて、学校の問題点を共有し、よりよい学校生活を送るための工夫や取り組みにいかす。	・生徒アンケートを実施し、学期や行事の前後での生徒の状態を見取り、キャリア・カウンセリング(教育相談を含む)に活用する。 ・学期ごとに各行事の内容を振り返る校内研修を実施し、その効果を数値化するとともによりよい実践につなげる。



4	1	学級開き・学級づくり	(1)―イ	学級開き・学級づくり	(1)―イ	学級開き・学級づくり	(1)―イ
	2	自己紹介	(2)―ア	自己紹介	(2)―ア	自己紹介	(2)―ア
	3	人間関係作り	(2)―ア	人間関係作り	(2)―ア	人間関係作り	(2)―ア
	4	共生社会学習	(2)―イ	共生社会学習	(2)―イ	共生社会学習	(2)―イ
5	5	校外学習にむけて	(1)―ウ	校外学習にむけて	(1)―ウ	修学旅行にむけて	(2)―ア
	6	校外学習にむけて	(1)―ウ	校外学習にむけて	(1)―ウ	修学旅行にむけて	(2)―ア
	7	生徒総会にむけて	(1)―ウ	校外学習にむけて	(1)―ウ	修学旅行にむけて	(2)―ア
6	8	防災訓練	(2)―エ	防災訓練	(2)―エ	防災訓練	(2)―エ
	9	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ
	10	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ウ
	11	HR学習会	(2)―ア	HR学習会	(2)―ア	HR学習会	(2)―ア
7	12	平和学習	(3)―イ	ビブリオバトル	(3)―イ	平和学習	(3)―イ
	13	ビブリオバトル	(3)―イ	非行防止教室	(2)―ウ	ビブリオバトル	(3)―イ
	14	1学期のふりかえり	(1)―ア	1学期のふりかえり	(1)―ア	1学期のふりかえり	(1)―ア
9	15	体育祭、文化祭にむけて	(2)―エ	体育祭、文化祭にむけて	(2)―エ	体育祭、文化祭にむけて	(2)―エ
	16	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア
	17	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア
	18	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア	体育祭、文化祭にむけて	(1)―ア
10	19	体育祭、文化祭ふり返り	(1)―ア	体育祭、文化祭ふり返り	(1)―ア	体育祭、文化祭ふり返り	(1)―ア
	20	HR学習会	(2)―ア	HR学習会	(2)―ア	HR学習会	(2)―ア
	21	生徒会役員選挙にむけて	(1)―ウ	生徒会役員選挙にむけて	(1)―ウ	生徒会役員選挙にむけて	(1)―ウ
11	22	自分の強み	(3)―ウ	職業体験にむけて	(3)―ア	進路学習	(3)―ウ
	23	自分の強み	(3)―ウ	性教育	(2)―ウ	進路学習	(3)―ウ
	24	HR学習会	(3)―ア	HR学習会	(3)―ア	HR学習会	(3)―ア
12	25	性教育	(2)―ウ	ビブリオバトル	(3)―イ	ビブリオバトル	(3)―イ
	26	人権学習	(2)―ウ	人権学習	(2)―ウ	人権学習	(2)―ウ
	27	2学期の反省	(1)―ア	2学期の反省	(1)―ア	2学期の反省	(1)―ア
1	28	HR学習会	(3)―ア	HR学習会	(3)―ア	進路学習	(3)―ウ
	29	人権学習	(2)―イ	人権学習	(2)―イ	ビブリオバトル	(3)―イ
	30	ビブリオバトル	(3)―イ	ビブリオバトル	(3)―イ	学年行事	(1)―ア
2	31	学年行事	(1)―ア	学年行事にむけて	(1)―ア	性教育	(2)―ウ
	32	進路学習	(3)―エ	学年行事	(1)―ア	3学期の反省	(1)―ア
	33	進路学習	(3)―ウ	進路学習	(3)―ウ	3年間のふり返り	(1)―ア
3	34	3学期の反省	(1)―ア	3学期の反省	(1)―ア	進路学習	(3)―ウ
	35	2年生にむけて	(3)―ウ	3年生にむけて		これからの自分の生き方	(3)―ウ

(8)「人権教育」の全体計画と年間計画

[人権・支援教育部]

目標	・確かな人権感覚の育成	
つけない力		方 策
・確かな人権感覚 ・差別やいじめを許さない心 ・違いを認める豊かな心 ・自分を大切にする力 ・個別の人権課題を自分の問題として捉え、解決していくための実践ができる力 ・生徒や保護者に寄り添うことができる力		①教職員研修 ・個別の人権問題について理解する ・生徒と結びつけ、全ての指導に活かす ②3年間計画の遂行 ・個別の人権問題について理解する ・個別の人権問題と自らを繋げ、自他を大切にする

① 3年間計画

四中 人権教育 3年間計画												
(四中 人権強化週間)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	障がい者理解	全般～ジェンダー学習			夏休みの宿題		国際理解教育				職業差別	
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	差別と区別の違い ③ちがいのちがいがい ④女性差別～セクマイ 校外学習 アライだよ		人権講演会	平和レポート (世界)		文化の違い マイノリティ ⑤バーンガゲーム ⑥日本に住む外国人・ マイクロアグレッション				職業に対しての 偏見や差別 ⑦名刺交換ワーク ⑧統一応募用紙 ⑨いのちをいただく	
2年	障がい者理解	在日外国人問題					情報教育				平和学習	
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	在日コリアン ⑩在日コリアンの歴史 ⑪差別の実態 ⑫闘い方 コリアタウンFW		人権講演会	平和レポート (日本)		生徒指導部とタイアップ うわさ・デマ ⑬二番目の悪者 ⑭伝言実験				沖縄戦について ⑮映画鑑賞 ⑯沖縄戦の歴史	
3年	障がい者理解	平和学習					部落問題学習					
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	修学旅行 平和資料館 ひめゆり資料館 ガマ 聞き取り学習		人権講演会	人権作文		気付く力 どう生きるか ⑰機会の平等と結果の平等 ⑱教科書無償化運動・結婚差別 ⑲水平社宣言				⑳生き方を考える	
教員	全体計画周知				校内研修		ニーズ研修					
①3年間通して、継続的に人権学習を行う。特に四中 人権強化週間では、連続した時間を使い、子どもと教員の人権意識を高める。 ②ジェンダー、障がい者、部落問題、多文化共生、情報教育、平和の6つの人権課題を3年間を通して必ず学習する。 ③3年間計画に沿って、道徳の時間や総合の時間に学習をしていく。 ④3年間計画の授業内容は参考なので、本質を逸脱しない限り内容を変更して良い。 ⑤人権講演会（聞き取り学習）を各学年で実施する。四中 人権強化週間に行うが、学年の実態に沿って時期や回数を増やすことは可能。 例 1年：セクシャルマイノリティの当事者 2年：在日コリアンの当事者 3年：沖縄戦の語り部 ⑥人権教育を進めていくにあたって、教員に向けての研修をもつ ニーズがあればその都度研修をもつ												

② 役割分担

人権主担 (宇井)
枚人権担当 (宇井)
多文研担当 (喜左上)

R7年度 枚方市立第四中学校 人権教育 全体計画

関係法令等

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・子どもの権利条約 ・人権及び人権啓発に関する基本計画

学校教育目標

学びあい、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成

本校の実態

<生徒像>

本校の生徒像として、経済的に余裕のある家庭が多く、保護者とともに、人と比べて自分の位置を確かめようとする生徒が非常に多い。人間関係が希薄で、ありのままの自分を大切にすることができない生徒も多い。反面、温厚な生徒が多く、子ども同士は仲間との繋がりを求めている。

<保護者・地域の願い>

いじめや差別のない学校を願い、子どもが楽しく学校へ行くことを望んでいる。反面、勉強に固執する家庭が多く、偏差値の高い学校へ進学することを強く望んでいる。

育てたい生徒像

- ・違いを認める豊かな心をもつ生徒
- ・自分を大切にすることができる生徒
- ・差別やいじめを許さない生徒

目指す教員像

- ・確かな人権感覚をもつ
- ・個別の人権課題を自分の問題として捉え、解決していくための実践ができる
- ・生徒や保護者に寄り添うことができる

教職員研修

- ・人権問題について理解する
- ・生徒と結びつけ、指導に活かす
- ・日常的に人権感覚を研ぎ澄ます

人権教育

学級
(集団・仲間づくり)

総合的な学習の時間

各教科(道徳)

40人が集まる学級には、40通りの生活があり、40通りの違いがある。社会の縮図ともいえる学級で、40人が40通りの違いを認め合い、支え合い、ともに力を合わせて乗り越えていくことが出来る力をつけるために取り組んでいること自体が、人権教育と結びついている。また、個別の人権課題を自分自身に引きつけて学ぶためにも、仲間の存在が重要である。仲間の生き立ちと重ねて、自分の生き立ちをふり返り、生き方を考えられるようになる。お互いの悩んでいることを出し合い、共有することによって、お互いを鍛え合うような関係を育てる。違いを認め合うことができるようになるためには、子どもたちを生活ごと繋げることが重要である。そのために班活動に力を入れ、子どもたちを繋げる取り組みが必要がある。

道徳が教科化されたことから、道徳教育と人権教育の関連性を考えて取り組んでいく必要がある。文部科学省も、道徳科で人権について教えることを承認している。検定を通ったある教科書では、子どもの権利条約、世界人権宣言、を教材化している。「私には夢がある」(黒人差別をなくそうとする運動)や、「差別のない社会を目指す」という教材では、世界人権宣言と結びつけつつ、外国人差別を教材化している。そのため、道徳部、人権部とタイアップして取り組みを進めていくことが、より豊かな心を育むことに繋がると考えることが出来る。各教科においても、命、歴史、科学、言語、文化、芸術など、人権教育と関連して学びを深めていくことが必要だと言える。

3年計画を土台に、
各領域を必ず学習して
卒業させる

個別の人権課題(領域別)

生徒指導部、支援教育部、養護教諭
などとのタイアップ

部落問題
学習

・職業差別
・就職差別
・結婚差別
など

多文化
共生教育

・在日コリアン
・中国残留孤児
・難民の問題
・ニューカマー
など

ジェンダー学
習

・女性差別
・セクシュアルマイ
ノリティ
・就職差別
・職業差別など

障がい者
理解教育

・共生教育
・UD
・バリアフリー
など

平和学習

・命の大切さ
・戦争の悲惨さ
・世界の紛争
・沖縄戦
など

情報教育

・リテラシー
・誹謗中傷
・SNS上での人権
侵害
など

(9)食育推進全体計画と年間計画

令和6年度 食に関する指導の全体計画

生徒・地域の実態 弁当を好む生徒が多い。給食には、子どもたちの好き嫌いによる栄養バランスの偏りなく、様々な食材が献立に含まれているが、苦手なものは残す生徒が一定数いる。	教育目標 学びあい つながりあい 幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成	学習指導要領 食育基本法 食育推進基本計画 教育委員会の方針
---	---	---

食に関する指導の目標

① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする
② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける
③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける
④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心を育む
⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける
⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ

各学年の食に関する指導の目標

1 年	2 年	3 年
● 毎日規則正しく食事を摂ることができる。 ● 自分の生活や将来の課題をみつけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。	● 食環境と自分の食生活との関わりについて理解することができる。 ● 身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。	● 生活の中で食事が果たす役割や健康との関わりを理解する。 ● 1 日分の献立をふまえ、簡単な日常食の調理ができる。 ● 食品の安全で衛生的な取り扱いができる。

特別活動	昼食の時間 (全学年)	● 決められた時間内に食べる。食事のマナーに気をつける。好き嫌いなく食べる。 ● 食事の場の雰囲気づくり、食前・食後の過ごし方を考える。 ● すべての人に感謝の気持ちをもつ。 ● 協力して食事の準備をするという気持ちをもつ。		
	学級活動	安全で衛生的な昼食・楽しい昼食・健康な心身をつくるための指導、正しい生活習慣の確立		
	学校行事	身体測定、内科検診、歯科検診、宿泊的行事		
	生徒会行事	保健委員会活動、生徒集会		
教科との関連		1 年	2 年	3 年
	技術・家庭 (家庭分野)	私たちの食生活 ● 健康と食生活	私たちの食生活 ● 食品の選択と保存 ● 調理をしよう ● 地域の食材と食文化	
	保健体育			健康な生活と病気の予防
	理科	植物のくらしとなかま	動物のくらしとなかま	自然と人間のかかわり
	社会	〔地理的分野〕 世界各地の人々の生活と環境・世界の諸地域 〔歴史的分野〕 古代までの日本・中世の日本	〔地理的分野〕 日本の地域的特色と地域区分・日本の諸地域 〔歴史的分野〕 近世の日本・開国と近代日本の歩み・	〔歴史的分野〕 二度の世界大戦と日本・現代の日本と世界 〔公民的分野〕 現代社会と私たち・私たちの暮らしと経済
	英語	GET Plus1 (どんな食べものが好きか聞き合う)	Lesson2 (職場体験【農場】) Lesson6 (中国茶について)	Project1 (日本限定アイスクリームの提案) Take Action! (サンドイッチに何を入れるか考える)
家庭・地域連携		給食だより、保健だより、PTA 実行委員会		
個別指導		保護者からの申し出、定期健康診断の結果、エビペン所持、日常の食生活の様子等から個別相談指導が必要な生徒を対象に実施する。		

(10)中学校区のキャリア教育全体計画

四中学園 キャリア教育全体指導計画									
めざす ハタ千像	自分らしく まわりとつながり 何事にもチャレンジする								
学 年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
発達段階の目標	なかよしになろう (関心をもとう)		友達と協力しあおう (関わりを深めよう)		自己を生かそう (自分を大切に)		自分を考える	仕事と社会問題を考える	生き方について考える
つきたい力	つながる わかる		つながる チャレンジ		つながる わかる きめる		人間関係づくり 課題対応能力	自己理解 課題対応能力	キャリア プランニング 課題対応能力
活動名	・給食がはじまるよ ・みんなみんな大すきだよ	・ともだちをつくろう ・ともだちを知ろう	まちたんけん	福祉教育	わが国の産業	修学旅行の取り組み	校内学習 文化祭 体育祭	校外学習 文化祭 体育祭 職場体験 探求学習	修学旅行 文化祭 体育祭 探求学習
目 的	・給食当番としてそれぞれが役割を果たすことの大切さを知る ・家の人の仕事を知る	・自分以外の他者を知り、なかよくなれる。	働く人の仕事を理解し、仕事の楽しさや苦労を知る	夢を持つことの大切さに気付き、目標に向かって希望と勇気を持ってくじけないで努力しようとする心情を育てる	私たちの生活を支える仕事やその工夫を知る。	平和の大切さ、命の尊さを知り	自分について考える	仕事と社会問題を考える	生き方について考える
活動内容	・給食当番としてそれぞれが役割を果たす。 ・家の人の仕事調べ自分のできることをやってみる	・ともだちのいいとこみつけ	地域のスーパーや施設の様子を見学する スーパーで働く人の仕事を見学する	障がい者の方から職業や将来の話やふれあい交流会を計画・実行する 高齢者の方にお礼の手紙を書く	・バケツ稲づくり ・自動車工場見学 ・新聞社見学	・社会科で戦争について学習する ・ヒロシマについて調べ学習をする ・原爆被害者の会の人の話を聞く	人間関係づくり 自分を知る プロジェクトアドベンチャー	人間関係づくり 自分を知る 職業体験 探求学習	人間関係づくり 自分を知る 探求学習 進路選択
期待する子どもの変容 目的達成に向けたポイント	・自分の役割を知り仕事をやりとげようとする。 ・家族の一員として自分のできることをしようとする。	・他者を認め、なかよくしようとする。 ・遊びの中から、他者を知る。	校区のスーパーや施設の人々に関心を持つことができた	障がい者の様々な生活や生き方があることに気付いた	稲を育てる体験や工場、新聞社等の見学を通じ、私たちの生活を支える産業を知り、そこで働く人の工夫や姿勢に興味を持つ。	修学旅行に向けての学習を通じ、命と平和の尊さを知り、家族や仲間を思いやる心をそだて、将来の自分について考えられる力を持つ。	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を見つけテーマを設定することができる	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を見つけテーマを設定することができる	自己の生き方を考えることができる 疑問や関心に基づいて追求したい課題を見つけテーマを設定することができる

(11)学校保健・安全計画

学校保健・安全計画

1. 目標

生徒ひとりひとりの心身の健康な発育を目指して、保健教育、保健・安全管理を行う。

2. 重点目標

- (1) 自分の身体に関心を持ち、自主的な健康管理のできる態度を養う。
- (2) 基本的生活習慣の形成や、生活リズムの確立を目指す。
- (3) 生徒の実態に即した保健指導を行う。
- (4) 家庭、地域社会との連携を密にして、協力体制の強化を図る。

3. 学校保健・安全計画

月	月の重点目標	学校保健関係行事	保健・安全管理	保健教育
4	自分の健康状態を知ろう	・定期健康診断(身体測定・視力検査・聴力検査・検尿一次・内科検診・12誘導心電図検診) ・保健委員会活動	・保健調査の実施 ・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置・感染症予防対策 ・健康相談・交通安全	・健康診断の事前事後指導 ・保健室の使い方・保健だより発行
5	けがの予防	・定期健康診断(内科検診・心臓医師心電図検査・耳鼻科検診・検尿二次検査・検尿三次検査)・修学旅行・保健委員会活動	・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置 ・宿泊学習の事前健康調査及び準備 ・修学旅行・健康相談	・健康診断の事前事後指導 ・けがの予防 ・宿泊学習時の健康安全 ・保健だより発行
6	歯の健康を考えよう	・定期健康診断(眼科検診・歯科検診) ・水質検査・防災訓練 ・学校保健委員会・保健委員会活動 ・1,2年校外学習	・定期健康診断の計画立案と実施及びその事後措置 ・健康相談 ・災害時における安全管理	・健康診断の事前事後指導 ・梅雨時の食中毒予防・保健だより ・歯と口腔の健康・プールの安全指導
7	夏を元気に過ごそう	・プール水質検査・保健委員会活動 ・1年交通安全教室 ・2年薬物乱用防止指導 ・3年非行防止教室	・定期健康診断結果のまとめ及び要精検者の事後指導・空気検査 ・プールと飲料水の水質管理 ・熱中症予防・夏休みの健康と安全	・夏休みの生活 ・保健だより発行 ・熱中症(休息と水分補給)
9	生活リズムを整えよう	・文化祭・体育祭 ・保健委員会活動	・基本的生活習慣 ・健康相談	・生活リズムを整える。 ・保健だより発行
10	運動にしよう	・保健委員会活動 ・性教育指導	・健康相談・健康管理	・保健だより発行
11	自分のからだを知ろう	・保健委員会活動 ・モアレ検査・性教育指導	・感染症予防・対策 ・手洗い場の衛生管理・健康相談	・保健だより発行
12	感染症を予防しよう	・教室換気点検 ・保健委員会活動	・感染症予防・対策 ・換気指導・冬休みの健康安全 ・健康相談	・うがい、手洗いの励行 ・冬休みの健康指導 ・保健だより発行
1	食生活を考えよう	・教室換気点検 ・保健委員会活動	・健康相談	・保健だより発行・うがい、手洗い、アルコール消毒の励行
2	心の健康を考えよう	・照度検査・保健委員会活動	・健康相談	・心の健康 ・保健だより発行
3	1年間の健康生活を振り返ろう	・保健委員会活動	・次年度定期健康診断の計画 ・今年度保健室来室状況及び学校災害のまとめ・春休みの健康安全	・春休みの健康指導 ・保健だより発行 ・3年成長の記録配布

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点目標		安全な登下校をしよう	施設・設備の安全・適切な利用を心がけよう	健康と安全に留意しよう	健康と安全に留意しよう	生活リズムを保ち、健康で安全な生活を送ろう	健康と安全に留意しよう	交通法規を理解し、順守しよう	危険に対して適切な対応をとれるようにしよう	健康と安全に留意しよう	交通法規を理解し、順守しよう	生活リズムを保ち、健康で安全な生活を送ろう	健康と安全に留意しよう
道徳		役割と責任	共に学び共に成長すること	生命尊重	平和を求めて(生命の尊重)	社会への奉仕	公德心と正義	集団生活の向上	生きる喜び	郷土愛	生命の尊重	自主自立	他者への感謝
安全学習	理科	理科室の使用上の注意	薬品・ガラス器具の使い方 ガスバーナーの使い方		薬品検査	備品点検		電気器具の使い方		理科室と準備室の整備		大地の変化 火山・地震・津波	備品点検 薬品点検
	社会	地形から見た日本の特色・気候から見た日本の特色(2年地理)	自然災害と防災・減災への取り組み(2年地理) 関東大震災(3年歴史)				自然環境に適応する人々の工夫(2年地理)	阪神・淡路大震災(2年地理)		東日本大震災(2年地理)	自然の制約に適応する人々の工夫(2年地理)		
	美術		美術室の使用上の注意	備品の点検整備 カッターの使い方	電動のこぎりの使い方 カッターの使い方	備品点検 ニードルなどの点検	はさみ、カッターの使い方	彫刻刀の正しい使い方 ニードルの使い方	備品の点検		印刀の使い方	絵の具・用具の保管	器具・用具点検
	体育分野	集団行動の徹底 用具・施設の使い方	体力テスト 備品の点検整備	器具の安全点検	水泳の事故防止について 健康管理	備品検査	武道(剣道)用具の使い方と手入れ	備品検査	備品検査	備品検査		器具・用具点検	
	保健分野	心身の発達と心の健康(1年) 健康と環境(2年) 健康な生活と病気の予防(3年)		AED講習会				応急手当の仕方(2年)					
	技術	技術室の使用上の注意	作業場所の確保と危険の回避 電子機器の利用と安全	実習時の安全な服装 電磁波の影響について	工作機械や工具の点検 工具の安全な使い方	切削加工時の安全 材料の切断・接合	備品の点検整備	電気器具の取扱い 電気的安全な利用	電気器具の過熱と漏電	実習時の安全な服装	電気製品の製作時の安全配慮 電気工具の安全な使い方	はんた付けによる火傷の注意	器具点検整備 備品検査(台帳管理)
	家庭	実習・製作中の安全と防災(1・2年)	健康と食生活(1,2年)	包丁の安全な使い方(2年)		器具・用具点検	洗濯機の使用の注意(1年)	裁縫道具の使用上の注意(1年) 食品の安全と情報(2年)	火を扱うときの注意(2年) 幼児とふれ合う準備(3年)	器具・用具点検	家庭内の安全(1年) 暮らしの中のマーク表示(2年)	室内の空気を汚染するもの(1年)	災害への備え・地域の安全(1年) 器具・用具点検
安全教育	第1学年	●通学路の確認・交通安全指導 ●部活動での安全	◎校外学習での安全	◎自転車の安全な乗り方 ◎避難訓練	◎自分の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯	●夏の生活の振り返り ◎登下校の安全	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。 下校時間の遵守	●秋の交通安全指導 ●自転車点検	●下校時間の遵守 ◎交通事故の加害と被害 ◎避難訓練	●火器への注意 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯	●冬休みの振り返り ◎災害への備えと協力	◎降雪時の安全 ●けがの発生状況とその防止	●1年間の反省 ◎震災から学ぶ命 ●球技大会での安全
		●通学路の確認・交通安全指導 ●避難経路の確認	◎障がいのある人への理解と支援 ◎校外学習での安全	◎校外学習での安全 ◎避難訓練 ●雨天時の校舎の通行の注意	◎自己の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯 ◎非行防止教室	●夏の生活の振り返り ●風紀・挨拶、登校指導	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。 下校時間の遵守	●秋の交通安全指導 ◎職場体験学習での安全な活動	●下校時間の遵守 ◎携帯電話やネットの安全な利用 ◎避難訓練	●火器の注意 ●球技大会での安全 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯	◎震災から学ぶ ●冬休みの振り返り ●自身の健康管理	●降雪・凍結時の安全 ●球技大会での安全 ●自身の健康管理()	●1年間の反省 ●球技大会での安全 ◎震災から学ぶ命 ◎震災から学ぶ命
		●通学路の確認・交通安全指導 ●避難経路の確認	◎修学旅行での安全	◎避難訓練 ●雨天時の校舎での過ごし方	◎自己の生活の振り返り ◎夏休みの生活計画と安全・防犯	●夏の生活の振り返り ●登下校の安全 ◎交通機関利用のルール・マナーについて	◎総合発表会の取り組みの安心・安全な活動。 下校時間の遵守	●秋の交通安全指導	●疾病と予防、体調管理について ◎避難訓練	●火器の注意 ◎冬休みの生活計画と安全と防犯 ◎自身の健康管理	●冬休みの振り返り ◎自身の健康管理 ◎交通機関利用のルール・マナー	●降雪・凍結時の安全 ●球技大会での安全	◎震災から学ぶ命 ◎学校・教室環境の整備修繕
	生徒会活動	●昼休みの過ごし方(ボール使用の注意) ◎新入生オリエンテーション(クラブでの安全・下校時間・登下校の安全)	●生活委員会(登下校時の安全) ●クラブ部長会(クラブ中の安全・下校時の安全)	●生活委員会(雨天時の校舎内の過ごし方) ●保健委員会(けがの注意)	●保健委員会(健康管理・熱中症対策) ●クラブ部長会(夏休みのクラブ活動の注意点)		●総合発表会実行委員会(活動時間の厳守・活動のきまり)	●クラブ部長会(下校時刻の確認・下校時の安全)	●生徒朝礼(下校時刻の厳守)		・四中見学会 ●本部指導(四中見学会での安全確認) ●クラブ部長会	●保健委員会(健康管理・インフルエンザ対策) ●クラブ部長会(下校時刻の確認)	
		・入学式 ・健康診断 ・春の交通安全運動	・新体刀テスト ・校外学習(1年) ・宿泊学習(2年) ・修学旅行(3年) 防災避難訓練(火災)		・終業式	・始業式		・秋の交通安全運動時の啓発活動	・防災避難訓練(不審者)	・終業式	・始業式 ・避難訓練(地震)	・球技大会	・卒業式 ・球技大会 ・修了式
安全管理	対人管理	学校生活における安全	自転車への乗り方	プール授業での安全	熱中症の防止 自転車の乗り方		総合発表会の準備と安全	避難訓練	不審者への注意喚起		登下校時の安全 パトロール		1年間の人的管理の評価
		通学路の点検(交通安全運動)	体育祭での運動場整備	プールの安全点検		学校設備の安全点検	避難経路の確認	防火設備の点検			学校備品の安全点検	1年間の安全点検の評価	
	学校安全に関する組織活動		・登下校指導(年間) ・春の交通安全運動時の啓発活動 ・保護者、教職員の街頭指導	・避難訓練 ・校外における生徒の安全行動把握、情報交換 ・防災講演会	・地域の危険箇所点検 ・防災に関する全行動把握、研修 ・心肺蘇生法(AED)研修	・交通安全教室 ・非行防止教室 ・薬物乱用防止教室 ・保健委員会	・地域パトロール	・880万人訓練 ・秋の交通安全運動時の啓発活動 ・保護者、教職員の街頭指導	・避難訓練(不審者) ・冬季の通学路点検	・年末・年始の交通安全に関する啓発活動		・保健委員会	

(12)学年の目標

R7年度【 1 学年 】教育計画

【重点項目】

・自分を知る ・コミュニケーション力 ・やりぬく ・チャレンジ、行動

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

自分の得意を知り、将来に向けてその力を伸ばそうと考え、行動に移すことができる。

《チャレンジ・行動》

未知の領域や困難な状況に対しても厭わず、自分や仲間・クラスが成長する(より良くなる)ための発言や行動をとることができる。

《やりぬく》

自分や仲間のために、苦手なことでもあきらめず最後まで頑張りが続けることができる。

《コミュニケーション力》

自分だけでなく相手やクラスの仲間のことを考えた言動をとることができる。

班やクラスの仲間と分け隔てなくつながり、関わるることができる。

学校生活の様々な場面で、互いに支え合える。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年 : ・委員会活動の積極的な活用(とりわけ、学代、生活、学習委員)
 ・安心、安全の場を作れるような人間関係づくり
 ・授業、昼食、清掃、終礼など時間を守って行動させる指導

チャレンジ・行動

コミュニケーション力

やりぬく

自分で決める

4月 : ・人間関係づくり(キャリア) チャレンジ・行動

・共生社会学習 振り返り・改善

5月 : ・プロジェクトアドベンチャー チャレンジ・行動 自分を知る コミュニケーション力

6月 : ・文化祭・体育祭に向けて コミュニケーション力 チャレンジ・行動

・教育相談 振り返り・改善

7月 : ・文化祭取り組み チャレンジ・行動 コミュニケーション力 やりぬく

8月 : ・文化祭取り組み チャレンジ・行動 コミュニケーション力 やりぬく

9月 : ・文化祭取り組み、文化祭 チャレンジ・行動 コミュニケーション力 やりぬく

・体育祭取り組み チャレンジ・行動 コミュニケーション力 やりぬく

10月 : ・体育祭取り組み、体育祭 チャレンジ・行動 コミュニケーション力 やりぬく

・教育相談 振り返り・改善

11月 : ・性教育 自分を知る

・キャリア学習(価値観) 自分を知る

1月 : ・小中連携への取り組み チャレンジ・行動 コミュニケーション力

2月	:	・小中連携への取り組み	チャレンジ・行動	コミュニケーション力
		・オーケストラ鑑賞会		
3月	:	・小中連携	やりぬく	
		・学年レク	チャレンジ・行動	コミュニケーション力

R7年度【 第2学年 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

・自分で決める ・チャレンジ・行動 ・コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

・自分を“客観視”でき、良いところと課題のどちらもとらえることができる。

《自分で決める》

・保護者や教員の敷いたレールではなく、自ら選択・決定していく。

《チャレンジ・行動》

・失敗を恐れず、やってみたいことに果敢に挑戦する。

《コミュニケーション力》

・本当に相手のことを思った発言・振る舞い・行動。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	委員会活動(学代会議等)	自分で決める	振り返り・改善	やりぬく
		コミュニケーション力	振り返り・改善	やりぬく
	班長会議(各クラス担任裁量) 学年集会			
4月	校外学習の事前学習:体験内容の選択、フィールドワークの班別行動	コミュニケーション力	自分で決める	
5月	校外学習@コリアタウン(5/29(木)): フィールドワークの班別行動	チャレンジ・行動	コミュニケーション力	振り返り・改善
6月	職場体験学習の事前学習: 体験場所の選択・決定	自分で決める	チャレンジ・行動	
9月	文化祭(1学期より)クラス合唱	コミュニケーション力	自分で決める	振り返り・改善
				やりぬく
10月	体育祭(1学期より)	コミュニケーション力	自分で決める	振り返り・改善

11月	職場体験学習(11/13(木)14(金))	自分で決める	チャレンジ・行動
12月	職場体験学習の事後学習：課題解決	振り返り・改善	
1月	修学旅行@沖縄の事前学習：平和学習	自分で決める	
2月			
3月	学年レク	コミュニケーション力	振り返り・改善

R7年度【 第3学年 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

○振り返り・改善 ○自分で決める ○コミュニケーション力 ○チャレンジ・行動

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分で決める》

- ・自分で好きなもの、ことを積極的に見つける。
- ・自分の行動、発言に責任をもつ。
- ・人の話に耳を傾けながらも自分の人生を自分で決めていく。
- ・日々の課題に自主的かつ自発的に取り組む。

《チャレンジ・行動》

- ・「こうなりたい」という理想や目標を決めて挑戦する姿勢をもつ。
- ・自治的取り組みをつくる。

《振り返り・改善》

- ・基本的なルールやマナーを守る。
- ・周囲の話を聞き入れ素直になる。

《コミュニケーション力》

- ・思いやりをもって人やものに接する。
- ・お互いを認め合い、本物のつながりを構築する。
- ・全員が安心できる居場所をつくる。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	： 班長会議・人間関係づくり	振り返り・改善	コミュニケーション力
4月	： 修学旅行に向けての取り組み	コミュニケーション力	
5月	： 修学旅行に向けての取り組み・修学旅行	コミュニケーション力	
6月	： 進路学習	自分で決める	
7月	： 文化祭に向けての取り組み	チャレンジ・行動	
8月	： 文化祭に向けての取り組み	チャレンジ・行動	
		チャレンジ・行動	

9月	文化祭に向けての取り組み・文化祭	チャレンジ・行動
10月	体育祭に向けての取り組み・体育祭	
11月	キャリア学習・進路学習	自分で決める
12月	平和学習・進路学習	自分で決める
1月	進路学習・防災学習	自分で決める
2月	卒業に向けての取り組み	自分で決める
3月	卒業式	自分で決める

(13)分掌の目標と年間計画

R7年度【 教務 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【取り組み内容】時系列で列挙

<通年>

- ①各部署と連携し、学校運営の調整をする。
- ②授業時数の確保と実施状況の調査を行う。
- ③月中行事や諸連絡などをデジタル化に統一し、職朝時間の短縮・作業効率を推進する。
- ④諸帳簿の作成と事務処理に関する情報を共有し、チェック体制を機能させる。
- ⑤短縮期間や他部署からの要請に沿って特別時間割作成を行う。
- ⑥学力調査・チャレンジテストの準備、仕分け、実行
- ⑦行事関連の資料作成、司会進行などを取りまとめる。
- ⑧時間割作成・確認などの取りまとめを行う。
- ⑨C4th のデータ処理・管理。
- ⑩年間指導計画作成を支援する

4	入学式、始業式、保護者集会
5	学力調査(3年)
6	教育相談、1学期末テスト
7	1学期末懇談、終業式
8	(校内研修)、始業式
9	チャレンジテスト(3年)、文化祭
10	体育祭
11	3年保護者集会、2学期末テスト、教育相談
12	2学期末懇談、終業式
1	始業式、チャレンジテスト(1・2年) 卒業テスト(3年) 入学説明会

2	3年進路相談、学年末テスト(1, 2年)
3	卒業式 修了式
<校務関係> <u>通年業務</u> ・職朝連絡板の運営 ・前WBの記入 ・チャイム管理 →1学期(3年)・2学期(2年)・3学期(1年) ・授業時間の調整:【①北川②脇谷③前川】 ・諸帳簿の整理:【全員】 ・テスト監督【各学年担当】 ・C4th担当【脇谷、北川】 <u>特別業務</u> ・全国学力テスト準備、管理:【北川(各学年担当)】 ・チャレンジテスト準備、管理:【北川(各学年担当)】 <学校外との連携> ・市教研担当:【井手】	

R7年度【 学力向上 】教育計画

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

- ・自分で決める:社、音、美
- ・チャレンジ・行動:国、社、理、音、美、体、英
- ・振り返り・改善:社、数、理、美、技、家、英
- ・やりぬく:国、数、美、体
- ・コミュニケーション力:国、数、理、音、美、体、技、家、英
- ・自分を知る:音、美

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分を知る》

自分の得意または苦手な表現方法や好みを理解し、取り組むことができる
表現したものを客観的にみることで、自分らしさに気付く

《自分で決める》

自分に合った練習方法や課題を考え、計画的に取り組む(探究する)ことができる生徒
なりたい姿を自ら考え、自分に合ったステップを選択することができる生徒
制作過程を計画的に意識し、イメージを自己決定出来る。

《チャレンジ・行動》

「なぜ」を大切にし、自分から分析、考察できる
失敗を恐れず、難しい課題や新しい課題に前向きに挑戦できる
イメージを具現化する中で、自分らしさを追求する。
現状に満足せず今よりも高いレベルの課題に取り組もうとする
チャレンジしている仲間を応援する姿勢がある

《振り返り・改善》

学習したことから自分なりの問いを立てる
実験、観察の結果を振り返り、考察し、授業での知識を活用して言語化できる。
発表をきいて、自分なりの疑問や意見を相手に伝える。それに対して根拠持って答える。
振り返りを通して、成果やよりよい生き方を見つけるために次の目標の設定が出来る。

《やりぬく》

すべての生徒が問題や課題をやり切る。
提出物を当たり前に出す。50分間授業に参加する。
記録の向上や技術の習得に向けて努力をし続ける

《コミュニケーション力》

言葉の決まりを理解し、正しく使えるようにする

仲間と協力しながら、よりよいものになるように試行錯誤することができる

自分の意見を的確に伝えつつ、仲間の意見にも傾聴できる

自分だけでなく、身の周りの人たちの存在を認め、集団の中でより学びを深められる

【取り組み内容】時系列で列挙

通年 学習委員会の運営、学習環境の整備

4月 「四中メソッド」の周知、本年度の学力向上テーマの発表

全国学調の問題分析(学習進路指導部より移管)

単元テストやレポートの作成、取り組み方の交流

6月 公開授業週間

自分を知る

7月 全国学調の結果分析(学習進路指導部より移管)

夏季校内研修・小中合同研修会のとりまとめ

8月 学習委員会との授業づくり交流会

コミュニケーション力

9月 3年チャレンジテストの問題分析(学習進路指導部より移管)

10月 公開授業週間

11月 校内研究授業(3年生)の準備・運営

チャレンジ・行動

3年生チャレンジテストの結果分析(学習進路指導部より移管)

1月 小学生授業体験の依頼・決定(首席との連携)

1,2年生チャレンジテストの問題分析(学習進路指導部より移管)

振り返り・改善

2月 1,2年生チャレンジテストの結果分析(学習進路指導部より移管)

チャレンジ・行動

校内研究授業(1,2年生)の準備・運営

3月 1,2年生チャレンジテストの結果分析(学習進路指導部より移管)

R7年度【 学習進路部 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

・《自分を知る》 ・《自分で決める》

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

- ・自分が将来やりたいことを発見することができる

《自分で決める》

- ・偏差値だけで判断せず、3年間自分がやりたいことをやり続けることができる高校を選択することができる

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	：	・進路指導 ・進路希望調査集約 ・オープンスクールの案内配布 ・進路相談室の開館 ・高校とのやり取り		
4月	：	・全国学力テスト、第1回保護者集会		
5月	：			
6月	：	・進路学習(高校入試について、高校 PR スライド作成、ハイスクールレポート)、 教育相談、第1回進路希望調査	自分を知る	自分で決める
7月	：	・三者懇談、		
8月	：	・第1回実力テスト		
9月	：	・チャレンジテスト、第2回進路希望調査		自分で決める
10月	：	・第2回保護者集会、3年進路学習(公立高校入試について)、教育相談		
11月	：	・第2回実力テスト、3年進路学習(私立高校・公立高校出願について) 第3回進路希望調査		自分で決める
12月	：	・第1回進路検討会、三者懇談		
1月	：	・第3回実力テスト、進路相談、教育相談、私立高校出願、第4回進路希望調査 3年進路学習(面接について)、1年進路学習	自分を知る	自分で決める
2月	：	・第2回進路検討会、面接練習、私立入試、公立特別選抜入試 高専入試	自分を知る	自分で決める
3月	：	第5回進路希望調査、2年進路学習 ・公立一般選抜入試、公立高校二次選抜		自分で決める

R7年度【キャリア教育部】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から

- ・自分を知る
- ・チャレンジ・行動
- ・振り返り・改善
- ・コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分を知る》

- ・学習活動を通して、自分の考えや意見を深め、学ぶことの意義を自覚し、自己の生き方を考えることができる。
- ・人とのかかわりの中で、他者の考えを受け入れながら、客観的に自分を知ることができる。
- ・人と関わること、人と一緒に何かに取り組むことのよさ(豊かさ)を体験し、自らの成長につなげることができる。

《チャレンジ・行動》

- ・一人ひとりの違いを認め合い、子ども同士が関わり合いつなげることができる。
- ・自分の疑問や関心に基づいて、追及したい課題をみつけ、テーマを設定することができる。

《振り返り・改善》

- ・他教科等で培った表現力等を活用したり、中間発表などを行い、他者からのフィードバックをふまえて、より深い学習へとつなげることができる。
- ・キャリアパスポートを活用し、3年間を見通した「幸せに生き合う」取り組みの振り返りを行い、保護者など身近な大人からの思いを受けながら、よりよい生活へとつなぐ。

《コミュニケーション力》

- ・自分の思いをさらけ出していいんだという心理的安全性を構築し、個だけでなく、班・クラス全体でのつながりを意識できる。
- ・自分の思いや考えが正確に伝わるように、相手や場に応じた適切な言葉を使う。班活動など、自分以外の人と関わる中で、互いに気持ちよく意見を言い合える関係づくりを行う。

【取り組み内容】時系列で列挙(表記:最優先つきたい力)

	1年	2年	3年
目標	自分を考える (人間関係づくり、課題対応能力)	仕事と社会問題を考える (自己理解、課題対応能力)	生き方について考える (キャリアプランニング、 課題対応能力)
4月	人間関係作り(心理的安全性) ・あたたかい聴き方 ・声のものさし ・聴く準備 ・自己開示 など	人間関係作り(心理的安全性) ・あたたかい聴き方 ・声のものさし ・聴く準備 ・自己開示 など	人間関係作り(心理的安全性) ・あたたかい聴き方 ・声のものさし ・聴く準備 ・自己開示 など
5月	自分を知る ・自分の好きなこと 校内学習 ・プロジェクトアドベンチャーwith ・クラスレク	校外学習(人権関係)	自分を知る ・価値観、才能マップ作成 修学旅行
6月		校外学習(人権関係)	
7月	学校行事の目標設定(WOOP)	学校行事の目標設定(WOOP) 自分を知る ・自分の強み、価値観 ・自己紹介カード作成 職場体験導入 ・働くとは? ・職業体験先の決定 ・マナー講座	学校行事の目標設定(WOOP)
8月			
9月	人間関係作り(心理的安全性) ・夏休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク	人間関係作り(心理的安全性) ・夏休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク	人間関係作り(心理的安全性) ・夏休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク
10月			
11月	自分を知る ・価値観	職場体験 探究「社会の課題を解決する」	探究「幸せに生き合うための自己の生き方」
12月			
1月	人間関係作り(心理的安全性) ・冬休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク	人間関係作り(心理的安全性) ・冬休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク	人間関係作り(心理的安全性) ・冬休みビンゴ ・サイコロトーク ・クラスレク
2月			・生徒主体での学年レク
3月	小中連携 生徒主体での学年レク	・生徒主体での学年レク	

R7年度【 生徒会 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

6項目すべて

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

- ・自分の得意なことや興味のあることを見つけ、強みを知る。

《自分で決める》

- ・自ら生徒会役員や実行委員、リーダーに立候補する。
- ・自分で課題を見つけ、それに取り組み、その結果に責任を持つ。

《チャレンジ・行動》

- ・はじめてのことでも積極的に取り組む。
- ・見通しを持って物事に取り組む。
- ・様々なことに挑戦する。

《振り返り・改善》

- ・行事やクラスでの取り組みにおいて、より良いものをつくるために話し合いや工夫を重ねる。

《やりぬく》

- ・失敗しても最後まであきらめずに取り組む。

《コミュニケーション力》

- ・仲間と協力しながら取り組む。
- ・思いやりの心をもつ。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	・生徒集会 ・定例委員会… ・ボール貸し出し ・チャリティ活動	自分で決める				
4月	・対面式 ・新入生オリエンテーション… ・クラブ仮入部、本入部、クラブ集会	自分を知る				
6月	・生徒総会…	振り返り・改善				
9月	・文化祭…				やりぬく	自分で決める
10月	・体育祭… ・役員選挙…	コミュニケーション力	チャレンジ・行動		自分を知る	振り返り・改善
1月	・小学生見学会	チャレンジ・行動	自分で決める			

R7年度【 生徒指導部 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

【コミュニケーション力】【やりぬく】【チャレンジ・行動】【振り返り・改善】

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《コミュニケーション力》

- ・自分だけでなく、他者の存在を認め、他者への思いやりを行動や言動で表現できる
- ・他者がどのように思っているか想像し、自分と他者と大切にしようとする行動ができる

《やりぬく》

- ・課せられたことや目の前のやるべきことに対して粘り強く取り組むことができる
- ・集団での生活で、時には自分の意見や考えを周りに対して合わせることができる

《チャレンジ・行動》

- ・困難に直面した際に、どうすれば解決するのか考え、すぐにあきらめず行動に移せる

《振り返り・改善》

- ・常に自分の行動を振り返ることができ、成長に向けた課題を見つけることができる
- ・周りからの言葉を素直に受け止めて、自分自身の成長につなげることができる

【取り組み内容】時系列で列挙

通年	・週に1度の生徒指導部会での【いじめ対策委員会】、【不登校対策委員会】 【虐待対応委員会】 ・SC との窓口 ・関係機関との連携 ・校内教育支援ルームの管理、運営 ・貸し出し品の管理 ・落とし物の管理 ・毎月の出欠状況把握 ・集会での話 ・全体への注意喚起プリントの作成 ・生徒証の管理 ・防災計画 ・緊急時の役割分担 ・いじめ防止基本方針 ・不登校生徒基本方針 ・生徒指導事案発生時の情報共有 & 方針検討 ・校則見直し(ルールメイキング)⇒	チャレンジ・行動	振り返り・改善
		自分で決める	コミュニケーション力
4月	・クラス写真 ・学校生活の決まり ・PTA との交通安全週間(3日間)		
5月	・生活アンケート⇒	自分を知る	・SNS 講演会(1年)⇒ コミュニケーション力
6月	・教育相談⇒	振り返り・改善	・避難訓練(地震火災) ・アセスメントシート
7月	・交通安全教室(1年) ・非行防止教室(2年) ・薬物乱用防止教室(3年) ・夏休みの過ごし方		
8月	・生活アンケート⇒	自分を知る	
9月	・PTA との交通安全週間(3日間)		
10月	・教育相談⇒	振り返り・改善	・性教育(3年)⇒ コミュニケーション力
	・生活アンケート⇒	自分を知る	
11月	・性教育(1, 2年)⇒	自分を知る	
	・不審者対応訓練⇒	チャレンジ・行動	コミュニケーション力
	・アセスメントシート		
12月	・冬休みの過ごし方		
1月	・避難訓練(地震火災) ・新入生保護者説明会		
2月	・生活アンケート⇒	自分を知る	・教育相談⇒ 振り返り・改善
	・アセスメントシート		
3月	・春休みの過ごし方		

R7年度【保健】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】 ・自分を知る ・コミュニケーション力 ・自分で決める

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 ＊無い部分は削除してください

《自分を知る》

心と体の成長に関心を持つ

《自分で決める》

規則正しい生活を送れるように自分で健康管理ができるようになる。

《コミュニケーション力》

人と人との距離間を保ち、自他ともに大切にできる心を育成する。

【取り組み内容】 時系列で列挙

通年	：	・保健委員会・健康相談・救急処置	
4月	：	・健康診断(二測定・聴力・視力・尿・内科検診・心電図) エピペン・バクスミー研修	
5月	：	・健康診断(内科・眼科・歯科・耳鼻科検診)	自分を知る
6月	：	・環境衛生検査(水質検査・ダニ検査)・健康診断事後指導	
7月	：	・薬物乱用防止(3年生)	
8月	：	・秋検尿検査	自分で決める
9月	：	・秋尿検査・健康診断事後指導・水質検査	
10月	：	・性教育	
11月	：	・性教育・モアレ検査	コミュニケーション力
12月	：	・	
1月	：	・	
2月	：	・照度検査、空気検査、総括・次年度健康診断準備	振り返り・改善
3月	：	・	

R7年度【 道徳部 】 教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

・自分を知る ・自分で決める ・コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

・中学生の発達段階に沿って自己肯定感が育まれた状態

第1学年:自己を理解し、自尊感情を育む

第2学年:社会参画の意識と自己有用感を育む

第3学年:誇りと志のある生き方を育む

《自分で決める》

・自分でしっかりと考え、主体的な判断ができる

《コミュニケーション力》

・一人ひとりを尊重し、多様性を認め合う

・共に考え合い、多様な視点を持つようにする

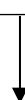
【取り組み内容】 時系列で列挙

通年 : ・担任道徳、ローテーション道徳
4月 : ・クラス開き・支援開き
11月 : ・道徳講演会

自分を知る



自分で決める



コミュニケーション力



R7年度【 環境安全 】 教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

やりぬく・コミュニケーション力・自分で決める

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分で決める》

自ら選んだ委員会活動に積極的に取り組みむ姿。

《やりぬく》

清掃活動にしっかりと取り組み、清掃時間いっぱい掃除をやりぬく姿。

《コミュニケーション力》

自分の清掃場所が終了したら他を手伝ったり、一緒に清掃したりするなかで、会話などのコミュニケーションをとる姿。

【取り組み内容】時系列で列挙

コミュニケーション力

通年	：	・S-EMS ・テニスボール補充・清掃用具点検・補充などの管理・教室整備
4月	：	・入学式準備・机・椅子の入れ替え・補充・清掃分担・清掃用具、カーテン配布
6月	：	・グラウンド周囲溝、校舎周囲の清掃
7月	：	・大掃除、ワックスがけ
8月	：	・保健室カーテンクリーニング
11月	：	・グラウンド周囲溝、校舎周囲の清掃
12月	：	・大掃除、ワックスがけ
1・2月	：	・防災教育
3月	：	・大掃除、ワックスがけ、カーテン回収、カーテンクリーニング、教室整備
	：	来年度使用できる机・椅子の確認

チャレンジ・行動

やりぬく

R7年度【 図書・ICT 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から(複数でも OK)

・自分を知る。

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】 *無い部分は削除してください

《自分を知る》

- ・調べ学習を通して自分の興味・関心に気づくことができる。
- ・小説や伝記等を通して多様な生き方や考え、価値観を知り、自分自身の生き方を考えるきっかけとなる。

《自分で決める》

- ・自ら調べたい、学びたいテーマを考え、どのように調べていくか図書や iPad 等の使い分けができ、自分らしい学びのスタイルを決めることができる。

《チャレンジ・行動》

- ・情報(図書や iPad 等)から取捨選択することができ、探求したいという意思を尊重し、自ら情報をつかみ取り、学びをより一層、深めていく探求心が育つ。

《振り返り・改善》

- ・調べ学習の結果を振り返り、調べた方法や学習の流れが適切であったかを自分の中で振り返ることで、次の学習に繋がる改善点等を見出すことができる。

《やりぬく》

- ・途中で諦めずに最後まで探求していく力を養う。

《コミュニケーション力》

- ・自分で考えたことや調べたことを双方向コミュニケーションを通し、他者の意見や考えを理解し、情報を共有し、自分の考えを深め、説明できる力を養う。(TED やプレゼン力に関連する図書を取り入れる予定)

【取り組み内容】時系列で列挙

1. 年間計画

月	図書館行事	図書館経営	委員会活動
4月	○1年生図書館オリエンテーション ○図書館昼休み	○学校図書館経営方針・目標の作成 ○取組計画・年間計画の作成 ○図書館利用案内発行 ○貸出のための利用者登録 ○朝読書の企画・提案	○前期第1回委員会 ○活動目標、当番決め ○仕事内容と学級文庫の説明 ○当番活動開始
5月			○前期第2回委員会
6月		○2学期ビブリオバトルの企画・提案	○前期第3回委員会
7月・8月	○懇談期間の特別開館実施 ○リサイクル市実施 ○書店巡回展示 ○夏休み前の特別貸出実施	○ブックフェア参加	○前期第4回委員会 ○リサイクル市当番決め ○図書委員ビブリオバトル
9月	○校内ビブリオバトル実施		○前期第5回委員会 ○体育祭の係説明
10月	○読書週間特別貸出実施		○前期第6回委員会 ○前期活動の反省
11月	○調べ学習コンクール出展		○後期第1回委員会 ○活動目標、当番決め ○仕事説明、当番活動開始
12月	○懇談期間の特別開館実施 ○リサイクル市実施 ○3年生希望者に受験お守配布 ○冬休み前の特別貸出実施		○後期第2回委員会 ○リサイクル市当番決め
1月			○後期第3回委員会
2月		○図書館利用状況のまとめ ○総括資料作成	○後期第4回委員会
3月	○未返却図書の督促	○次年度の運営計画 ○年度末未返却図書の督促	○後期第5回委員会 ○後期活動の反省
通年	○季節や行事に関連した特集展示 ○図書館便り、新着図書案内の掲示	○資料選書・発注・除籍 ○修理・寄贈本装備 ○督促 ○図書館便り、新着リストの配信 ○生徒へのレファレンス	○当番活動（貸出返却・館内整理・記録） ○学級文庫の貸出と管理（毎月） ○特集作り（学期ごと） ○図書館便りの記事（学期ごと）

ICT 年間計画					
1学期		2学期		3学期	
	・各種アカウント年度更新 ・1年生 iPad 貸与 ・1年生各種アカウント発行 ・各教室のICT機器の環境整備 ・転任者 iPad 準備 ・図書館利用についてのオリエンテーション ・生徒アンケート実施(市教委) ・教員の新しい iPad 配備 ・教員 iPad の回収 ・生徒の新しい iPad の準備		・文化祭、体育祭の放送機器の点検・準備 ・生徒の新しい iPad の準備及び配布 ・生徒アンケート実施(市教委)		・3年生 iPad 回収 ・3年生 iPad のリセット作業(主に支援員さん) ・1・2年生 iPad 確認 ・教室の ICT 機器チェック ・旧 iPad のチェック ・新1年生の配布用 iPad のチェック
通年	・放送機器の管理 ・ICT 機器の環境整備・管理(教室 ICT 機器・生徒の iPad・Microsoft アカウント等) ・iPad 管理(教員・生徒)、iPad の修理・故障対応 ・ICT 機器の活用方法の研究・実践				

	・校内研修(授業支援ソフト、デジタルシティズンシップ、情報教育、SNS等(適宜)) ・ICT 委員会の運営・補助
--	---

R7年度【 人権教育部 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】上の付けたい力の中から

- ・自分を知る、自分で決める、チャレンジ・行動、コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分を知る》

- ・自分を大切にすることができる生徒。
- ・自分の強みや弱みを理解し、自己認識が高い生徒。
- ・自分の興味や価値観を大切にし、自分らしさを尊重することができる。

《自分で決める》

- ・自分の選択に責任を持ち、決断力がある生徒。
- ・他者の意見や影響を受けつつも、自分の価値観や目標に基づいて選択することができる。
- ・どんな場面においても勇気を持って決断することができる。

《チャレンジ・行動》

- ・差別やいじめを許さない生徒。
- ・積極的な姿勢を持ち、挑戦を楽しむことができる。
- ・正しい知識を学ぶことで、新たな仲間との繋がりを作ることができる。

《コミュニケーション力》

- ・違いを認める豊かな心をもつ生徒。
- ・他者の意見を尊重し、共感をもって接することができる。
- ・状況に応じて適切な言葉を選び、相互理解を深めるコミュニケーションができる。

【取り組み内容】時系列で列挙

通年 :①教職員研修(研修・研究大会など周知)

- ・個別の人権問題について理解する
- ・生徒と結びつけ、全ての指導に活かす

②3年間計画の遂行

- ・個別の人権問題について理解する
- ・個別の人権問題と自らを繋げ、自他を大切にする

自分を知る

自分で決める

チャレンジ・行動

コミュニケーション力

4月 :共生社会学習(全学年)

5月 :ジェンダー学習、LGBTQ→人権講演会(1年)

6月 :在日外国人問題(2年)→コリアタウンへの校外学習、人権講演会(2年)

7月 :平和学習(3年)

8月 :(夏休みの宿題)人権作文(3年)

9月 :多文化共生学習(1年)

10月 :バーンガゲーム(1年)情報教育(2年)

11月 : 部落問題学習(3年)
12月 :
1月 :
2月 : 職業差別(1年)平和学習(2年)
3月 : 夢のオークション(3年)

四 中 人権教育 3年間計画													
		(四中人権強化週間)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 年	障がい者理解	全般～ジェンダー学習			夏休みの宿題		国際理解教育				職業差別		
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	差別と区別の違い ③ちがいのちがいの ④女性差別～セクマイ 校外学習 アライだよ		人権講演会	平和レポート (世界)		文化の違い マイノリティ ⑤バーンガゲーム ⑥日本に住む外国人・ マイクロアグレッション				職業に対する 偏見や差別 ⑦名刺交換ワーク ⑧統一応募用紙 ⑨いのちをいただく		
2 年	障がい者理解	在日外国人問題					情報教育				平和学習		
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	在日コリアン ⑩在日コリアンの歴史 ⑪差別の実態 ⑫闘い方 コリアタウンF#		人権講演会	平和レポート (日本)		生徒指導部とタイアップ うわさ・デマ ⑬二番目の悪者 ⑭伝言実験				沖縄戦について ⑮映画鑑賞 ⑯沖縄戦の歴史		
3 年	障がい者理解	平和学習					部落問題学習						
	支援学級とタイアップ ①支援学級の仲間 ②UD・バリアフリー	修学旅行 平和資料館 ひめゆり資料館 ガマ 聞き取り学習		人権講演会	人権作文		気付く力 どう生きるか ⑰機会の平等と結果の平等 ⑱教科書無償化運動・結婚差別 ⑲水平社宣言				⑳生き方を考える		
教員	全体計画周知				校内研修						ニーズ研修		

①3年間通して、継続的に人権学習を行う。特に四中人権強化週間では、連続した時間を使い、子どもと教員の人権意識を高める。

②ジェンダー、障がい者、部落問題、多文化共生、情報教育、平和の6つの人権課題を3年間を通して必ず学習する。

③3年間計画に沿って、道徳の時間や総合の時間に学習をしていく。

④3年間計画の授業内容は参考なので、本質を逸脱しない限り内容を変更して良い。

⑤人権講演会(聞き取り学習)を各学年で実施する。四中人権強化週間に行うが、学年の実態に沿って時期や回数を増やすことは可能。

例 1年：セクシャルマイノリティの当事者 2年：在日コリアンの当事者 3年：沖縄戦の語り部

⑥人権教育を進めていくにあたって、教員に向けての研修をもつ ニーズがあればその都度研修をもつ

R7年度【 支援教育 】教育計画案

【学校教育目標】

学び合い、つながりあい、幸せな人生にむけて挑戦し続ける生徒の育成

【重点項目】

自分を知る 自分で決める チャレンジ・行動
振り返り・改善 やりぬく コミュニケーション力

【重点項目の力がついた生徒の状態(理想の姿)】

《自分を知る》

- ・自分の得意なこと、苦手なことを理解し、得意なことに目を向けて伸ばす。

《自分で決める》

- ・自分で決めた目標をスモールステップで少しずつ達成できる。
- ・進路について考え、自分で納得のいく進路選択ができる。

《チャレンジ・行動》

- ・時間割や提出物などの予定を自分で把握し、見通しを持って取り組めるようになる。

《振り返り・改善》

- ・自分の言動を客観視し、周りとの適切なコミュニケーションが取れるようになる。

《やりぬく》

- ・失敗しても落ち込んだり、投げ出したりせず、自分ができることを最後まで取り組む。

《コミュニケーション力》

- ・自分が困っていることを周りに自分の言葉で伝えることができる。

【取り組み内容】

通年	・予定把握・持ち物管理のサポート	・合理的配慮の相談、調整。	・出欠確認前・終礼後の個別の指導。
	・課題のサポートと、軽減・代替の相談・調整。		
	・校外学習・文化祭・体育祭などの事前・当日・事後のサポート。	・定期テストの配慮事項の調整。	
	・PEERS(思春期 ASD の子どものためのソーシャルスキルトレーニング)		
	・週二回、グループでの簡単な SST。	・進路先との引継ぎ。	
	・外部機関との連携。(支援学校、放課後デイサービスなど)		
	・小学校への授業見学。(支援・通級生徒対象)	・校区内3小学校との取り組み連携、情報共有	
	・ケース会議		
4月	・入学式前に新生入生との顔合わせ、共生社会学習	自分を知る	コミュニケーション力
5月	・1年生歓迎会	自分で決める	チャレンジ・行動
6月	・小学生の保護者対象の説明会・個別相談	振り返り・改善	
7月	・支援学級、通級指導教室懇談		
8月～11月	・学校行事への参加方法について助言する。	振り返り・改善	コミュニケーション力
12月	・支援学級、通級指導教室懇談		チャレンジ・行動
	・配慮が必要な生徒の情報共有、クリスマス会		
1月	・新生入生保護者へ支援アンケートの実施		
2月	・校区内3小学校の支援担任、通級担当との引継ぎ		
3月	・新生入生の保護者対象の個別相談、3年生を送る会、新2、3年生3学期支援懇談		

振り返り・改善

コミュニケーション力

チャレンジ・行動

やりぬく

<総務部>

目標	つけたい力	方 策
・予算の効果的な編成と執行を行う ・管理職と連携して四中における働き方改革を推進する ・小中連携事務室にて小中学校の事務職員の緊密な連携や情報交換を行う	① 公費の効果的執行を行う ② 学習環境の改善を図る ③ 学校徴収金の透明性と決算書の外部監査に対応する ④ 校務員・学年会計担当者との連携 ⑤ 働き方改革の推進	① 各教科・分掌の教員に昨年度の購入内容や、今年度の授業計画を見通し、予算を立てることができるよう支援する。 ② 学校予算の有効執行により教育条件整備を行う。 ③ 費用等の検討により学校徴収金の透明性を図る。学校徴収金の振替を4回として振替を早期にして、未納を対策する。 ④ 不登校生徒を把握し、教材配布の数量を徹底する。教員からの修繕依頼について、校務員と連携する。

	⑤ 不要物の確認などを行い学校環境を整える。
--	------------------------

全体計画

(昨年度からの変更点) ・学校徴収金の引き落とし日を変更する 17日・27日 → 5日・15日 ・学校徴収金の出金(主に生徒会費)について、出金の頻度を減らし、予算執行を1月までとする
--

	学校予算事務	学校徴収金	三認定・その他	小中一貫
4 月	備品、消耗品の購入希望 購入希望備品の調整 夏用備品〆切 学校予算について提案 枚方市予算説明会 修理箇所点検	教材の選定 行事の予算計画 各教科のフラットファ イルの注文 学校徴収金予算書の作成 各行事見積もり把握	異動、転勤者認定手続き 三手当リーフレット配布 月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	
5 月	予算計画書作成 クラブ備品購入決定 学校予算備品購入決定	学年会計予算書配布	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議 年間計画作成
6 月	夏用備品納品	第1回学校諸費振替 諸費費再振替 2年宿泊行事決算書配布 修学旅行決算書配布	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議
7 月	備品点検	第2回学校諸費振替 諸費再振替 三者懇談(未納徴収、催促) 就学援助金学校長口座入金	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会 ストレスチェック	連携事務室会議
8 月	第1期備品納品		月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	
9 月	第2期備品納品	第3回学校諸費振替 諸費再振替	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議
10 月		第4回学校諸費振替 諸費再振替 校外学習決算書配布	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議
11 月			月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 通勤手当事後確認 総務部会	連携事務室会議
12 月	第3期備品納品 一括購入備品納品 予算流用案作成 教科、分掌購入物品の確認	三者懇談(未納徴収、催促) 就学援助金学校長口座入金	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会 ストレスチェック	連携事務室会議
1 月	消耗品、修繕料使途優先 順位把握	未納徴収	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議
2 月	来年度の計画(必要順 位)クラブ備品、学校備品 決算書作成	生徒会費決算書作成	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	連携事務室会議 入学説明会支援
3月	市費決算書作成	会計監査 学年決算書作成・配布 生徒会決算書配布 就学援助金学校長口座 入金 返金 学校徴収金保護者口座	月末特殊勤務手当・旅行 命令簿〆切 総務部会	小学校からの中学 校への申し送り事 項の確認

四中メソッド

～令和7年度 ver. ～

四中メソッドの目的

四中での授業の「標準的なスタイル」を提示し、生徒にとって安心感のある学びを提供

ユニバーサルデザインの授業づくり

～すべての生徒が、参加しやすい授業づくり～

① 教室・学習環境を整える

- 整理整頓、すっきりと(使用しない教材や授業に関係ないものを置かない)
- 目から・耳から入る刺激を減らす(下記のようなテニスボールの使用)
- プリントは、わかりやすい字体を使用する 例)UDフォント、ゴシック
- レイアウトに気を配る例)行間の幅、板書との対応関係…
- 板書で使う色は2・3色まで。赤・緑・青などは見にくいのでさける。

目 標

ま と め

ふ り 返 り

② 見通しを持てるようにする(授業構成の工夫)

- 生徒全員に本時の目標を明確にし、全員でその目標が共有できるように示す
(各教室及び特別教室にマグネットを貼り付けています。)

※ 目標は、必ずしも授業のはじめに示さなければならない

わけではない。

※ めあての語尾は、「～できる。」や「～わかる。」にする。

- 1時間の授業の流れがわかるように、黒板に示す
- 授業や単元の終わりにまとめ・振り返る機会を設ける
- なるべく毎回の授業の流れをルーティーン化する

今日の内容

- ・前回の復習 …5 分
- ・ペアワーク…10 分
- ・グループワーク…20 分
- ・発表…10 分
- ・まとめ…5 分

※「振り返り」の例

- ①自分で何が分かったか、分からないかを書く。(再確認)
- ②自分で何ができるようになったのか、できていないかを書く。(達成感)
- ③もっと知りたいこと、調べたいこと、疑問思ったことを書く。(見通し)
- ④家庭学習や次時への学習につなげる。(つながり)

※ 逆向き設計の授業計画を意識する。

③ 指示・説明・発問を工夫する

※ 目標は生徒に提示しましょう

- いつでも見て確認できるようにする。
- 抽象語を少なくし、具体的にわかりやすく伝える
- 一度に指示することは一つだけにする。一つの文章を、短めにする
- 肯定的な言い方をする ×「～しません。」 ○「…しましょう。」
- 授業や単元においてどんな力をつけさせたいか、わかるようピクトグラムを活用する

④ 複数の教材や、やり方を用意する

- 口頭で説明するだけでなく、同時に視覚的にも示す
- いろんな方法を提示し、生徒に選ばせる(例:板書のiPadでの撮影)
- 授業内で、生徒に応じた目標・到達地点を認める

⑤ 認め合う学習集団づくりをする

- クラスメイトの意見を尊重する
ただし、発表や意見をただ聴いて終わりにするのではなく、より良くしていこうという姿勢も必要

教室前はすっきりとさせる。ひらひら・きらきらしたものは貼らない。



前に掲示するのは学年目標・学級目標程度に

黒板横は、なるべくすっきりと!掲示する場合は
最小限に、たてよこをそろえる

※ 今年度、付けられそうなら黒板右にカーテンを取り付けたい。



机・イスの脚にテニスボールをはめ消音効果を図る。
集中力もアップ!

※ 劣化したテニスボール等あれば交換してください。(保健室前倉庫)

★ 2025年度の学力向上テーマ

『 Link 6 』（リンク シックス）

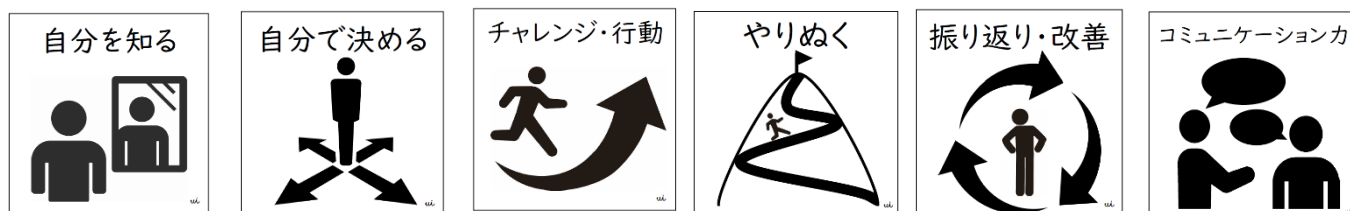
Link とは 名詞: 輪、環、結びつけるもの(人)、連結、絆、つながり、関係、関わり

動詞: 繋ぐ、繋げる、関連づける、結びつける、提携する、接続する

学校教育目標の「学び合い、つながりあい…」から、授業を通して、教材とつながり、教科とつながり、人とつながり、社会とつながり…最終的に6つの力の育成へとつながっていく、そんな授業づくりをすべての教科で意識していきたいという思いからこのテーマとなりました。先生方には、「この授業(単元)ではどんな『つながり』をつくらせ、何に『つなげよう』か。」と考えながら、教科部会を中心に授業づくりを行ってもらいたいと思っています。ご協力をお願いします。

- 6つのピクトグラムを作成し、各教科の授業や行事などで活用してもらえるよう、全教室に設置する。
また、単元計画表などにも入れるなどして、教師自身はもちろん、生徒も意識しながら取り組めるようにする。

★つけさせたい6つの力(授業で使えるよう、各教室に貼りたいです。)



○年間予定

1. 公開授業週間

- ・1, 2の各学期に2週間程度設ける
- ・国社数理体英は各教科内で研究授業&協議を進める
略案を学力向上フォルダ内で保管
音美技家は上のいずれかの教科と合同で行う
- ・参観者は授業交流シートに記入し、授業者と学力向上部に渡す。

2. 2学期研究授業(3年生全クラス)

- ・日程 : 10月29日(水)

※ 5限まで全クラス通常授業、6限3年生のみ研究授業、そのあと研究協議

➡ 学習委員も参加

3. 3学期研究授業(1, 2年生全クラス)

- ・日程 : 1月末の5限(校区内の3小学校にもさんかしてもらう予定)

※ 4限まで全クラス通常授業、5限1, 2年生で研究授業、そのあと研究協議

➡ 1, 2年生の学習委員も参加

4. 学習委員会との取り組み

6, 7月で準備して、8月の学力向上委員会で学習委員会と『学び』についてコラボ予定。

(15)不登校児童・生徒への対応方針

学校対応

連携対応

レベル1 連続欠席が2日、または月間の断続的欠席が3～5日

担任による電話連絡を行います

- 欠席理由
- 医療機関への受診の有無について
- 次の登校時の連絡
- などを行います
- ※欠席理由が不明瞭な場合、家庭訪問等で確認することもあります

* 学級・学年・教科など、校内での情報共通を行います *

- ①学級での様子
- ②人間関係
- ③学習状況の確認
- ④部活動などの様子
- ⑤スクリーニングシート

不登校対策委員会で検討

チェック

保健室への来室状況なども有力な情報になります。

* 生徒指導・学年・委員会・SC・SSW との連携を行います *

レベル2 連続欠席が3日以上、または月間の断続的欠席が6～9日

担任による家庭訪問・電話連絡を行います

- 子どもの表情・様子 □家庭環境
- 子どもの生活リズム □保護者の見立て
- 子どもの友人関係 □登校への意欲レベル
- 子どもと保護者の関係性
- などに注意しながらお子さまの様子を伺います

- ①家庭環境
- ②学校での様子
- ③学習状況
- ④過去の欠席状況
- ⑤支援を要する場合の対応

ケース会議

情報共有した内容は、学校全体で共有します。

* 学校外の組織との連携 *

レベル3 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が取れる状態

① 学校とのつながりを切らない努力をします

- ・電話・タブレットを活用した継続的な連絡、家庭訪問を実施します
- ・行事への参加の仕方も家庭と相談します

② 保護者、本人の意向の確認

- ・学習の仕方の確認(タブレットの活用等)
- ・SC、SSW 等専門家相談へつなぐ
- ・別室対応(校内教育支援ルーム)

個別対応が行えるよう、校内体制の確保を行います

①教育支援センター「ルポ」

- ・学校を通さず直接家庭からの申込もできますが、登室状況はセンターと学校で情報共有を行い、子どもの支援を行います
- 枚方市教育文化センター別館 1F (TEL : 050-7102-3154)
- ・登室・訪問指導

②院内学級

③フリースクールなど

④その他必要に応じてつなぐ関係機関

- ・医療・診療内科（発達課題）・少年サポートセンター（非行）など

* 重大事案を想定した連携する関係機関 *

レベル4 長期欠席（学期内で10日以上、年間30日以上）かつ、家庭と連絡が困難な状態

① SC、SSW 等の専門家を交えたケース会議を行い目的意識を持って組織的に対応します

② 長期的に連絡が取れない場合、学校には公的関係機関への通知や通告義務があることをお伝えさせていただきます

区分	連携する関係諸機関
就学義務違反	教育委員会
虐待	まるっとこどもセンター
非行	少年サポートセンター・スクールサポーター

* 重大事案に発展しないための緊急的な連携 *

レベル5 年間の出席が10日以下かつ、家庭との連絡が困難な状態

電話連絡や家庭訪問を行う中で、学校が家庭へアプローチした記録はすべて残します

また、日々の学校対応を記録しています

- ・電話連絡の際、留守番電話にメッセージを残す。
- ・家庭訪問の際、手紙を投函しておく。など

家庭と連絡が取れない状態、または家庭と連絡が取れても子どもにアプローチができない状態が続く場合には、子どもの命を守ることを最優先に考える対応を行います

①長期的に家庭との連携が取れず、「虐待」の疑いがある場合は、管理職に相談し緊急的に関係諸機関と連携します。

→教育委員会へ通告書の写しを提出

→まるっとこどもセンターまたは中央子ども家庭センターに通告・状況に応じて警察に情報提供

②学校対応について保護者から過度な要求がある場合。

→スクールロイヤーに相談します(教育委員会を通して)

(16)体力向上推進計画

『四中の傾向』

- ①学習面でのプレッシャーが強い家庭が多く、就寝時間が遅くなったり、不規則な食事時間になることが多い。
②運動能力の二極化が目立つ。

生活習慣においては、たとえば、朝食をしっかり摂ると体温上昇反応がよく、午前中から体の活性度が上がり、その結果学校生活にしっかり取り組めるようになる。また、運動で力を出し切ることによって、食欲がわき、心地よい疲れでぐっすり眠ることができる。そのため朝の目覚めが良く、また朝食もしっかりと食べられる。という具合に生活習慣が改善され始める。「食事」「運動」「休養」「勉強」「遊び」はそれぞれが独立しているようであるが、風車のようにつながっている。その中の「運動」について取り上げ下記のように取り組みたい。

目標： 来年度の体力テストで全国平均を 1 つでも多く上回る。

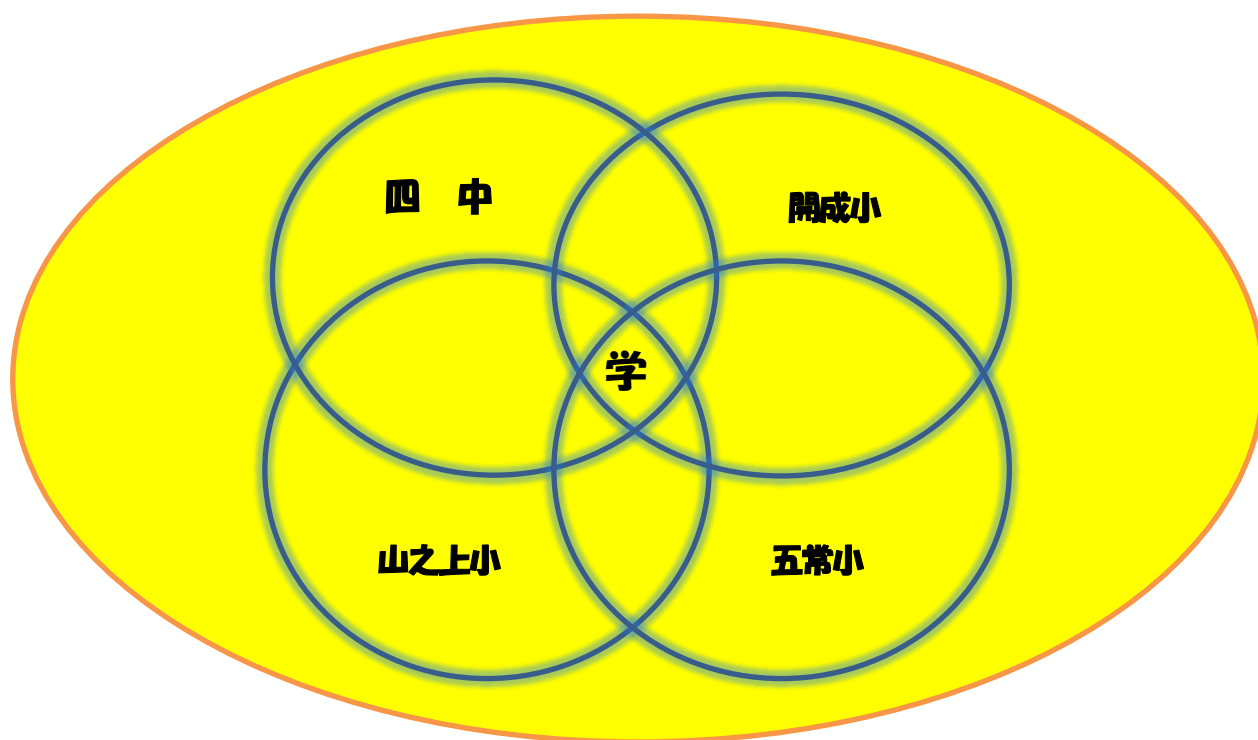
昨年度の課題(第2学年のデータより)

男子	女子
①新体力テストの平均値が良かった種目	①新体力テストの平均値が良かった種目
立ち幅跳び	50m走
ハンドボール投げ	②新体力テストの平均値が低かった種目
20mシャトルラン	立ち幅跳び
50m走	ハンドボール投げ
②新体力テストの平均値が低かった種目	20mシャトルラン
握力	上体起こし
上体起こし	長座体前屈
長座体前屈	反復横とび
反復横とび	握力
③分析	
・全国平均と比較しても、ほぼ同じで良いと思われる。 ・また、バランスもいい。	・全国平均と比較すると、少し低い値である。運動やスポーツをすることが好きかの問いに対しての否定的な数値が高い。
④今後の取り組み	
・授業時の準備体操・補強運動等で、筋力、持久力、敏捷性、柔軟性とバランスよく鍛えられるように工夫する。	・授業時の準備体操・補強運動等で、筋力、持久力、敏捷性、柔軟性とバランスよく鍛えられるように工夫する。

四 中 学 園

めざす子ども像

豊かな人間力と確かな学力を持つ子どもの育成



<本年度の取り組み>

- ◎確かな学びの育成
- ◎自立の力の育成
- ◎小中学校間の円滑な接続
- ◎共同体組織の構築
- ◎特色ある一貫教育の推進
- ◎事務連携の推進

枚方市小中一貫事業 四中学園年間計画

月 日	会議等	行事等
4月		
5月	・推進リーダー会議(オンライン)	
6月	推進リーダー会議(オンライン)	小中合同研修会
7月	・推進リーダー会議(オンライン)	
8月		
9月	推進リーダー会議(オンライン)	
10月	・推進リーダー会議(オンライン)	
11月	・推進リーダー会議(オンライン)	・小中合同研修会
12月	推進リーダー会議(オンライン)	
1月		・体験授業 ・クラブ見学 ・小中合同研修会
2月	・連携リーダー推進会議(オンライン)	
3月		・小中交流会

(18)令和6年度チャレンジテストの結果と分析

【国語科】

漢字などの知識的分野は、大阪府平均と比べても上回っていた。漢字テストの実施など日々の取り組みが結果に繋がっている。

しかし、「我が国の言語文化に関する事項」に関しては大阪府平均を下回っていた。その中でも、書写に関する問での正答率が低くなっていた。そのため、書写の授業も文字を書くだけでなく知識的な授業も取り入れていかなければならない。

【社会科】

記述問題に対する苦手意識はそれほど高くはなく、自分なりに書こうとする習慣がついている。また、知識もかなり定着しており、予習プリントや単元テストで適宜振り返ってきた成果であると考ええる。一方で、資料を読み取ったり、文章を読み取って答えに結びつける問題など、時間を要する問題は簡単にあきらめてしまう(無解答)傾向にある。単元テストや定期テストなどでそういった傾向の問題を出題するなど、粘り強く取り組む力を育んでいきたい。

【数学科】

基本的な知識については定着しており、「学習指導要領の領域別・評価の観点別・問題形式別」の視点からみても大阪府の平均点以上の結果となった。これは普段の授業でのきめ細やかな指導の成果だと考えられる。今後はグループ学習等で生徒同士がつながり、教え合い学び合う環境を作っていきたい。また、思考判断が必要となる問題や、自分の考えを記述する設問もよくできていたため、引き続き日々の授業の中でふり振り返り・改善することを繰り返していきたい。どのような課題であっても粘り強く解決できるような力を授業でつけていきたい。

【理科】

四分野の中では特に地学がよく解けていた。授業では記述を多く取り入れていたため、知識を問われる問題よりも自分の考えを述べる問題のほうが得意のように感じた。計算問題は引き続き課題がみられているため、今後授業でも例題を解く時間を設け、理解を促していきたい。

【英語】

英語の基礎の知識は身につけており、文法問題など全体的によくできていた。授業内でのパターンプラクティスや日々の積み重ねで培った力であると考ええる。一方で思考判断表現を問う問題では、苦手な人が多いように感じた。店員との対話文を考える問題など、無回答が目立っていた。NETとのスピーキングテストやペアとのやり取りで自信を持っている生徒は多いので、それらの力と共にライティングの力を伸ばしていきたい。

(19)令和6年度 学校教育自己診断の分析

1. 生徒アンケートの結果から

質問全般においては、ほとんどの項目で、肯定的な回答①、②が否定的な意見を上回りました。

これも、ひとえに生徒たちの前向きな姿勢とがんばりの成果だと思います。生徒たちに感謝です。ただし、「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。」について肯定的回答が 60%弱であったことに注目が必要です。グループ学習やプレゼンテーションなどアウトプットする機会が増えている影響もあるかと思いますが、教室(授業)が安心安全な場所と感じていない表れと捉えることもできます。凡事徹底「あいさつ」「時間厳守」「聞く姿勢」「環境整備」に取り組んでまいります。また、「学校へ行くのが楽しい。」について肯定的回答が86%を高評価と捉えることなく、14%の生徒がそのように感じていないことや欠席による未回答生徒がいることを踏まえ100%をめざします。同様に、「将来の目標や夢を持っている(考えている)。」について肯定的回答が70%を超えたことを経年で見た場合には思春期の学齢においては高評価とも捉えられますが、この項目についても引き続き100%をめざします。授業者にとって最も重要な項目でもある「授業はわかりやすい。」について肯定的回答が83%についても100%をめざす授業づくりに取り組みます。最後に、「命の大切さや平和の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会が多い。」と「あなたの学級は、授業中間違って笑われない。」の回答に乖離があることは、知識と実践に隔たりがあるものと捉え、引き続き人権教育(人権学習)をベースとした学校づくりに取り組んで参ります。

2. 保護者アンケートの結果から

生徒アンケートと同様、質問全般においてほとんどの項目で、肯定的な回答①、②が否定的な意見を上回りました。誠にありがたいと思うと同時に、今後に向けてより大きな責任を感じ、身の引き締まる思いです。

生徒の「学校に行くのが楽しい。」の肯定的回答の割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が 86.3%(昨年度 87%)だったのに対して、保護者の「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。」は 78.7%(昨年度 82%)、生徒の「授業はわかりやすい。」の肯定的回答が83.0%(昨年度 91%)だったのに対して保護者の「先生は、わかりやすい授業づくりに努力している。」は 82.6%(昨年度 87%)と肯定的な意見が多かったのですが、数値が昨年度より下がっていることや約 15%の生徒が否定的な気持ちであること等を真摯に受け止め、校内の委員会等で詳細な分析をおこないました。特に、「学校と家庭の連携は、適切である。」について肯定的回答が74%であったことを真摯に受け止め、保護者の皆様との協力により一層取り組んで参ります。「学校は、学校通信・学年通信や HP・ブログ等で取組や子どもの様子を発信している」についての肯定的回答が高く、関心を寄せていただいているものと捉えています。課題は、生徒たちの回答と同様に、「家庭学習」についての実態です。「子どもは家で、自分で計画を立てて勉強をしている」についての肯定的回答が49%に留まっています。これは、学習が生徒たち自らの意思ではなく、義務感や「強いられている」とも捉えられます。内発的な動機「知りたい」「やってみたい」を大切にしたい声掛けを家庭と連携して取り組んでまいります。最後になりましたが、お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

<生徒アンケート全結果> (肯定評価①+②) <保護者アンケート全結果> (肯定的評価:①+②)

生徒					保護者						
		①	②	③	④			①	②	③	④
1	学校へ行くのが楽しい。	48.5	37.8	8.9	4.8	1	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	25.9	52.8	16.0	5.3
2	みんなで何かをするのは楽しいと思う。	60.2	32.9	5.3	1.6	2	子どもは、学校の授業に積極的に取り組んでいる。	26.2	54.3	15.6	3.9
3	授業はまじめに取り組んでいる。	45.0	47.7	6.3	1.0	3	子どもは、学校の行事（生徒会行事や宿泊行事など）に積極的に取り組んでいる。	44.0	42.9	9.2	3.9
4	落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。	22.3	36.7	29.9	11.1	4	子どもは、自分の将来に目標や夢を持っている（考えている）。	16.0	41.8	35.5	6.7
5	クラス活動に積極的に取り組んでいる。	50.6	43.3	4.8	1.3	5	子どもは、自分には良いところがあると思っている。	35.1	51.8	12.4	0.7
6	学校の行事（生徒会行事や宿泊行事など）に積極的に取り組んでいる。	60.0	34.2	4.8	1.0	6	子どもは、頭痛や腹痛など、体調不良を訴えることがよくある。	9.3	14.6	39.5	36.7
7	学校の決まりを守っている。	54.6	43.5	1.6	0.3	7	子どもは、イライラすることがよくある。	9.9	26.2	50.4	13.5
8	清掃をまじめに取り組んでいる。	55.1	36.7	7.1	1.1	8	子どもは、家庭で、学校のことを話したり、相談したりすることがある。	32.3	41.5	21.6	4.6
9	将来の目標や夢を持っている（考えている）。	41.2	28.9	21.1	8.8	9	子どもは、家で、自分で計画を立てて勉強（学校の授業の予習、復習（塾の内容を含む））をしている。	14.5	34.8	34.4	16.3
10	将来は人の役に立つ人間になりたいと思う。	58.0	34.8	5.8	1.4	10	先生は、子どもの意見や考えを大切にしている。	13.3	57.9	24.1	4.7
11	自分には、よいところがあると思う。	41.9	41.1	12.1	5.0	11	先生は、分かりやすい授業づくりに努力している。	9.4	60.9	21.7	8.0
12	先生は、困ったときにいつでも相談にのってくれる。（学習でわからないところを教えてくれる）	44.1	43.9	9.2	2.9	12	学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	4.4	47.4	33.6	14.6
13	学校内に自分の本音や悩みを話せる友人がいる。	59.3	27.7	8.4	4.7	13	学校は、生徒指導を適切に行っている。	9.8	58.0	25.0	7.2
14	先生は、自分たちの意見や考えを大切にしてくれる。	48.1	42.0	7.7	2.3	14	学校は、命の大切さ、平和の尊さや人権について、適切な指導を行っている。	20.1	65.1	12.6	2.2
15	授業はわかりやすい。	29.3	53.7	11.3	5.8	15	学校は、防災等、安全対策に配慮している。	16.6	67.5	13.7	2.2
16	先生は、授業をいろいろ工夫している。	41.2	46.5	9.8	2.6	16	学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。	11.9	57.2	28.4	2.5
17	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。	51.8	43.4	4.0	0.8	17	学習評価（個人懇談や通知表など）は、分かりやすい	8.5	58.0	24.9	8.5
18	授業では、ペアやグループで話し合う活動をよく行っている。	72.8	25.4	1.1	0.6	18	学校は、学校通信・学年通信や、ホームページ・ブログ等を通じて、学校の取組や子どもの様子を発信している。	24.9	61.6	11.7	1.8
19	授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	46.3	44.7	7.4	1.6	19	学校と家庭の連携は、適切である。	16.2	57.8	20.6	5.4
20	授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されている。	60.0	35.5	4.0	0.5	20	家庭では、子どもに手伝いをさせている。	22.7	41.1	30.9	5.3
21	授業のさいごに、学習内容を振り返る活動をよく行っている。	41.6	46.5	11.3	0.6	21	子どもはタブレット等のICT機器を活用した授業はわかりやすいと思っている。	17.0	56.3	23.5	3.2
22	タブレットやプロジェクト等を使った授業は、わかりやすい。	50.3	37.5	7.9	4.3	22	家庭でスマートフォン使用のルールを決めている。	27.0	46.5	19.1	7.4
23	命の大切さや平和の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会が多い。	45.5	45.2	8.5	0.8	23	子どもは、スマートフォン等で一日どれくらいの時間ゲームやSNSなどをしますか。	57.9	24.7	10.9	6.5
24	非常災害時の対応（避難訓練等）について学ぶ機会がある。	48.9	41.2	8.7	1.3	※数値は％。 ※選択肢は、「①そう思う」、「②だいたい思う」、「③あまり思わない」、「④思わない」。 ※生徒：「30」と保護者：「23」の選択肢は「①2時間以上」「②1時間以上2時間未満」「③30分以上1時間未満」「④30分未満」。					
25	授業や給食を通して、食の重要性を学ぶ機会がある。	34.7	41.6	17.8	5.8						
26	学習評価（個人懇談や通知表など）は、わかりやすい。	49.6	41.9	5.8	2.7						
27	朝食を食べて登校する。	76.4	15.9	3.5	4.2						
28	家族と話をする機会が多い。	68.8	24.9	5.3	1.0						
29	自分で課題をみつけ、計画を立てて家庭学習（学校の授業の予習・復習（塾の内容を含む））をしている。	36.9	39.4	16.6	7.1						
30	学校の授業時間以外に普段（月～金）どれくらいの時間勉強していますか	41.5	25.4	14.5	18.6		生徒	①	②	③	④
31	家や図書館で、普段の日に読書する	18.6	15.6	21.7	44.1	34	授業では、自分にあった方法や学び方を自分で選ぶことができる時間がある。	36.7	50.6	9.5	3.1
32	家庭での学習（宿題）は授業とつながっていると思う。	95.5	46.6	11.9	6.0	35	授業の中でタブレットを自分の判断で自由に使うことができる。	33.2	26.7	21.7	8.4
33	あなたの学級は、授業中間違ってても笑わない。	29.9	43.7	19.0	7.4	36	課題や問題を解決するために、様々な方法を見つけ、実行することができる。	36.7	50.6	9.5	3.1

(20)令和6年度 学校評価報告書

1. 学校教育目標

校訓:努力・素直・創造「夢を語れる生徒を育成する！」
教育目標:学び合い、つながりあい、幸せな人生に向けて挑戦し続ける生徒の育成
○互いに学びあい、共に成長していく力(学力&非認知能力)
○互いに認めあい、共に生きていく力(人間関係力)
○互いに思いを伝えあい、共に未来を創造していく力(探究力)
めざす学校像:笑顔あふれる学校、学ぶ喜びのある学校、信頼される学校
「学力&非認知能力」の育成 ⇒
・課題解決に主体的に取り組む学校(言語能力などを自覚させ、意識的に育成、ガマンも能力)
「人間関係力」の育成 ⇒
・人(人権)を大切にできる学校(互いに注意ができ、失敗を許せる風土の向上、オリアイをつける)
「探究力」の育成 ⇒
・誇れる地域のオンリーワンの学校(地域課題などホンモノの学び、自ら問いを立てる学び)
めざす生徒像:自分で考え、判断し、行動できる生徒

2. 学校経営方針

適切な人間関係づくりを基盤に、自分の生き方を確立するうえで必要な、確かな学力・豊かな感性・健やかな身体を養い、これからの国際社会を主体的に生きる人間の育成を図るため、学校・家庭・地域の教育力の充実に努め、地域の中の学校として、保護者・市民の信託に応える教育を推進する。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

基本 方策	項 目	・本年度の重点目標	○具体的な取組内容 (◆活動指標・成果指標を含める)	□取組内容の自己評価
確かな学力と自立の力を育む教育の充実	学習指導	・インクルーシブ教育の推進 ・学力低位層の生徒等への手立て ・授業スキルの向上 ・主体的な態度の醸成	○支援教育 Co と通級担当を中心に、配慮を要する生徒への理解や手立てを学校全体のものにする。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「ともに学び…」の肯定的回答を 100%にする。 ○学力向上部(学力向上委員会)を経て、教科部会内で研究テーマに則した討論が活発に行われる。 ◆単元テストや定期テストで3割未満の生徒を0にする。 ○学力向上部(学力向上員会)が調整を図り、全教員が授業公開(方法の工夫)を実施し、発表し、共有する。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「教員間で授業方法等…」の肯定的回答が 90%を上回る。 ○学力向上部(学力向上員会)が学習委員会を支援し、授業公開の内容を題材に交流を図っていく。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「…家庭学習をしている。」の肯定的回答が 80%を上回る。	○学校教育自己診断の教員質問「『ともに学び、ともに育つ』の特別支援の視点を意識して学級づくりをしている。」の肯定的回答 84%(79%↑R5)。 ○2学期末の定期テスト(5教科)において、3割未満の生徒は全体の 9.8%(9.5%↓R5)。 ○学校教育自己診断の教員質問「教員間で授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。」の肯定的回答は68%(63%↑R5)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「自分で課題をみつけ、計画を立てて家庭学習(学校の授業の予習・復習(塾の内容を含む))をしている。」の肯定的回答は 76%(76%→R5)
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	人権教育	・人権教育の充実 ・非認知能力の育成 ・人間関係力の向上 ・総合的な学習の時間の充実 ・主体的な態度の醸成	○人権教育部を中心に人権学習を系統的に実施し「人を大切にする学校」を学校全体のものにする。 ◆学校教育自己診断の教員質問で「人権尊重…」の肯定的回答を 100%にする。 ○分掌、学年、教科等、全教員が非認知能力を高めることを自分の言葉で発信し、非認知能力向上実践に取り組む。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「将来の夢や目標…」の肯定的回答が 80%を上回る。 ○人権キャリア主担や学年主任を中心に企画立案したものを各担任(教科担任も)等が授業や HR など実践する。 ◆学校教育自己診断の生徒質問で「自分には良いところがある」の肯定的回答が 90%を上回る。 ○キャリア教育部や学年で実践し、年間計画をブラッシュアップする。教科担任が授業で「探究活動」を実践する。 ◆教員質問で「総合的な…、系統的なキャリア教育…」の肯定的回答が 80%を上回る。 ○生徒総会の実施、生徒会行事の実践など、生徒会担当教員が生徒会本部などを支援し、実践する。 ◆教員質問で「生徒会行事を…、生徒会活動…」の肯定的回答が 80%を上回る。	○学校教育自己診断の生徒質問「命の大切さや平和の尊さ、人権や社会のルールについて学ぶ機会が多い。」の肯定的回答は 91%(91%↑R5)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「将来の目標や夢を持っている(考えている)。」の肯定的回答は70%(75%↓R5)。 ○学校教育自己診断の生徒質問「自分には良いところがある。」の肯定的回答は83%(81%↑R5)。 ○学校教育自己診断の教員質問「生徒が豊かな勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。」の肯定的回答は 83%(68%↑R5)。 ○学校教育自己診断の教員質問「生徒会活動において、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。」の肯定的回答は81%(56%↑R5)。

指導力の向上	教職員の資質と人材育成	・自走する教職員集団づくり ・校内研修の充実 ・OJTチームの体制構築と機能充実	○業務改善を校務分掌に位置付け、昨年度の経験をいかして取組を進める。 ◆教員質問で「業務の在り方について話し合う…」の肯定的回答が 80%を上回る。 ○月一回午後カットの活用も踏まえて悉皆研修の参加徹底を図る。自主研修は初任期教員以外の参加者も増えるように内容精選を図る。 ◆教員質問で「分掌間の連携が…、気軽に話し合える…」の肯定的回答が 80%を上回る。 ○初任期 Co を中心とした育成タイムを導入する。昨年度途中より導入したメンター制も徐々に実施していく。 ◆メンタル疾患に伴う病欠休暇の教職員を出さない。	○学校教育自己診断の教員質問「学校は、教職員間で業務の在り方、見通しについて話し合う機会を設け、その話し合いも参考にしながら、業務の在り方の適正化を図っている。」の肯定的回答は45%(69%↓R5)。 ○学校教育自己診断の教員質問「各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。」の肯定的回答は58%(63%↓R5)。 ○学期内に復帰することはできたが、年度途中、メンタル疾患に伴う病休者を1名発生させてしまった。
		・成長を促す生徒指導の実践 ・生徒指導体制の確立 ・不登校生徒への手立て ・安全教育の推進 ・進路指導の充実	○生徒指導部が生徒総会で上がった要望を積極的にとりあげ、生徒(定例委員会)とともに実現に向けて取組む。 ◆生徒質問で「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。」の肯定的回答が 90%を上回る。 ○生指主事が調整役となり、学年主任や学年生指の指揮のもとで、学年組織による様々な対応を実践する。 ◆教員質問で「問題行動が起こったとき…、早期指導に…」の肯定的回答が 90%を上回る。 ○遅刻・欠席・早退者への家庭連絡徹底。不登校生徒の担任外の実施する。 ◆不登校生徒数の出現率を対前年度比で 80%以下とする。 ○より実践的な避難訓練とともに、保健委員や美化委員とともに校内清掃や危険箇所点検を実施する。 ◆教員質問で「学校は清掃がいきとどいている」の肯定的回答が 80%を上回る。 ○学力向上や人権キャリア等で育んだ力を基盤に、進路指導主事を中心とした進路学習を学校全体のものにする。 ◆学校教育自己診断の保護者質問で「将来の進路や…」の肯定的回答が 90%を上回る。	○学校教育自己診断の教員質問「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる。」の肯定的回答は74%(71%↑R5)。 ○学校教育自己診断の教員質問「生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。」の肯定的回答は76%(84%↓R5)。 ○不登校生徒数の出現率は対前年度比で 75%(出現率0.0401[R6], 0.0534[R5])。 ○学校教育自己診断の教員質問「学校の清掃はいきとどいている。」の肯定的回答は21%(16%↑R5)。 ○学校教育自己診断の保護者質問「学校は、将来の進路や職業などについて、適切な指導を行っている。」の肯定的回答は69%(77%↓R5)。

4. 学校教育自己診断の実施状況

学校教育自己診断の結果と分析	
①実施時期[令和6年12月] ②対象[生徒・保護者・教職員] ③結果から特記すべき事項と分析 学校だより掲載文書「アンケート」は、生徒は 36項目、保護者は 23 項目にも及びました。その中で生徒の「学校に行くのが楽しい。」の肯定的回答の割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が 86.3%(昨年度 87%)だったのに対して、保護者の「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。」は 78.7%(昨年度 82%)、生徒の「授業はわかりやすい。」の肯定的回答が 83.0%(昨年度 91%)だったのに対して保護者の「先生は、わかりやすい授業づくりに努力している。」は 82.6%(昨年度 87%)と肯定的な意見が多かったのですが、数値が昨年度より下がっていることや約 15%の生徒が否定的な気持ちであること等を真摯に受け止め、校内の委員会等で詳細な分析をおこなってまいります。分析結果は今年度の学校評価に活用するとともに、次年度の学校運営の参考とさせていただきます。』	

5. 学校評議員制度及び学校関係者評価委員会、学校運営協議会等の運用状況

学校評議員及び保護者、学校運営協議会委員からの意見内容等
<日時 令和7年3月8日> ☒ 協議会形式 ☐ 個別 ○氏名 大川 尚子 氏(京都女子大学教授) 小林 一郎 氏(元 PTA 会長・元地域教育協議会会長) 安東 政子 氏(地域住民) 中川 るみ 氏(大阪地方検察庁再犯防止対策室・社会福祉士・保護司) 嶋田 慎司(校長)・中村 拓実(教頭) ○意見(協議)を求めた事項 ・令和6年度の取組(修学旅行、生徒会行事、部活動等)について ・学校教育自己診断の結果について ・令和7年度学校経営方針(案)について ○意見の概要 ・各委員より今年度の取組について賛意および評価を受けた。 ・令和7年度の経営方針案に対しても、それぞれの立場からいただいた多角的な意見が取組の裏付けになること、また、後押しとなる賛同を得ることができた。 ・引き続き、家庭、地域との連携を強化するよう助言をいただいた。

6. 次年度に向けて

項目	・内容	○改善方策
全体	○令和6年度の現状 ・全体的に日々の授業や学校行事に向かう生徒の取り組む姿勢は良い ・個別の生徒指導対応に翻弄されている ・保護者対応(過保護・過干渉)に苦慮している ・関係機関(警察、子家セン、まるっと等)との連携が多い ・教職員の長時間勤務者(疲労感・負担感)が多い	○学校教育目標・めざす生徒像・つけたい力を全教職員で的一致をめざす ・次年度の取組の柱を「校内研究(＝授業で生徒を育てる)」として再認識 ※全ての生徒が主体的になる授業(○やってみたい、×ねばならない) ⇒支援在籍生徒(特別支援含む)、不登校生徒、学力低位層の生徒も！ ・毅然とした生徒指導＆保護者対応(ほめる＆しかる、保護者にも求める) ・服務管理と労務管理の徹底(より厳しく、より豊かな人生をめざして)
学習面	○誰一人おいていかない学びの実現 ・授業の改革 ・総合的な学習の時間の充実 ○探究的な学びの創造 ・自学自習力の育成	○学力低位層、要支援、不登校、外国籍生徒への支援 ・共同学習、遠隔地学習、反転学習、教科間コラボ ・市役所・市教委や企業の専門家とのコラボなど
生徒指導	○安心して過ごすことのできる居場所の確立 ・凡事徹底「あいさつ・聞く姿勢・時間厳守・環境整備」 ・学級活動、学年活動、異学年活動の充実 ・生徒会活動の活性化	・SSTの実施や小中交流の実施など ・生徒主体の運営や生徒発案の取組の実施など
学校体制	○自走する組織の構築 ・組織的な生徒指導、学習指導のための分掌組織の見直し ・校内研修体制の見直し	・分掌組織の再編(追加・統合等) ・校内研修組織の再編

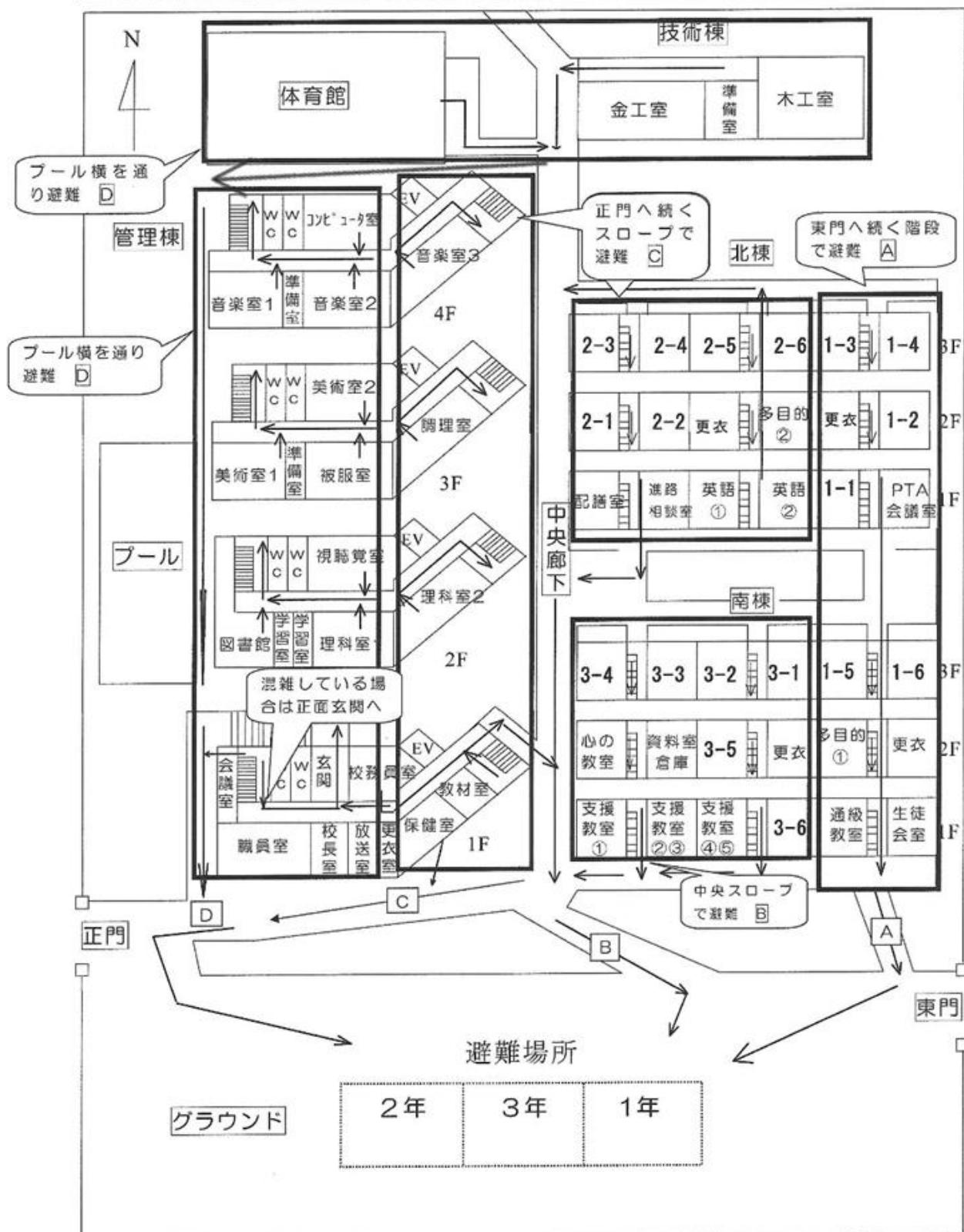
■添付資料■

- ①学校評価結果の公表資料(保護者や地域住民等に公表した学校だより等)
- ②職員会議、校内研修会等、職員を対象に作成した資料
- ③その他、必要と思われる資料

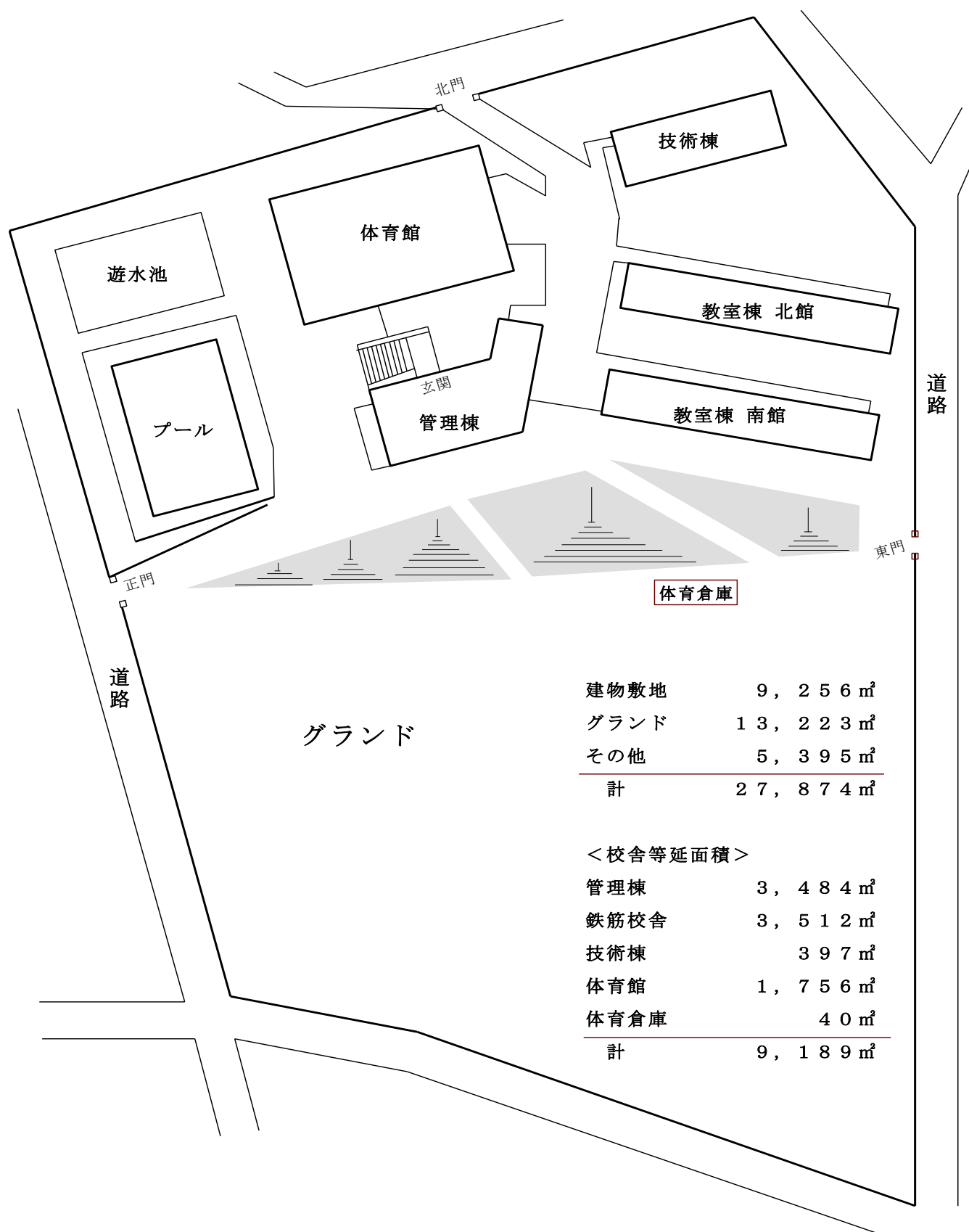
3. 施設配置・防災計画等

(1) 教室配置図及び避難経路

令和7年度 避難経路図



(2)校地・校舎配置図

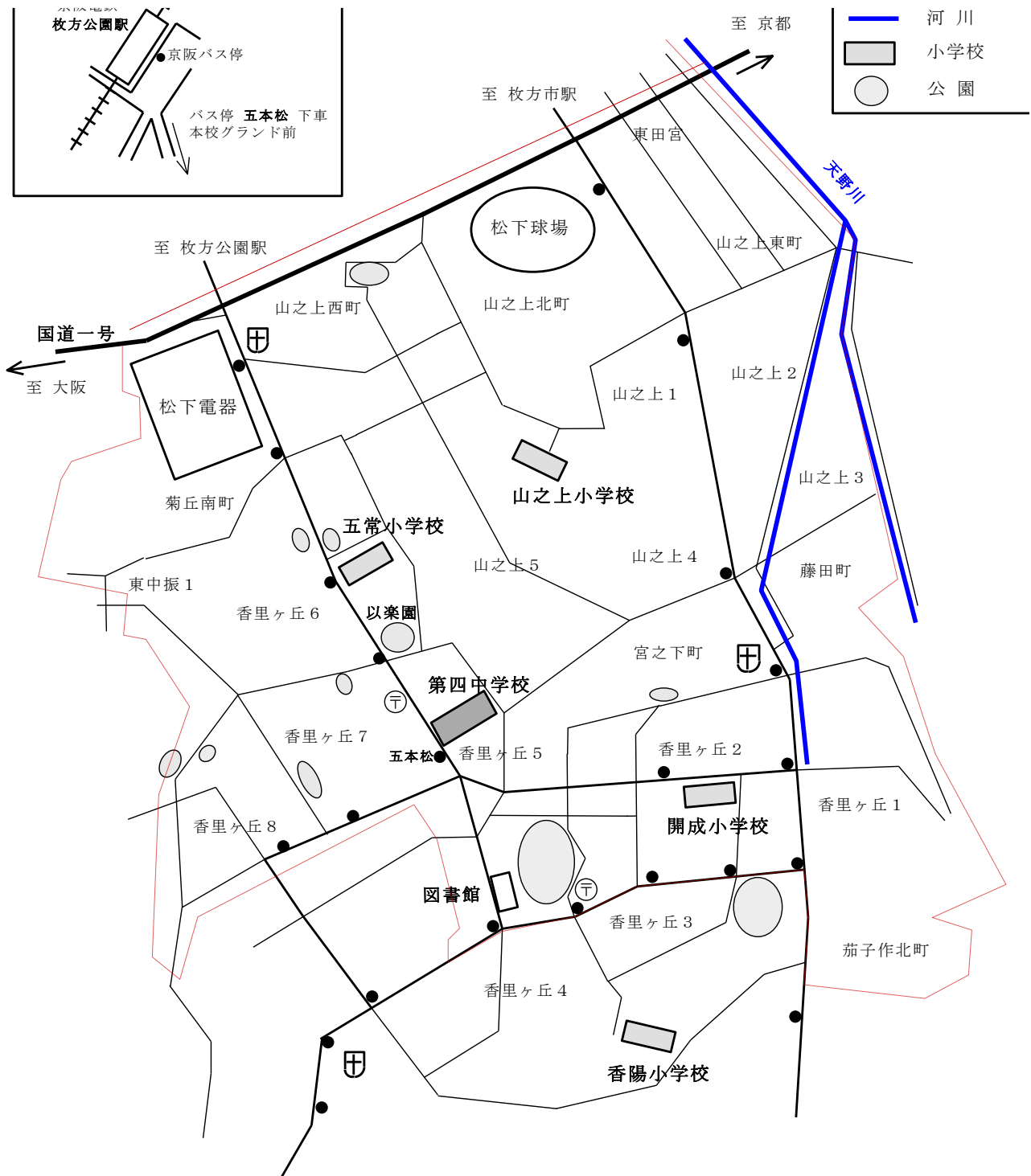


建物敷地	9, 256 m ²
グラウンド	13, 223 m ²
その他	5, 395 m ²
計	27, 874 m ²

<校舎等延面積>

管理棟	3, 484 m ²
鉄筋校舎	3, 512 m ²
技術棟	397 m ²
体育館	1, 756 m ²
体育倉庫	40 m ²
計	9, 189 m ²

(3)校区地図



(4)いじめ未然防止計画

○構成員

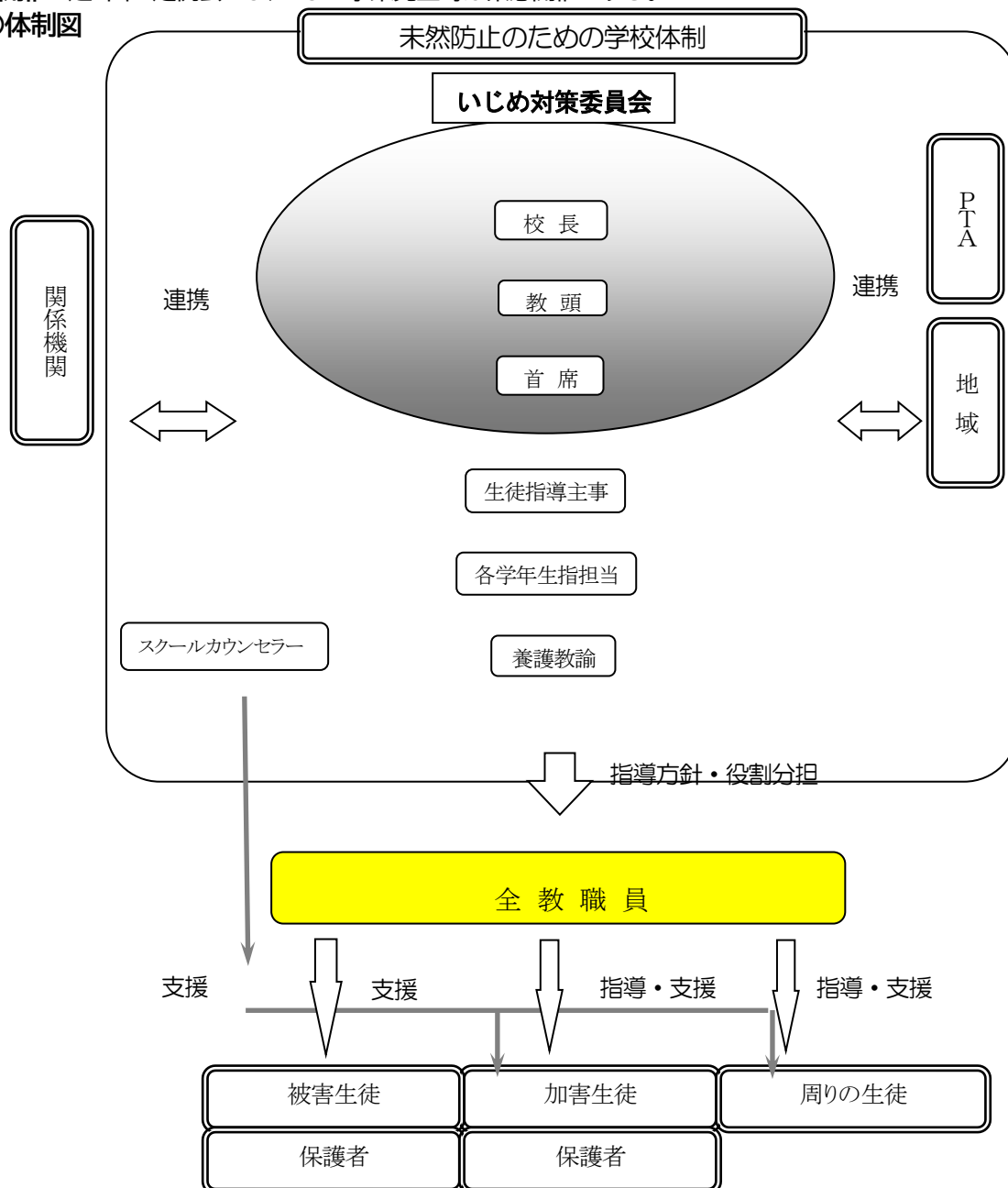
校長、教頭、首席、指導教諭、支援コーディネーター、生徒指導主事、各学年生徒指導担当者、養護教諭

○主な活動

- ① いじめの早期発見に関すること
(いじめアンケート、取組評価アンケート、教育相談等)
- ② いじめ防止に関すること
- ③ いじめ事案に対する対応に関すること
- ④ いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめ問題に関する生徒の理解を深めること

○開催 週1回を定例会とし、いじめ事案発生時は緊急開催とする。

○体制図



○緊急対応

いじめ事案発生時には、必要に応じて「いじめ対策委員会」の構成員に次のメンバーを加えて、その対応にあたる。
学年主任、関係教員、支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー、その他関係諸機関等の専門家

○年間計画

	1 年	2 年	3 年	教職員・PTA等
4				状況報告
5	生活アンケート	生活アンケート	保護者集会 生活アンケート	状況報告 アンケート分析
6	教育相談 SNS 講演会	教育相談	教育相談	
7	交通安全教室 期末懇談	非行防止教室 期末懇談	薬物乱用防止教室 期末懇談	状況報告
8	生活アンケート	生活アンケート	生活アンケート	
9				状況報告 アンケート分析
10	生活アンケート 教育相談	生活アンケート 教育相談	生活アンケート 教育相談	状況報告
11	人権講演会	人権講演会	人権講演会	状況報告
12	期末懇談	期末懇談	期末懇談	状況報告
1	生活アンケート	生活アンケート	生活アンケート	状況報告
2	教育相談	教育相談	教育相談	アンケート分析 状況報告
3				年間総括 「いじめ防止基本方針」見直し

(5)防災計画

<目 的>

この計画は火災、風水害、その他突発的な災害発生時において、生徒の安全確保を第一の目的として、更に公共物や諸帳簿等をこれらの災害から保全することを目的とする。

<方 針>

防災計画にしたがって、日常における災害予防措置及び災害時の安全保護に重点を置く。

<火災予防対策>

A 環境の整備及び改善

①危険物の適正管理

- ・電源回路の保全 ・ガス元栓の確認 ・薬品の適正管理
- ・喫煙場所の安全確認

②消火器の適正配置と定期点検及び消火栓の定期点検

- ・消防設備の配置図を職員室に明示し、器具は緊急時に使用できる状況にする。

③非常持出し諸帳簿の整理と適正保管

- ・諸帳簿は校長室の非常持出しロッカーに保管する。

④廊下及びその他の通路の整備

- ・定期的な非常出口の確保、物品等の整理を行う。

B 防火管理者及び宿日直代行員による校内巡視

C 定期的な総合防災訓練の実施

<防災管理組織>

管理権限者

鴨田

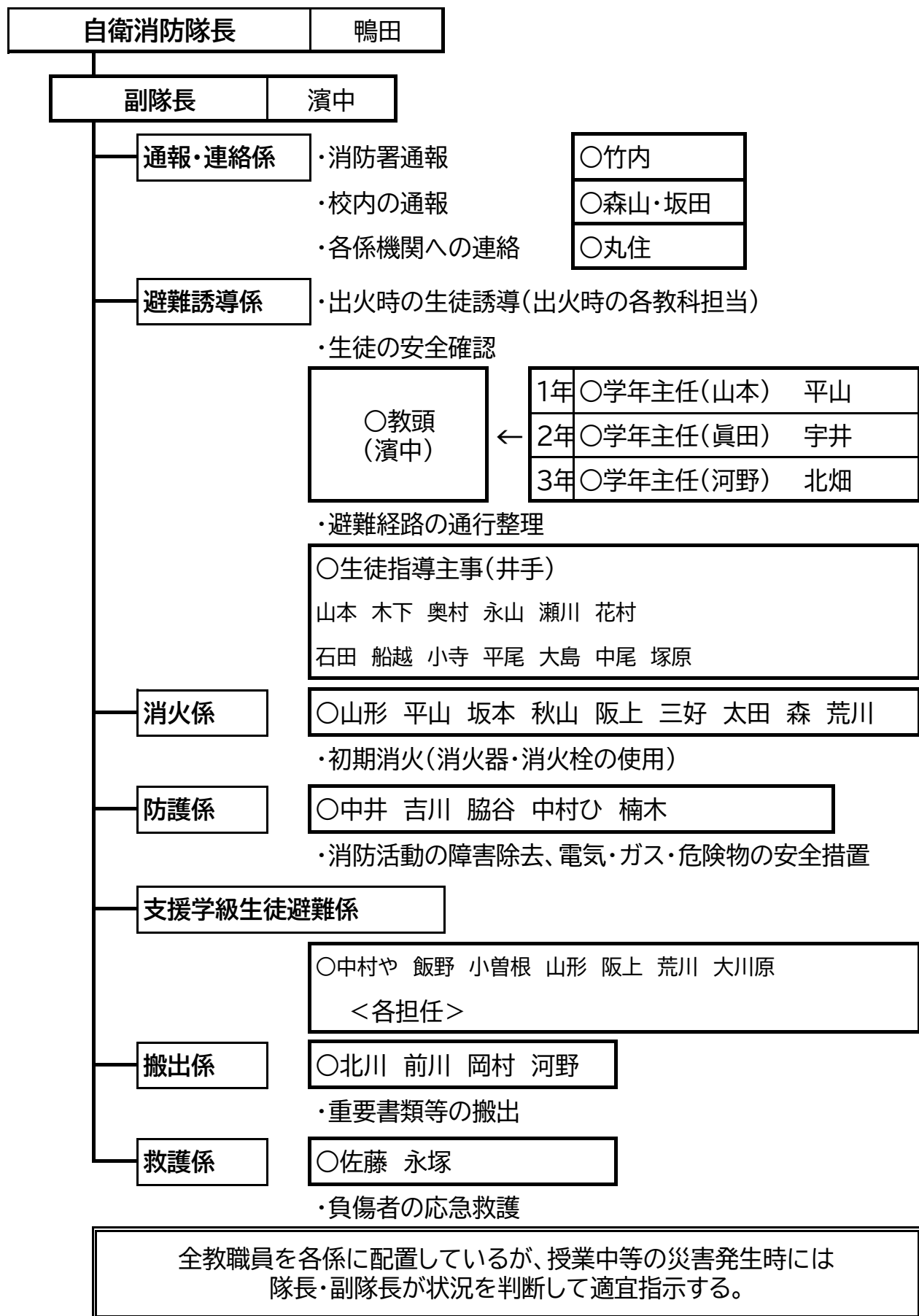
防火管理者

濱中

消火用設備等の点検	竹内・丸住・坂本
危険物、可燃物、薬品等の点検	濱中・永山・井川・中井・塚原・岡村
火気使用設備の点検	井手・石田・瀬川・山本
各室火元責任者	

施設名	責任者	施設名	責任者
校長室	鴨田	視聴覚室	石田
職員室	濱中	教材室	竹内
校務員室・宿直室・作業室	森山・坂田	保健室	佐藤・永塚
音楽室・同準備室	宇井	パソコン室	井川
美術室・同準備室	船越・前川	図書室・閲覧室	岡村・花村
理科室・同準備室	中井・井川	体育館・同倉庫	太田
金工室・木工室・同準備室	三好	プール機械室	奥村・吉川
被服室・調理室・同準備室	小山	会議室	松野
男子更衣室	瀬川	支援教室1	大川原
女子更衣室	奥村	支援教室2・3	中村や
印刷室	丸住	支援教室3・4	飯野
心の教室	井手	支援教室5・6	小曾根
クラブ室	各クラブ顧問	生徒会室	山形
放送室	河野	普通教室	各担任

< 自衛消防組織 >



< 広域避難場所 >

広域避難場所は、枚方市立五常小学校とする。

各係は○印の指示に従って行動する。

(6)水泳指導時の緊急対応等

＜プールの管理及び使用に関する規則＞

第1条(目的) この規則は、枚方市立第四中学校プール(以下「プール」という。)の管理及び使用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2条(使用期間等)

- 1 プールの使用期間は、水泳部・体育科で判断するが、おおむね毎年5月中旬に開設し、9月中旬に閉鎖するものとする。ただし、枚方市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要と認めたときは、これを変更することができる。
- 2 プールの使用時間は、原則として午前8時30分から午後5時30分までとする。

第3条(維持管理) 校長は、プールを円滑に運営させるため、濾過器の定期的な点検をし、水質管理に努めるなど、適正な維持管理に努めなければならない。

第4条(換水) プールの換水は、事前に委員会に指示された日とする。臨時で給水をしなければならないときは、委員会の承認を得るものとする。排水(水の無い期間)については、枚方消防署に届けるものとする。

第5条(常備品) プールには、管理日誌を置き、必要事項を毎日記入しなければならない。

第6条(使用者) プールを使用できる者は、次のものとする。

- (1) 枚方市立第四中学校生徒と中体連等の大会記録会に参画する生徒並びに指導監督者
- (2) 委員会主催による研修会等の参加者及び指導者
- (3) 枚方市教育委員会所管に係る財産および公の施設使用規則に基づく、市内の社会教育関係団体で、校長の承諾を得て、委員会が許可したもの

第7条(使用責任者) プールの使用責任者は、前条各号に規定する者のうち、指導又は監督的立場にあるものとする。

第8条(プールの使用)

- 1 プールの使用に際しては、校長の指示に従わなければならない。
- 2 使用責任者は、プールの使用が終わったときは、管理日誌に必要事項を記載し、その使用状況を校長に報告しなければならない。

プール使用に関する規則について(使用管理マニュアル)

1. 生徒の安全管理について

生徒の健康状態を常に把握すること…水泳は、水という環境の中で全身を使い、水温、気温の影響を受けながら展開される運動であるので、生徒の健康状態によっては事故につながりやすいことに留意すること。

指導監督者… ①生徒の健康状態等を水泳の授業を実施するにあたり、養護教諭、担任から情報の収集に努める。
②使用中に体調の不良を訴えた生徒がいた場合は、養護教諭に伝えとともに担任にも伝え、様子を見る。

養護教諭、担任 ・①プールの使用にあたり配慮を要する生徒の状況等を指導監督者に連絡しておく。
②指導監督者から体調不良を訴えた生徒の連絡を受けた場合は、経過観察をするとともに、保護者に連絡を取り適切に対処する。

2. 施設・設備について

排水溝・・・① プールの使用前には、排水溝の蓋がねじ等でしっかり固定されていることを目視だけでなく触診して確認する。

② 排水溝の吸い込み防止金具がしっかり設置されていることを確認する。

③ ①と②に異常がある場合は、プールの使用を中止し補修に努める。

プールサイド・・・① 使用開始前には、周辺の整理整頓をする。

② 補修の必要な箇所を発見した場合は、早急の修理に努める。生徒や他の教員に注意喚起する。

浄化装置・・・① プールの使用前には、適切に動いていることを確認する。

② プールに関わるすべての教員に適切な操作が出来るよう努める。

水質管理・・・① 常に水質(水温・塩素濃度・濁度・浮遊物)に注意をし、管理日誌に記入をする。

3. 水泳指導について

① 水温と気温・・・プールの使用にあたり、水温・気温・日照に注意を払い、生徒の健康状態を把握しながら行うこと。

② 準備体操・・・プールの使用する生徒には、十分な準備体操、シャワー等での体の清潔を保たせる。

③ 人員点呼・・・人員点呼は生徒の安全を確認する上での基本と考え、プールの使用前と終了後は必ず行うこと。

④ 入水時間と休憩・・・生徒の健康状態と水温・気温とを考慮し、入水時間と休憩時間を適切に取ること。

⑤ 監視・・・プールの使用中は、常に監視をし、異常があれば直ちに全員を水から上げ、適切に対処するとともに、応援を求める。

4. 救助方法と応急手当

① プール使用に関わる教員だけでなく教員は救命講習の受講に努める。

② プールの使用に関わる教員は、AEDの設置場所と使用方法を知り、緊急時に使えるように努める。

この規則は、平成18年4月1日から施行する

プール日常点検リスト

○ 異常なし 点検修理 △ 修理依頼 ×
年 月 日()

1	出入り口は施錠され、プール内に異常はないか。	
2	管理室は施錠され、薬品類が適切に保管されているか。	
3	シャワー、洗眼用蛇口は破損していないか。	
4	プールサイドは整理整頓されているか。	
5	プール水槽に異物、危険物が混入していないか。	
6	排水溝のふたは固定され、吸い込み金具が取り付けられているか。	
7	浄化装置は正常に動いているか。	
8	水質水量は適切に管理されているか。	
9	生徒の健康状態は把握できているか。	
10	人員点呼を行ったか。	
11	管理日誌に必要事項を書き入れたか	

(7)生徒の安全確保及び安全管理

<日常の危機管理>

(1)教職員の共通理解と校内体制

- ① 毎日不審者情報を確認し、発生事象を職員打合せで周知徹底するとともに、各学級担任が 生徒への注意喚起を行う。
- ② 毎週1回の生徒指導部会で校区内外の情報交換を行い、各学年の教職員に周知するとともに、迅速に行動できる履き物の着用等、安全管理の意識向上を図る。また緊急時の役割分担を周知徹底し、生徒の安全確保と関係機関や近隣学校園等への連絡体制に万全を期す。
- ③ 「子ども安全確保推進月間」等に、不審者対応時の訓練を実施する。

(2)来訪者の確認

- ① 東門は登校時以外は施錠する。また通常の出入りは正門のみとするが登下校後は閉門する。
- ② 生徒指導部を中心に日常的な校内巡視を行い、来訪者には挨拶や声かけを励行して来訪の用件を確認する。
- ③ PTA関係者には名札(入校証ホルダー)を配布して識別可能とする。また参観日等で多数の保護者が来訪する場合は、案内プリントに名札の着用を依頼し、また正門付近に受付を設けて確認する。

<緊急時の安全確保>

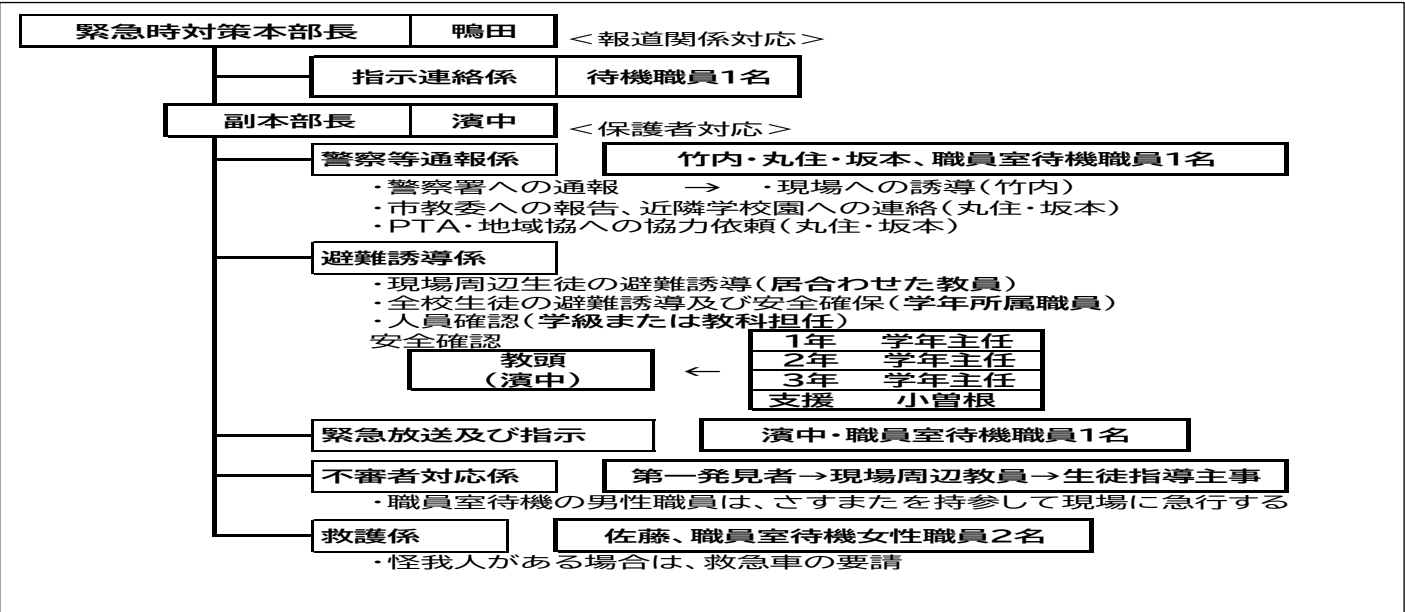
(1)学校周辺で不審者情報がある場合の対応

- ① 情報の出所や関連情報を正確に把握して警察に通報するとともに、市教育委員会にも報告する。
- ② 教職員を招集して情報を周知し、各学級で生徒に注意喚起と、万一の場合の対処方法を指導する。
- ③ 放課後は複数下校の体制をとり、必要な場合は教職員が付き添って下校させる。
- ④ 保護者宛に安全確保に関する注意喚起の文書を配布する。
- ⑤ 緊急の対策が必要な場合は市教育委員会の指導・助言を受けて、学校待機や教職員の引率による集団登下校を行う。
- ⑥ PTAに学校の対応策を連絡し、登下校の安全確保に協力を要請する。
- ⑦ 近隣学校園及び地域教育協議会とも情報を提供しあうとともに、生徒の安全確保のための協力体制を協議する。
- ⑧ 状況により必要な場合は、始業前や放課後に教職員または教職員とPTAの協力で学校 周辺の巡回を行う。

(2)学校に不審者が侵入するなど緊急時の体制

- ① 不審者を発見者した教職員は直ちに職員室に通報する。不審者が凶器等を持参している場合は、「緊急時の役割分担」によって行動する。ただし、発見者が不審者との対応で即座に通報できない場合は防犯ブザーや非常ベル、大声等で近くの教職員に緊急事態発生を知らせる。
- ② 「警察通報係」は、正門で待機し、警察を現場に誘導する。
- ③ 「避難誘導係」は、先ず現場付近の生徒を安全な場所に避難させる。
(ア)「不審者対応係」は、さすまたや周辺の器物等を利用して危険を防御するとともに、不審者による生徒への危害が及ばないように努める。
- ④ 「緊急放送・指示係」は、全校生徒の安全確保の指示を行う。
- ① 「救護係」は、怪我人がある場合の救護にあたり必要に応じて救急車を要請する。

<緊急時の役割分担>



※ 状況により校長の指示で役割分担など臨機応変に対応する

<施設・設備・教具等の安全点検>

- ①毎月、定期的に安全点検を実施し、教科・分掌等で破損・腐食等の有無を確認する。
- ②安全性に問題があると判断した場合は、速やかに使用を停止し、生徒への注意喚起と 改善の措置を行う。

(8)沿革の概要

- 昭和36年4月 1日 大阪府枚方市立第四中学校創立。
校舎未完成のため枚方市茄子作、川越小学校跡を仮校舎として発足。
- 昭和36年4月 2日 第1回入学式挙行 新入生539名。
枚方小学校区、枚方第二小学校区、開成小学校区、香里小学校区の香里団地地区を第四中学校区とする。
同日、第一中学校に通学する第2学年の内、枚方小学校区、枚方第二小学校区、開成小学校区の内、茄子作、村野、山之上地区の生徒320名を収容。
- 昭和36年 6月10日 枚方市香里ヶ丘5丁目233番地の1に新校舎完成、同日移転、
1期工事普通教室鉄筋3階建18教室、仮管理棟木造平屋建90坪。
- 昭和36年 6月11日 新校舎で授業開始。
- 昭和37年 4月 1日 第2期工事の内、体育館完成。
- 昭和37年 4月 2日 第2回入学式挙行 新入生484名。
- 昭和37年 4月 8日 第2期工事の内、南館12教室完成。
- 昭和37年 6月26日 第3期工事、管理棟、特別教室完成。
- 昭和37年 7月14日 市教育委員会主催、枚方市立第四中学校落成式。
- 昭和38年 3月10日 本校校区に五常小学校開校。
- 昭和38年 4月 4日 仮管理棟を技術科教室に改装。
- 昭和38年 6月10日 第1期工事完成日を創立記念日として本年より実施。
- 昭和39年 4月 1日 本校校区に桜丘小学校開校。
- 昭和39年 4月 8日 南館に隣接して4教室完成。
- 昭和39年 7月12日 管理棟西側にプール完成、プール開き開催。
- 昭和40年 9月27日 東館3階に2教室完成。
- 昭和41年 4月 1日 本校校区に春日小学校開校。
- 昭和41年10月 1日 創立5周年記念式典。
- 昭和44年 4月 1日 本校校区に山之上小学校開校。
- 昭和45年 2月28日 グランド排水工事完了。
- 昭和45年 4月 1日 枚方中学校開校により枚方小学校区、枚方第二小学校区を本校より分離。
- 昭和46年11月 1日 中宮中学校開校により桜丘小学校の内、池之宮地区を本校より分離。
- 昭和46年 4月 1日 本校校区に香陽小学校開校。
- 昭和46年11月16日 創立10周年記念式典(枚方市民会館大ホール)
- 昭和49年 4月 1日 村野中学校開校により桜丘小学校区、開成小学校区の内、香里ヶ丘1丁目、
山之上小学校区の内、東田宮2丁目、山之上東町、山之上2丁目、
山之上3丁目、藤田町、東藤田町、春日小学校区の内、釈尊寺町本校より分離。
- 昭和53年 4月 1日 東香里中学校開校により春日小学校区、香陽小学校区の内、香里ヶ丘11丁目、
香里ヶ丘12丁目、東香里3丁目、東香里新町を本校より分離。
- 昭和54年 4月 1日 蹉跎東小学校区の内公団中振団地を本校に加える。
- 昭和56年11月 1日 創立20周年記念式典。
- 昭和59年 4月 1日 蹉跎東小学校区の公団中振団地の新入生より蹉跎中学校へ。
- 平成2年 7月30日 管理棟改築のため仮設教室設置。
- 平成4年 3月28日 新管理棟竣工。
- 平成4年 3月14日 創立30周年記念、新管理棟竣工記念式典。
- 平成6年 2月21日 新体育館竣工。
- 平成9年 10月24日 文部省研究指定(コンピュータ)、研究発表
- 平成13年 4月 1日 村野中学校との統合により開成小学校区の香里ヶ丘1丁目、山之上小学校区の
藤田町、山之上2・3丁目、山之上東町、東田宮2丁目を通学区域に変更。

平成13年8月1～3日 枚方市立第四中学校上海交流団(27名)派遣
 平成13年10月31日 文部科学省研究指定(人権教育)、研究発表
 平成14年10月30日 フランス パッサカイユ弦楽団(26名) 歓迎交流会
 平成15年12月 3日 中国上海市長寧区第8次教育考察団(5名) 歓迎
 平成16年 4月 1日 通学区域の弾力化により第1学年が1学級増加
 平成16年 9月24日 中国上海市長寧区及びオーストラリア ローガン市青年音楽団 歓迎
 平成16年10月13日 デンマーク バイエン市より教育視察団が来校
 平成17年8月1～8日 枚方市立第四中学校教育交流団がオーストラリアローガン市を視察訪問
 平成21年 2月 普通教室空調設備完成
 平成21年 3月 プールの改修工事完了
 平成21年 4月 1日 香里小学校区の香里ヶ丘4丁目17・18番地、香里ヶ丘9丁目を第二中学校の
 通学区域に変更。五常小学校区の東中振2丁目20番を本校の通学区域に変更。
 平成22年 4月 1日 香陽小学校区の香里ヶ丘3丁目(2～9番地)、香里ヶ丘4丁目(1, 2, 17・18 番地は除く)
 を東香里中学校の通学区域に変更。
 平成23年11月 5日 創立50周年記念式典
 平成28年 4月 小中一貫事業開始
 平成29年12月 1日 四中フォーラム開催
 令和 2年12月 4日 タブレット研究指定報告会
 令和 3年 4月 1日 文部科学省「学力向上のための基盤づくりに関する調査研究事業」兼大阪府スクールエンパ
 ワメント事業(確かな学びを育む学校づくり)研究指定(令和3年度、令和4年度)
 令和 4年12月 2日 文部科学省兼大阪府指定事業研究報告発表大会開催
 令和 5年 3月 教室棟トイレ乾式化工事完了
 令和 6年 1月 管理棟トイレ乾式化工事完了
 令和 6年 2月 体育館空調設備工事完了

歴代校長

初代	金治	勇	昭和36年4月1日より昭和40年3月31日まで
二代	北牧	一雄	昭和40年4月1日より昭和48年3月31日まで
三代	加地	嘉三	昭和48年4月1日より昭和50年3月31日まで
四代	阪本	治郎	昭和50年4月1日より昭和54年3月31日まで
五代	入江	幸男	昭和54年4月1日より昭和56年3月5日死去により退任
六代	藤田	篤	昭和56年4月1日より昭和58年3月31日まで
七代	伊田	巧	昭和58年4月1日より昭和63年3月31日まで
八代	中野	一雄	昭和63年4月1日より平成元年3月31日まで
九代	木南	勲	平成元年4月1日より平成5年3月31日まで
十代	小原	徹也	平成5年4月1日より平成9年3月31日まで
十一代	村田	悟郎	平成9年4月1日より平成12年3月31日まで
十二代	池田	利貞	平成12年4月1日より平成18年3月31日まで
十三代	坂井	泉	平成18年4月1日より平成20年3月31日まで
十四代	高橋	弘	平成20年4月1日より平成26年3月31日まで
十五代	岩谷	誠	平成26年4月1日より平成30年3月31日まで
十六代	大西	勝徳	平成30年4月1日より令和2年3月31日まで
十七代	鶴島	茂樹	令和2年4月1日より令和 4 年6月 30 日まで
十八代	鴨田	慎司	令和 4 年7月1日着任

校 歌

作詞 金治 勇
作曲 石桁 真礼生

その な も ゆ か し き こ う り が お か の ま つ
か ぜ さ や か に か お る は ぼ こ う わ こ う ど
わ れ ら こ こ に つ ど い き よ う わ の び ふ う こ こ に
は な さ く さ ち あ り わ れ ら い ざ
い ざ い ざ う る わ し き が く し ゃ
を つ く ら ん

三、	二、	一、
青空遙かに 生駒の峰を	洋々つきせぬ 大淀川の	その名もゆかしき 香里が丘の
朝夕仰ぎて たてるは母校	清き流れに 映ゆるは母校	松風さやかに かおるは母校
若人われら ここに集い	若人われら ここに集い	若人われら ここに集い
不拔の精神 ここに培う	久遠の理想 ここに輝やく	協和の美風 ここにはななく
幸あり われら	幸あり われら	幸あり われら
いざ 大いなる世界を拓かん	いざ うるわしき学舎をつくらん	いざ うるわしき学舎をつくらん